

令和7年度第1回鋸南町地域公共交通活性化協議会

日 時 令和7年11月5日（水） 午後2時から
場 所 鋸南町役場 3階 大会議室

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

（1）各種アンケート結果について

（2）その他

4 閉 会

令和7年度第1回鋸南町地域公共交通活性化協議会 出席者名簿

No.	区分	所属・役職名	氏 名	役職等
1	(1)鋸南町長又はその指名する者	鋸南町副町長	内 田 正 司	会長
2	(2)一般旅客自動車運送事業者	日東交通株式会社運輸部長	高 橋 晴 樹	
3	(2)一般旅客自動車運送事業者	有限会社鋸南タクシー代表取締役	福 岡 百 合 子 (代理)竹崎 雅紀	
4	(3)一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体の代表者又はその指名する者	日東交通労働組合安房支部長	渡 邊 剛 太 郎	
5	(5)一般社団法人千葉県タクシー協会会長又はその指名する者	一般社団法人千葉県タクシー協会南房支部長	手 塚 真 一	
6	(6)鉄道事業者	東日本旅客鉄道株式会社館山駅長	田 上 重 光	
7	(7)地域住民の代表者又は地域公共交通の利用者	鋸南町区長会長	石 井 孝 明	
8	(7)地域住民の代表者又は地域公共交通の利用者	鋸南町議会議員	中 村 基	
9	(7)地域住民の代表者又は地域公共交通の利用者	鋸南町商工会長	鈴 木 辰 也	
10	(7)地域住民の代表者又は地域公共交通の利用者	鋸南町観光協会長	清 水 宏 亘	監事
11	(8)国土交通省関東運輸局千葉運輸支局長又は指名する者	国土交通省関東運輸局千葉運輸支局首席運輸企画専門官	菅 井 規 (代理)松澤 純	
12	(9)地域福祉推進に携わる者	鋸南町民生委員児童委員協議会長	鈴 木 昭 一	監事
13	(9)地域福祉推進に携わる者	社会福祉法人鋸南町社会福祉協議会事務局長	平 野 幸 男	副会長
14	(10)道路管理者又はその指名する者	千葉県安房土木事務所調整課長	嶋 田 敏 行	
15	(11)千葉県館山警察署長又はその指名する者	千葉県館山警察署交通課長	坂 井 陽 一	
16	(12)千葉県知事又はその指名する者	千葉県総合企画部交通計画課地域公共交通担当課長	伊 藤 昌 央 (代理)宮原 翔	

No.	所属・職名	氏 名
1	鋸南町 総務企画課 課長	吉 田 修 一
2	保健福祉課 課長	小 川 亮 一
3	地域振興課まちづくり推進室 室長	金 木 拓 也
4	教育委員会教育課 課長	安 田 隆 博
5	総務企画課企画財政室 室長	平 井 進

鋸南町地域公共交通計画

(中間報告)

令和7年11月

鋸 南 町

【 目 次 】

	頁
序章 計画策定の目的と位置付け	1
第1章 地域公共交通を取り巻く状況及び上位・関連計画の整理	2
第2章 公共交通等の状況把握・データ分析	10
2－1 公共交通等の状況把握	10
2－2 交通結節点の有効利用の検証	19
2－3 人流データによる移動需要の把握	20
2－4 クロスセクター分析	20
第3章 利用実態調査（町営循環バス）	21
第4章 町民・関係者意識調査	25
4－1 住民アンケート調査	25
4－2 高校生アンケート調査	43
4－3 小中学生保護者アンケート調査	46
4－4 その他公共交通に関わる関係者意識アンケート調査	54
4－5 道の駅保田小学校利用者アンケート調査	58
第5章 地域公共交通の課題整理	60
【参考資料】各種アンケート調査における公共交通に関する意見・要望など一覧	64

序章 計画策定の目的と位置付け

(1) 計画策定の目的

本町の地域公共交通は、鉄道、町営循環バス及びタクシーが運行しているが、近年では高齢化や運転手不足の深刻化などにより、地域公共交通の確保・維持が困難な状況になりつつある。

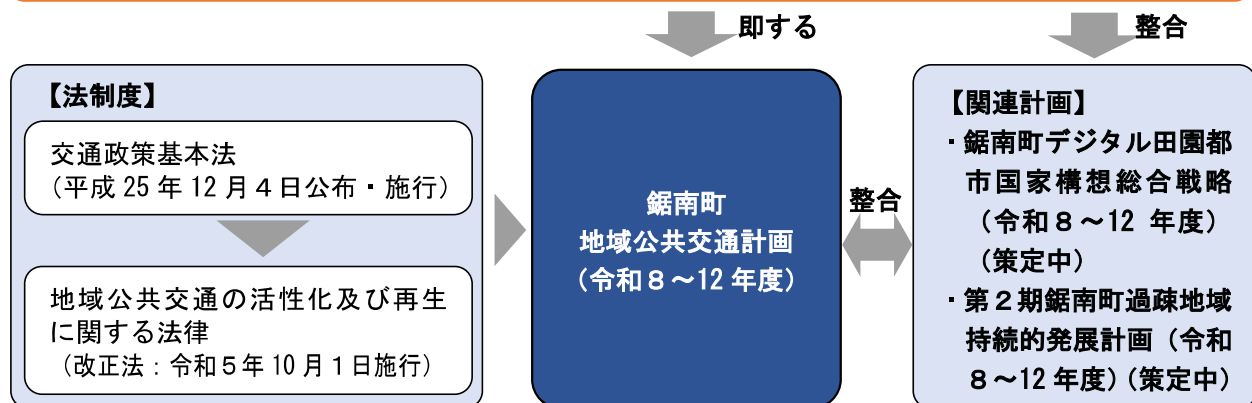
しかし、地域における移動手段は、交通分野の課題解決にとどまらずまちづくり、観光振興、更には健康、福祉、教育、環境等の様々な分野で大きな効果をもたらしており、地域社会全体の価値を高める上で地域公共交通の確保・維持は、ますます重要な課題となっている。

このようなことから、本業務では、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第59号）第5条に基づき、町民の移動実態、ニーズ等の調査の実施により、本町における地域公共交通の課題の整理や基本方針、地域公共交通に関する施策、実施主体について検討し、本町の地域公共交通施策のマスタープランとなる「鋸南町地域公共交通計画」を策定することを目的とする。

(2) 計画の位置付け

本計画は、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」第5条に規定する法定計画として、上位計画である「鋸南町総合計画後期基本計画（令和8年3月）（策定中）」に即し、「鋸南町デジタル田園都市国家構想総合戦略（令和8年3月）（策定中）」や「第2期鋸南町過疎地域持続的発展計画（令和8年3月）（策定中）」のほか関連計画等との整合を図り、総合的なまちづくりの一環として公共交通に係る事項を位置付ける計画とする。

【最上位計画】鋸南町総合計画後期基本計画（令和8～12年度）（策定中）



(3) 計画区域

本計画の対象区域は、鋸南町全域とする。

(4) 計画期間

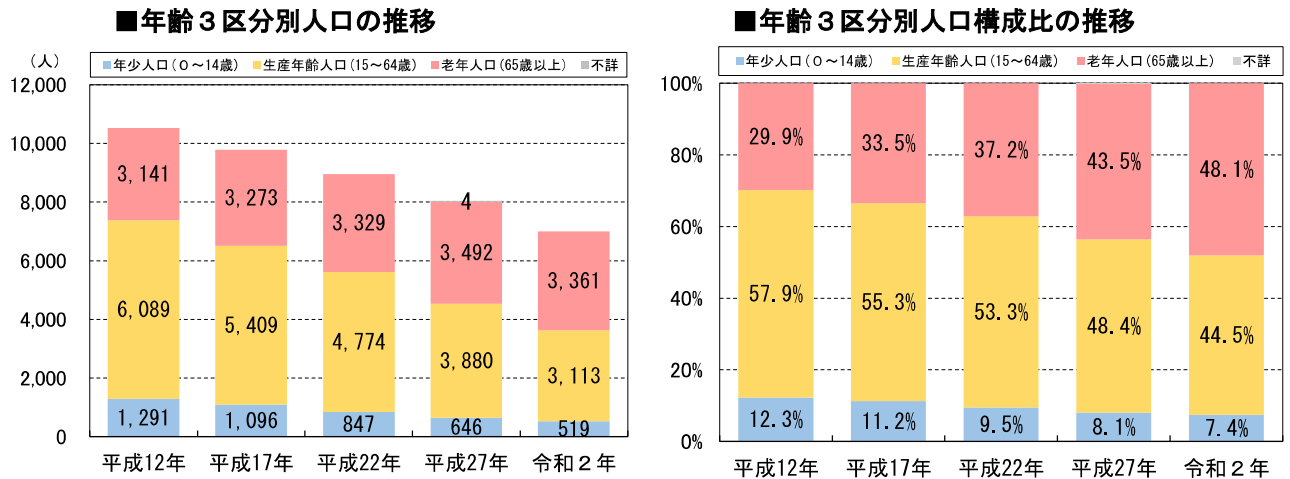
本計画の計画期間は、令和8年度から令和12年度までの5年間とする。

また、計画の期間内においても、今後の社会情勢や町民ニーズ等の変化に適応するよう必要に応じて計画の見直し・修正を行う。

②年齢3区分別人口

令和2年の年齢3区分別人口は、年少人口が519人、生産年齢人口が3,113人、老年人口が3,361人で、平成27年から令和2年にかけて、年少人口、生産年齢人口、老年人口全てで減少している。

令和2年の年齢3区分別構成比は、年少人口が7.4%、生産年齢人口が44.5%、老年人口が48.1%となっており、推移を見ると、老年人口は増加傾向、年少人口と生産年齢人口は減少傾向となっており、老年人口の総人口に占める割合（高齢化率）は県平均の27.6%を大きく上回っている。

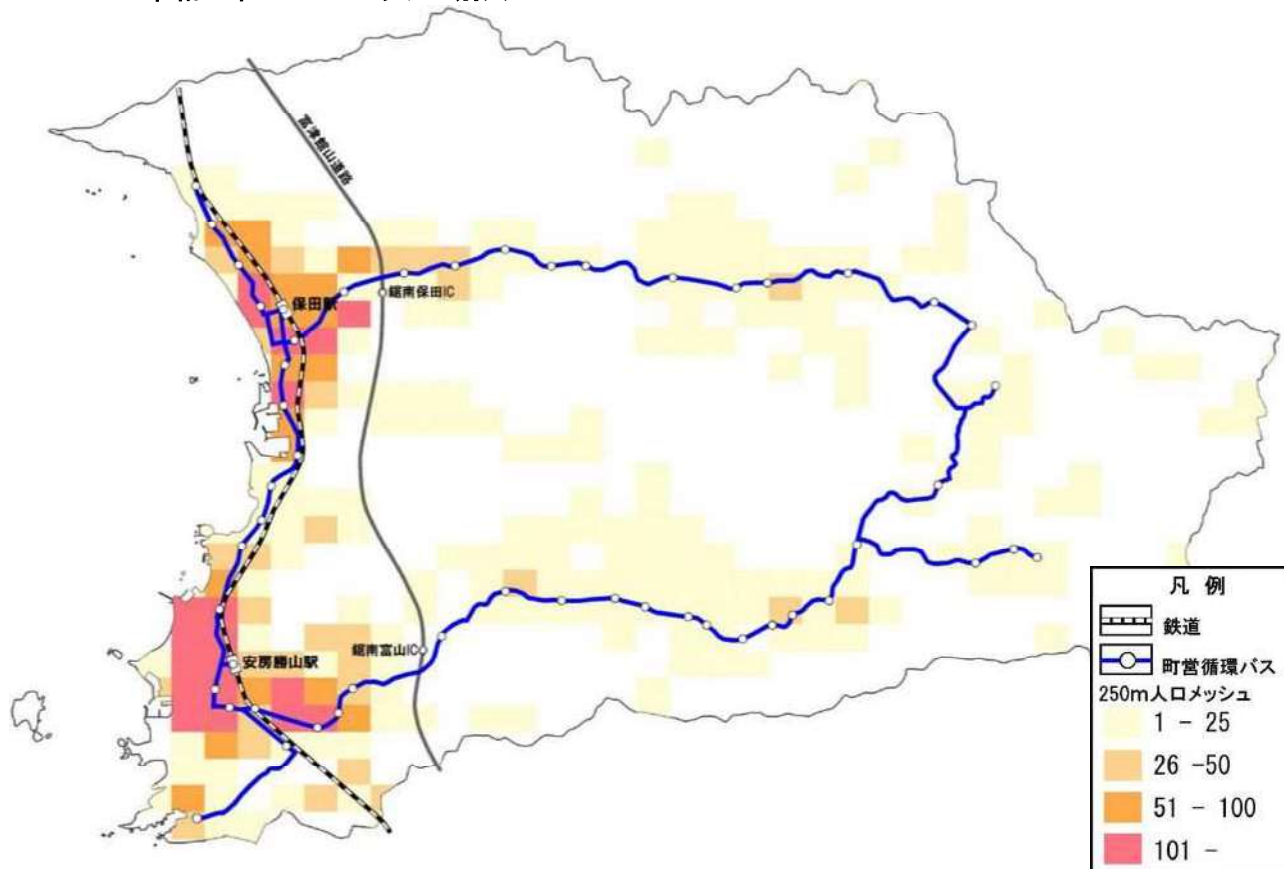


出典：国勢調査（各年10月1日現在） ※平成27年の年齢3区分別人口の「4」は年齢不詳を示す。

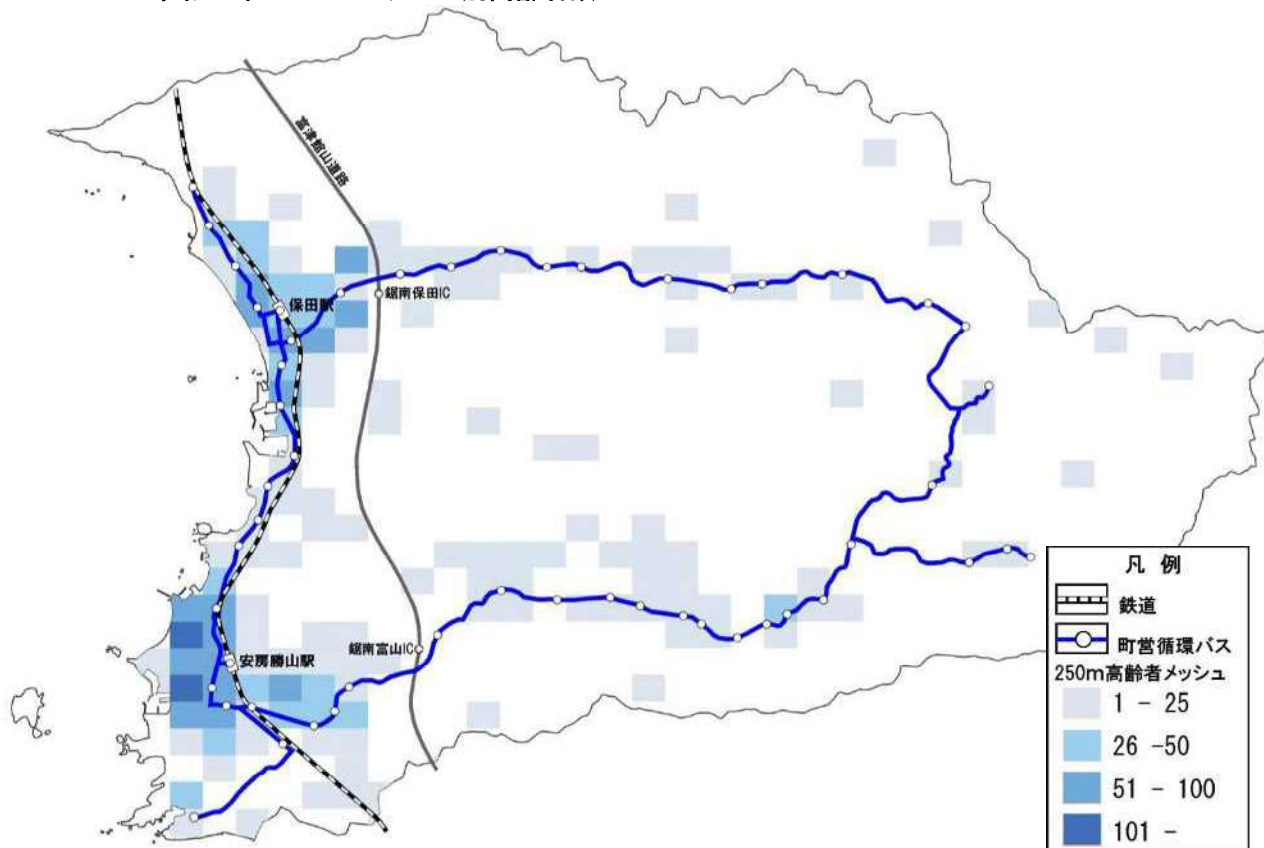
③メッシュ別人口・高齢者

メッシュ別人口及び高齢者数は、保田駅周辺や安房勝山駅周辺で多くなっている。

■令和2年・250mメッシュ別人口



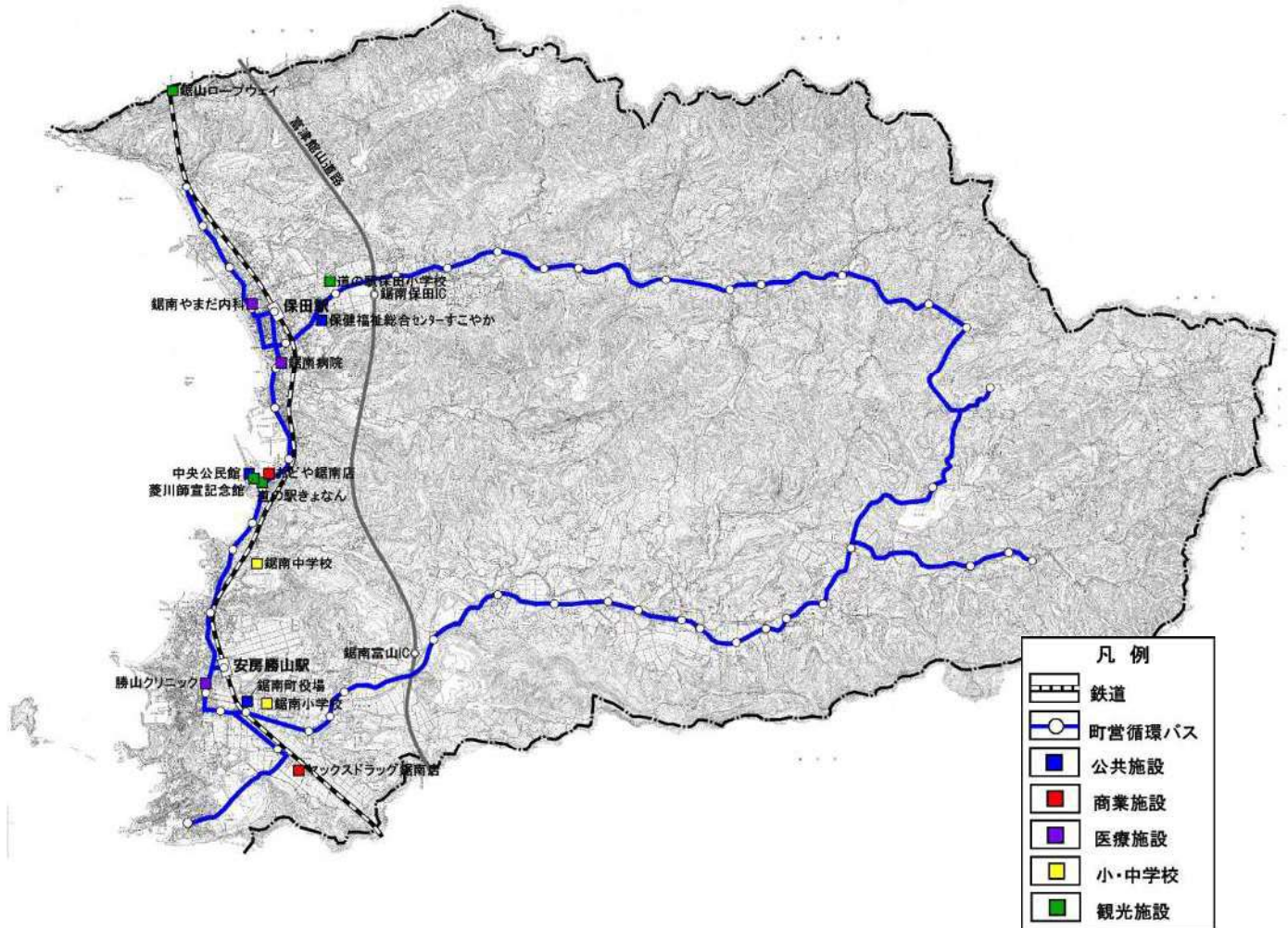
a ■令和2年・250mメッシュ別高齢者数



(2) 主要施設等配置状況

主要施設等は、町役場などの公共施設や商業施設、医療施設、観光施設などが鉄道沿線に集中している。

■主要施設分布図



(3) 交通手段特性

①通勤・通学流動

令和2年の通勤・通学流動状況は、流入人口が750人、流出人口1,695人と、945人の流出超過となっており、流入・流出人口は、館山市、南房総市、富津市、木更津市と近隣市が多くなっている。

■通勤・通学流動

(単位：人)

	流入人口	流出人口		流入人口	流出人口
県内	731	1,629	千葉市	6	71
館山市	223	430	袖ヶ浦市	10	34
南房総市	302	303	市原市	6	23
富津市	72	209	その他県内	8	53
木更津市	24	207	東京都	9	40
君津市	28	179	神奈川県	7	20
鴨川市	52	120	その他県外	3	6
			計	750	1,695

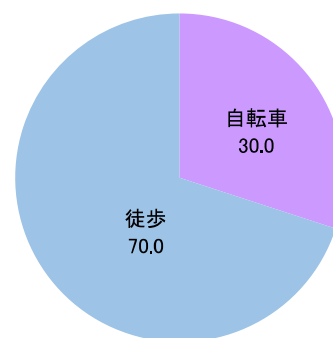
出典：令和2国勢調査（各年10月1日現在）

②東京都市圏パーソントリップ調査による交通手段特性

東京都市圏パーソントリップ調査による代表交通手段は、自動車の割合が最も高く、一貫して上昇する傾向で、移動における自家用車への依存度が高い状況となっている。

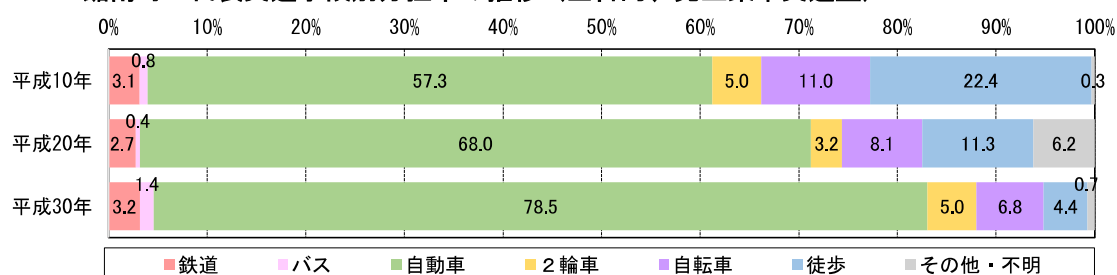
保田駅の端末交通手段は、徒歩が 70.0%、自転車が 30.0%となっている。

■保田駅・端末交通手段別分担率 (平成 30 年)



※安房勝山駅は「0」

■鋸南町・代表交通手段別分担率の推移（全目的、発生集中交通量）



出典：東京都市圏パーソントリップ調査

(4) 観光動向

観光入込客数は、令和元年から令和2年にかけて新型コロナウイルス感染症の影響により、減少したものの、令和2年以降増回傾向となっている。

観光入込客数合計の増減率（令和5年/令和元年）は 1.17 倍に増加しており、特に都市交流施設・道の駅保田小学校は 1.33 倍と町平均より上回っている。

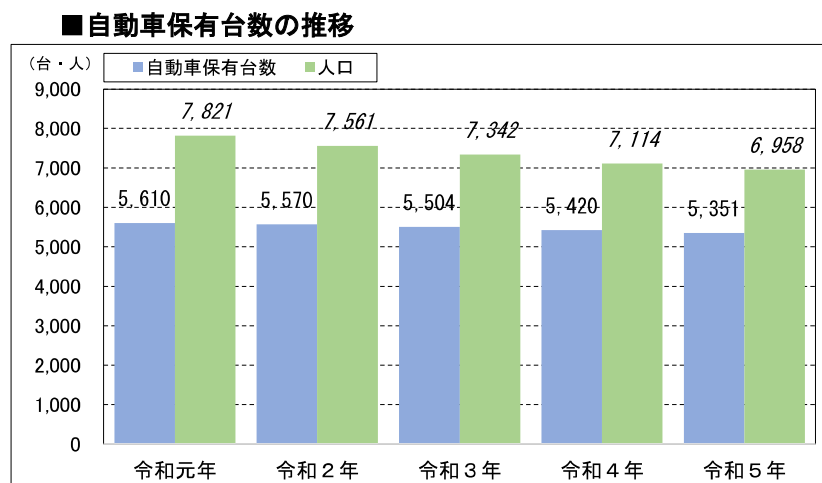
■観光入込客数の推移

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	増減率
ばんや	242,075	223,242	233,829	244,687	245,315	1.01
日本寺	317,887	289,500	297,543	319,019	324,418	1.02
ばんやの湯	28,071	19,743	19,216	27,394	22,385	0.80
道の駅「きよなん」	19,324	17,437	16,265	19,536	20,554	1.06
都市交流施設・道の駅保田小学校	595,817	561,583	648,460	777,298	792,242	1.33
合計	1,203,174	1,111,505	1,215,313	1,387,934	1,404,914	1.17

出典：町勢要覧

（５）自動車保有台数

鋸南町の自動車保有台数は、令和元年から令和５年にかけて減少傾向となっており、直近５年間の伸び率を見ると、人口が 0.89 倍の減少に対し、自動車保有台数が 0.95 倍と人口の減少率より高くなっている。

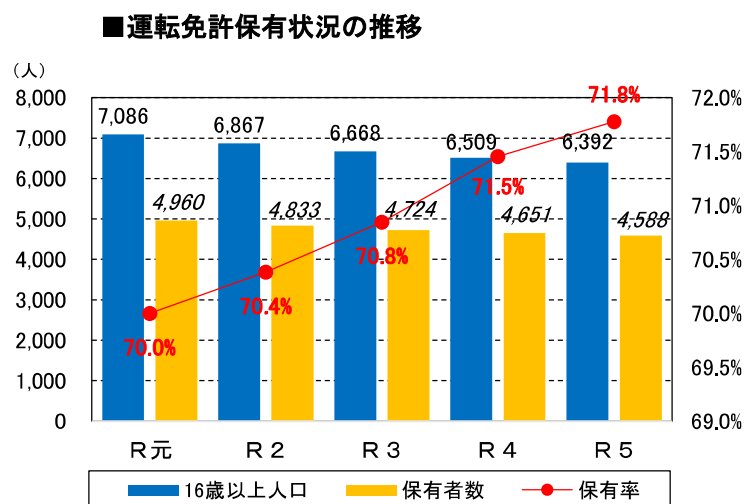


※自動車保有台数は乗用車と軽自動車の合計（各年４月１日現在）
出典：千葉県統計年鑑、総人口は住民基本台帳（各年３月３１日現在）

（６）運転免許保有状況及び返納状況

鋸南町の運転免許保有者数は減少傾向となっているが、人口も減少しており、免許保有率は増加傾向となっている。

運転免許返納者数（町内）は毎年 20～30 人前後と横ばい状態となっている。



■運転免許の返納状況

	館山警察署管内	うち町内
R元	475	30
R 2	430	13
R 3	471	31
R 4	413	27
R 5	377	19
合計	2,166	120

(7) 上位・関連計画の整理

① 鋸南町総合計画前期基本計画（令和3年3月）

【計画期間】 令和3年度から令和7年度まで（5年間）

【2030年まちの将来像】 「みんなでつくる 三ツ星のふるさと・鋸南」

【基本目標】

- ① 支えあい安心育む福祉のまち
- ② 学びの意欲湧く教育のまち
- ③ 活気あふれる産業のまち
- ④ 利便性の高い生活しやすいまち
- ⑤ 豊かな自然を守る環境のまち
- ⑥ 創意工夫の住民主役のまち



《⑩公共交通》

【5年間の方針】 子どもから高齢者まで快適に利用できる公共交通網を整備します。

【主要な施策・取組】

① 公共交通の利用促進

- 町内で唯一のコミュニティバスである循環バスを維持するために、運行携帯や運行経路・料金の見直しに向けた実証実験を行うなど、利用の促進に取り組みます。
- 都市交流施設・道の駅保田小学校への農作物輸送など既存のネットワークを有効活用する貨客混載の取組を検討します。
- 地域内での助け合いによる運送事業や社会福祉協議会の福祉有償運送事業、民間タクシー事業者との連携を図り、安心して外出できるドアツードアの取組を推進します。
- 若年層の定住志向を高めるため、公共交通機関を利用した都心への通勤・通学を支援する取組を検討していきます。

② 二次交通の拡充

- きめ細やかな公共交通を提供するために、カーシェアや自動運転、グリーンスローモビリティなどを活用したMaaSの導入を模索します。
- 都市交流施設・道の駅保田小学校にバス停留所・待合所を整備し、町営循環バスによる観光客の回遊促進を図るとともに、高速バス乗り入れに向けた受入体制の整備を進めます。

【達成目標】

指標	単位	現状値	目標値
循環バス乗降者数	人/年	8,502	8,500
高速バス停留所整備数	箇所	0	1

②第2期鋸南町まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和3年3月）

【計画期間】 令和3年度から令和7年度まで（5年間）

【地方創生の目指すべき将来】

『将来にわたって「活力ある地域社会」の実現』と、『「東京圏への一極集中」の是正』を共に目指す。

【基本目標】

- ①稼ぐ地域をつくり、雇用を創出する
- ②本町への新しい人の流れをつくる
- ③結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ひとが集う、魅力あるまちづくりを推進する



【事業概要】

○新しい生活様式に対応した地域交通体系の構築

MaaSやICTなどのデジタル技術を活用し、新しい生活様式に対応した地域交通体系の整備を推進する。

③鋸南町過疎地域持続的発展計画（令和6年5月改定）

【地域の持続的発展の基本方針】

- ①特色を活かした個性的な地域づくり
- ②産業の振興・住環境の整備
- ③資産の有効活用

【計画期間】 令和3年4月1日から令和8年3月31日まで

【対策（5 交通施設の整備、交通手段の確保）】

地域住民の利便性と快適性を高め観光地としてのイメージアップを図るため、両駅前駐輪場の景観整備を実施していく。併せて南房総地域の活性化を図るため JR に内房線の運行列車本数の現状維持を引き続き要請していく。

また、通勤・通学者の利便性を高めるため、高速バスの乗り入れ、バスターミナルや駐車場などの整備を進め、周辺地域を対象としたパークアンドライドを推進するとともに、主要交通拠点を広域的に結ぶ新たな地域交通網の整備を図る。

循環バスは、現行施設の適切な維持管理に努めながら住民ニーズに応じた経路、料金等の運行形態の見直しや貨客混載に取り組むとともに、高齢化の進展や高度情報化社会に対応した公共交通の整備を進めていく。

路線バス・金谷線は、生活交通として必要不可欠であるためより一層の利用促進策を講じながら、運行の継続を維持する。

第2章 公共交通等の状況把握・データ分析

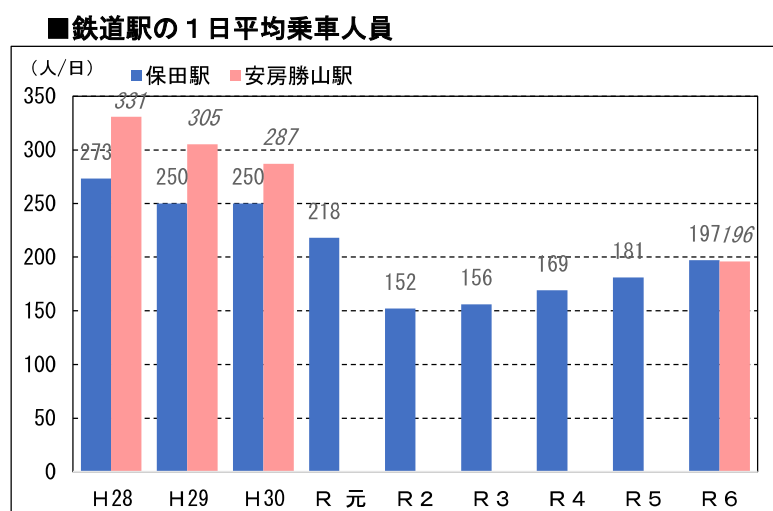
2-1 公共交通等の状況把握

(1) 鉄道

鋸南町内の鉄道は、JR内房線が南北に縦断しており、令和3年3月から2両編成の新型車両が導入され、日中時間帯を中心に木更津～安房鴨川～上総一ノ宮間での直通運転によるワンマン運転が開始された。

町内には保田駅、安房勝山駅の2駅が立地しており、安房勝山駅は、令和2年4月から終日無人駅となっていたが、令和6年7月16日には「安房勝山駅郵便局が開局し、郵便局窓口業務と駅窓口業務の一体運営が開始された。保田駅は、令和3年1月末で「みどりの窓口」が閉鎖された。

1日平均乗車人員は、保田駅で令和2年度に新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、減少し、その後は増加傾向となっているものの、令和5年度は新型コロナウイルス感染症前（令和元年度）まで回復していない状況となっている。



※安房勝山駅の令和元～5年度は無人駅のため、データ無

(2) 町営循環バス

町営循環バスは平成14年1月から運行を開始し、町内全域をカバーするように、主に国道や県道といった幹線道路を中心に運行している。

年間利用者数は、令和2年度から令和6年度にかけて横ばい状態となっているが、運行委託料は増加傾向で、直近10年間で約1.6倍に増加している。

- 保田駅や安房勝山駅、おどや鋸南店がある中央公民館前、道の駅保田小学校等特定のバス停で利用が多く、利用が全くない、少ないバス停が多く存在している。
- 日中の2～4便で多く、1便、5便で利用が少ない。
- 花まつり期間中のみ運行する臨時便は、便平均が2.3人/便と少ない。

■町営循環バスの運行サービス

運行ルート	大崩～道の駅保田小学校～保田駅～安房勝山駅～鋸南町役場前～大崩 (北回り(赤バス)、南回り(青バス)) 【フリー乗降区間】道の駅保田小学校～瀬戸口 / 消防署前～岩井袋
運行日	毎日
運行便数	平日5便、土日祝・年末年始:3便 ※花まつり期間(1月上旬～3月上旬)の土日祝に臨時便を運行
運賃	5区間まで200円、6区間以上は300円 ※小学生以下、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は半額



年度	利用者数 (人)	運行委託料 (百万円)
H27	11,294	1,781
H28	11,558	1,816
H29	10,953	1,836
H30	9,791	1,831
R 元	8,502	1,824
R 2	6,610	2,060
R 3	6,445	2,072
R 4	7,045	2,078
R 5	6,908	2,147
R 6	6,945	2,198

バス種別	乗客数 (人)	出発時刻
赤バス	1.4	1 便 6 : 55 発
	4.6	2 便 8 : 42 発
	5.1	3 便 11 : 27 発
	4.0	4 便 14 : 55 発
	1.4	5 便 16 : 50 発
青バス	3.2	1 便 7 : 00 発
	6.4	2 便 9 : 10 発
	4.8	3 便 12 : 15 発
	2.3	4 便 15 : 44 発
	0.4	5 便 17 : 00 発

時間	人数
11:25発	2.5
14:25発	1.0
10:57発	0.4
13:37発	5.3

日平均: 9.2 人
便平均: 2.3 人

駅名	日平均乗車数 (人)	日平均降車数 (人)
大崩	1.5	1.5
湯沢	0.2	0.2
市井原	0.1	0.1
八幡神社	1.0	0.5
鋸東口	0.2	0.2
川崎橋	1.2	1.0
小保田	1.3	0.5
上大帷子	0.3	0.3
荒田橋	0.2	0.2
桜橋	1.0	0.5
中橋	0.2	0.2
遣水	2.0	1.8
道の駅保田小学校	2.0	1.8
すこやか前	0.2	0.2
保田中央	0.5	0.3
鋸山保田口	0.2	0.2
元名海岸	0.2	0.2
元名	0.2	0.2
保田海岸入口	0.2	0.2
保田駅	4.8	5.0
保田橋	1.2	1.8
保田港	0.2	0.2
吉浜	0.8	1.2
中央公民館前	4.5	4.5
亀ヶ崎	0.2	0.2
大六	0.5	0.5
竜島	1.5	0.5
安房勝山駅	3.5	3.5
勝山海岸入口	1.5	0.5
田町	0.5	0.5
岩井袋	2.0	0.5
消防署前	0.5	0.5
鋸南町役場前	1.0	1.0
白銀	0.2	0.2
山田入口	0.2	0.2
下佐久間	0.2	0.2
瀬戸口	0.2	0.2
塚原	0.5	0.5
赤伏	0.2	0.2
下川橋	0.5	0.5
中尾原	0.5	0.5
旧佐久間小学校前	0.5	0.5
佐久間郵便局前	0.5	0.5
明下	0.2	0.2
坂下	0.2	0.2
中組口	1.5	1.0
森	0.5	0.5
奥山	0.2	0.2
中根口	0.2	0.2
内代	0.2	0.2
大崩入口	1.0	1.0
佐久間ダム入口	1.0	1.0

【参考資料】A I オンデマンド交通実証運行について

鋸南町では、「利便性の高い生活しやすいまち」の実現に向けたA I オンデマンド交通の導入可能性や持続可能性の検証と、町営循環バスとは異なるモビリティの提供による評価することを目的に、A I オンデマンド交通の実証運行を行った。

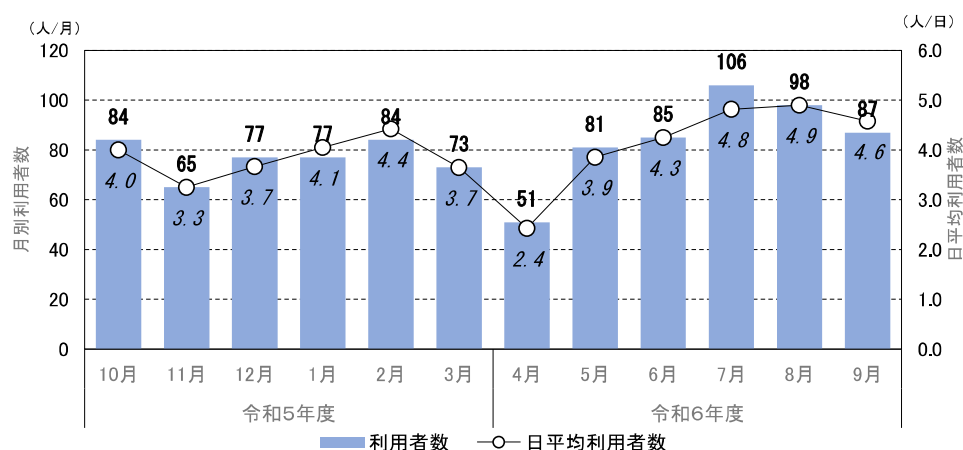
■A I オンデマンド交通実証運行概要

対象者	鋸南町民（利用者登録をした16歳以上） ※16歳未満は保護者同伴の場合に利用可能
実証期間	令和5年10月2日（月）～令和6年9月30日（月） ※12月30日～1月3日は運休
運行日	平日
運行時間	午前9時～午後4時
運行エリア	鋸南町全域
乗降場所	自宅及び共通乗降場所（74箇所）
運賃	乗車1回につき500円 ※障害者の方 250円、保護者同伴の16歳未満 無料
運行車両	中型ミニバン1台（乗車定員11名）
予約方法	電話またはスマートフォンアプリ ※乗車30分前～8日前の予約に限定

【A I オンデマンド交通実証運行の評価結果】

- 実証運行期間の延利用者数は968人で、日平均利用者数4.0人/日と少なく、行政負担額は約2,620万円と負担が大きく、収支率も1.5%と低い。
- 利用者の大半は高齢者で、買物、通院目的での利用が多く、総合満足度は、「満足」＋「やや満足」と回答した方が約8割と高い。
- 本格運行へ利用意向は高い。

■A I オンデマンド交通の利用者数



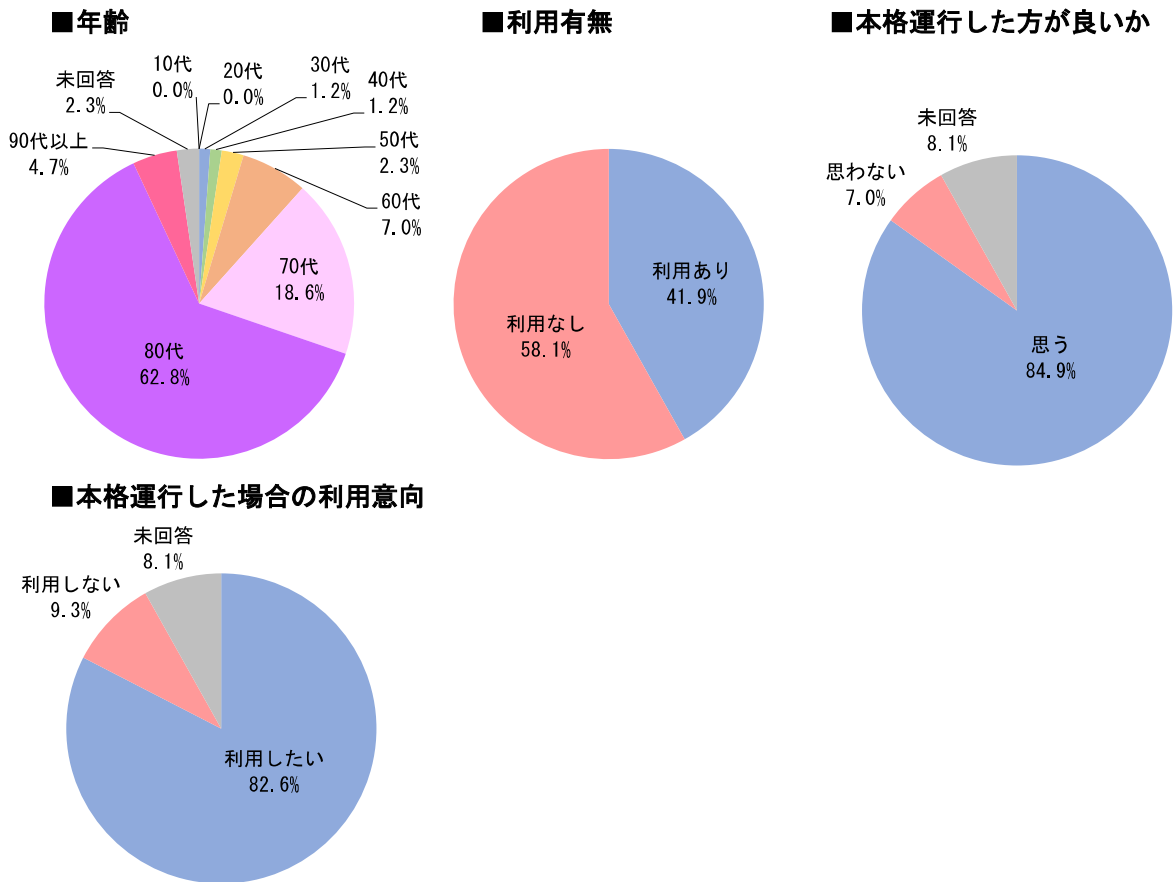
■A I オンデマンド交通の事業収支

	収入（円）	事業費（円）	行政負担額（円）	収支率
令和5年度	207,250	13,187,390	12,980,140	1.6%
令和6年度	198,250	13,412,490	13,214,240	1.5%
合計	405,500	26,599,880	26,194,380	1.5%

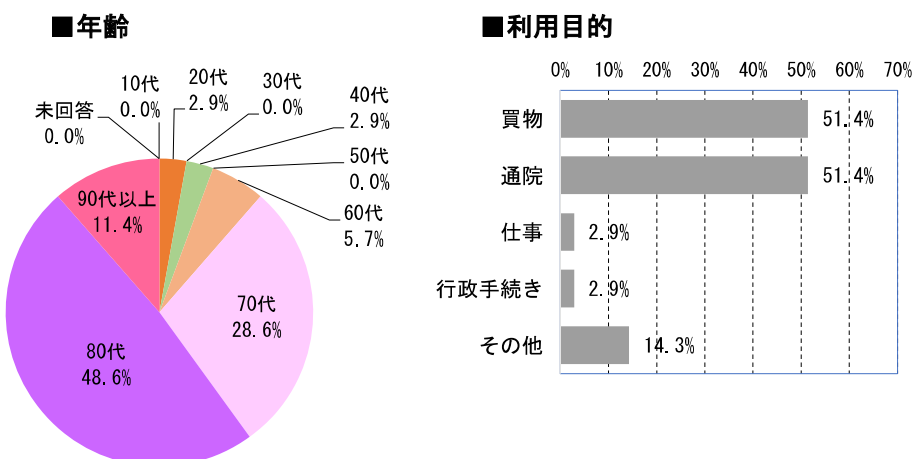
【各種アンケート調査結果】

- 利用登録者の年齢は 60 歳以上が約 9 割と多く、利用登録者のうち約 4 割が「利用あり」と回答している。また、本格運行への移行や、利用意向は高い。
- オンデマンド交通の利用者は、買物、通院目的が多く、利用した理由は「タクシーより料金が安いから」が 48.6%と最も多く、次いで「バス停が遠いから (22.9%) 」となっており、その他は「知り合いに頼むのも申し訳ないから」が多い。
- 利用者の今後の利用意向は「利用したい」が約 9 割と多く、その頻度は「月に 1 回程度 (50.0%) 」、「週に 1 ～ 2 回程度 (38.2%) 」が多い。また、総合満足度は、「満足」+「やや満足」と回答した方が約 8 割と高い。

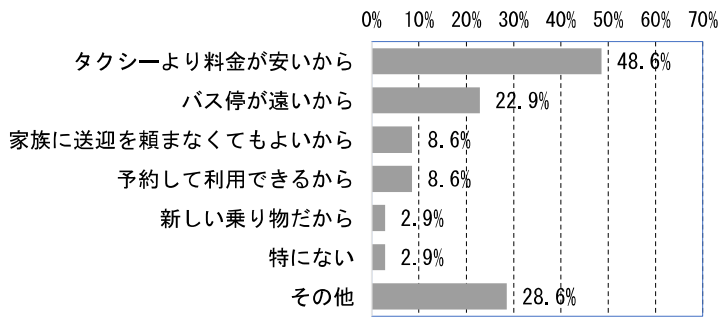
①利用登録者アンケート調査（回収票数：86 票） ※令和 6 年 12 月 6 日～令和 6 年 12 月 23 日



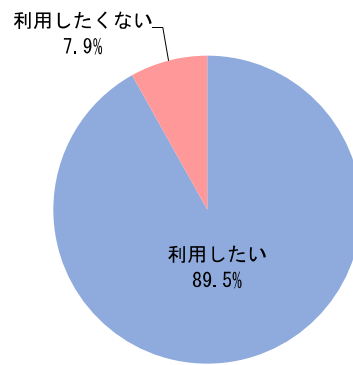
②利用者アンケート調査（回収票数：35 票） ※令和 5 年 10 月 2 日～令和 6 年 9 月 30 日



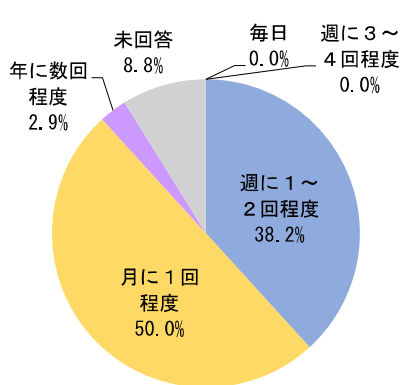
■利用した理由



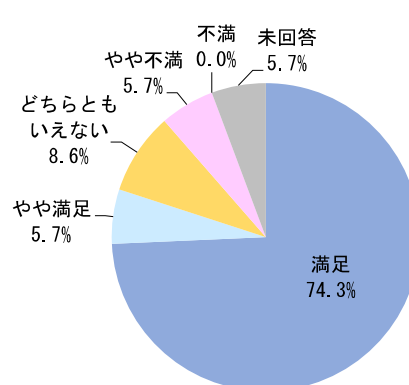
■今後の利用意向



■本格運行した場合の利用頻度



■総合満足度

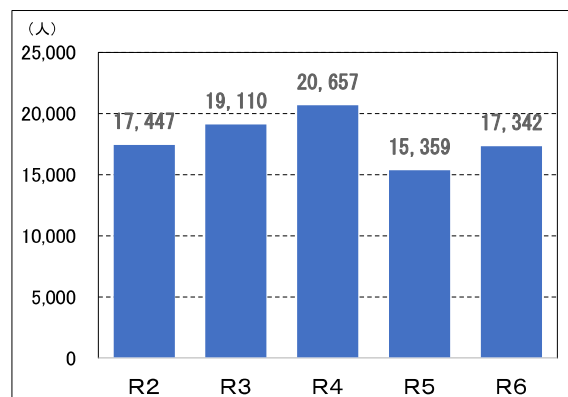


(3) タクシー

町内唯一のタクシー事業者である有限会社鋸南タクシーは、車両保有台数が3台、運転者数が4人で、営業（予約）時間は8～17時となっている。

乗客数の推移は令和2年度以降増減を繰り返して、令和6年度が17,342人/年となっている。

■タクシー乗客数の推移



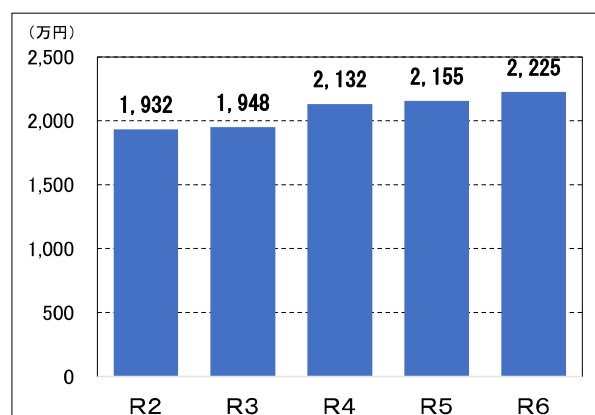
(4) スクールバス

町立幼稚園の園児・町立小学校の児童・町立中学校の生徒の登下校の手段として、スクールバス（4台）を導入しており、財政負担額は年々増加傾向となっている。

【対象者】

- ・鋸南幼稚園…町内に居住する在園児
- ・鋸南小学校…保田地区、佐久間地区に居住する在校児童
- ・鋸南中学校…保田地区（鋸東地区のみ）、佐久間地区に居住する在校生徒

■スクールバス財政負担額の推移

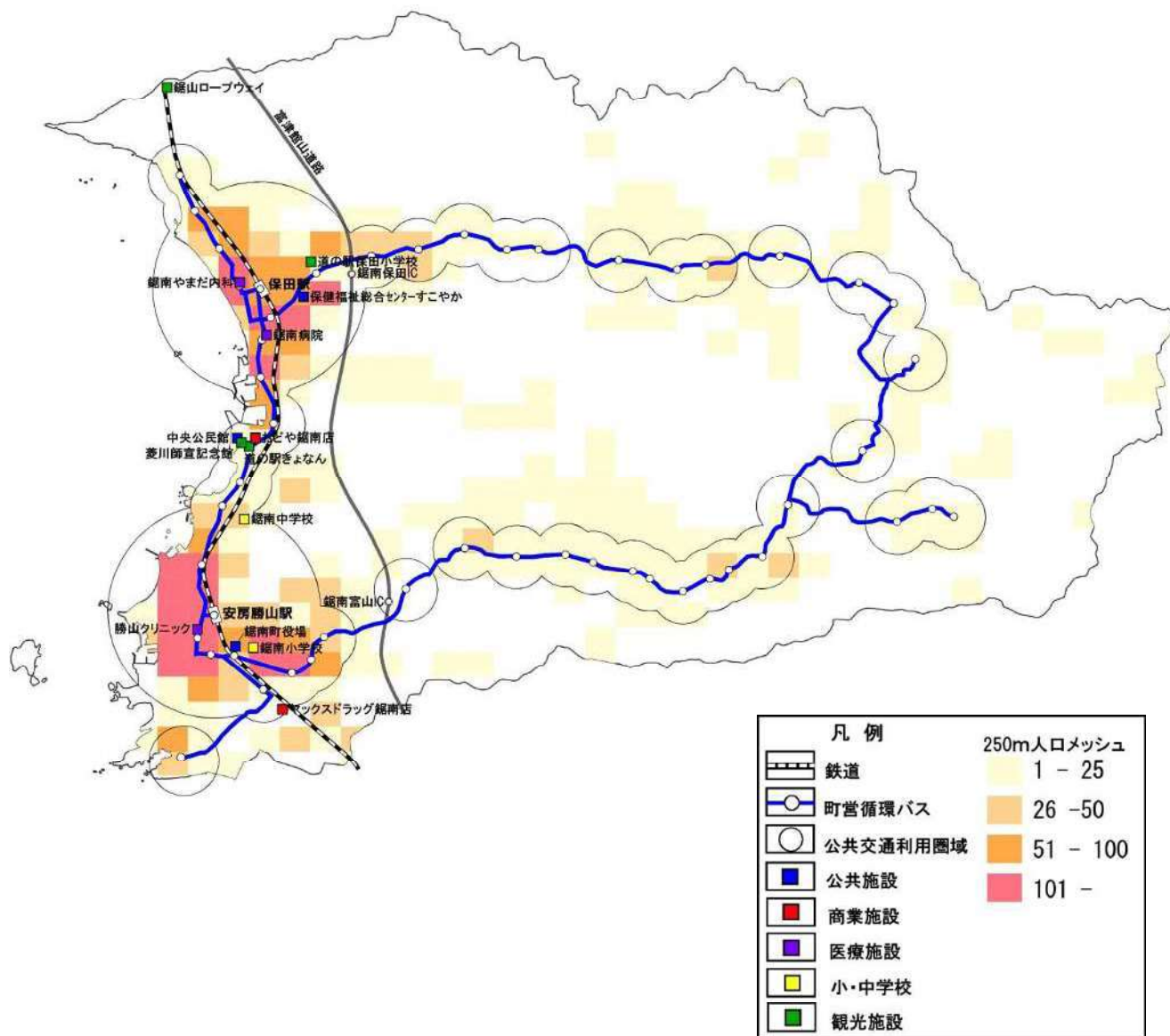


※委託料、役務費、公課費、修繕料、消耗品費、燃料費含む

（5）公共交通利用圏域

公共交通利用圏域は、保田駅周辺や安房勝山駅周辺、幹線道路沿線でカバーしているものの、幹線道路から離れた集落で、公共交通が不便な地域が存在している。

■公共交通利用圏域



（６）福祉交通サービス

①鋸南町高齢者運転免許証自主返納支援事業

高齢者による交通事故の減少を図るため、高齢者の運転免許証の自主返納を支援するため、町営循環バスの回数乗車券３部（４,９５０円分）を交付している。

○対象者…鋸南町に住民登録している満 65 歳以上の方で、運転免許証を有効期限内に自主返納された方

○申請期限…運転免許証を返納した日から 6 か月以内

■申請者数の推移

年度	勝山地区	保田地区	佐久間地区	合計
令和 2 年度	2	2	2	6
令和 3 年度	1	3	3	7
令和 4 年度	5	1	2	8
令和 5 年度	2	2	0	4
令和 6 年度	6	1	0	7
計	16	9	7	32

②福祉有償運送事業（カーぼら）

鋸南町社会福祉協議会では、１人で公共交通機関を利用して通院や買い物に出かけられない方々の外出を支援する「福祉有償運送事業」を実施しており、利用者数、延べ利用回数はそれぞれ直近３年間で微減傾向となっている。

【料金】

○ボランティア対応：２kmまで 500 円、以降 1 km 毎 70 円、待ち時間（30 分毎）150 円

○ヘルパー対応：５kmまで 200 円、以降 1 km 毎 70 円

【運転協力者（ボランティア）】 24 人（令和 7 年 3 月末現在）

■福祉有償運送の利用実績

年度	利用者数 （人）	延べ利用回数 （回）	利用者あたり 利用回数（回）
令和 2 年度	1,102	3,673	3.33
令和 3 年度	1,090	3,686	3.38
令和 4 年度	991	3,329	3.36
令和 5 年度	927	3,106	3.35
令和 6 年度	922	3,036	3.29
計	5,032	16,830	3.34

【カーぼらの抱えている課題について（社会福祉協議会アンケート調査より抜粋）】

- ・カーぼらは、運転ボランティアの確保が大きな課題、運転ボラの中には、週 4 日活動する方もいるので、比較的若い方の協力、養成を図り、協力者の確保、拡大が必要。
- ・人口の減少、高齢化により、活動ボランティアの高齢化、人員の減少が課題で、個別の事業所や団体での対応では将来行き詰まるのではないかと、町全体での養成や支援が必要ではないかと。

③移動困難者対策に関連する取組み

ア) セブンあんしんお届け便（セブンイレブン鋸南保田店による移動販売）

○営業日時…月曜日、火曜日、金曜日の午前 11 時から午後 5 時

○販売場所

- ・月曜日 保田神社～小保田～保田駅～大六～勝山漁港～田町～竜島
- ・火曜日・金曜日 勝山クリニック～佐久間方面～和見～田町～岩井袋

イ) 買い物支援

鋸南町社会福祉協議会では、要支援 1・2 及び基本チェックリスト該当者を対象に、買い物、掃除、ゴミ出しなど所定の養成研修を修了した地域住民が生活支援サポートとして行う生活支援サービス（ちょこボラ）を行っている。

年度	利用件数
令和 3 年度	114
令和 4 年度	127
令和 5 年度	116
令和 6 年度	117
計	474

ウ) ヤックスドラッグ・移動販売

ヤックスドラッグで、毎週金曜日に町内 7 地区で移動販売（らくちん便）を行っている。

2-2 交通結節点の有効利用の検証

交通結節点の候補となる保田駅、安房勝山駅及び道の駅保田小学校について、地域公共交通の結節状況や案内サインの有無等は以下の通りとなっている。

取組みの方向性については、今後検討していく。

■交通結節点の施設整備状況

		保田駅	安房勝山駅	道の駅保田小学校
現地写真				
				
				
結節有無	町営循環バス	有	有	有
	タクシー	無	有	無
	駐車場	無	無	有
	駐輪場	有	有	無
案内サイン有無		無	無	無
その他		—	郵便局窓口業務と駅窓口業務の一体運営	—

2－3 人流データによる移動需要の把握

※今後作業予定

2－4 クロスセクター分析

※今後作業予定

第3章 利用実態調査（町営循環バス）

町営循環バス利用者を対象に、利用特性や改善点等を把握するため、アンケート調査を実施した。

■町営循環バスの調査概要

調査方法	<p>○調査方法…バスの乗客へ調査票を渡し、乗客自身が調査票の該当箇所を折り込むアンケート方式（ビンゴ形式調査票の活用）</p> <p>○調査日…平日：令和7年8月5日（火）、休日：令和7年8月3日（日）</p> <p>○調査時間…始発から最終まで</p>
調査項目	乗車・降車バス停、利用者属性（性別、年齢、住まい）、運転免許証有無、運転免許証返納意思、往復利用有無、利用目的、利用頻度、運行サービスの満足度、改善して欲しいサービス

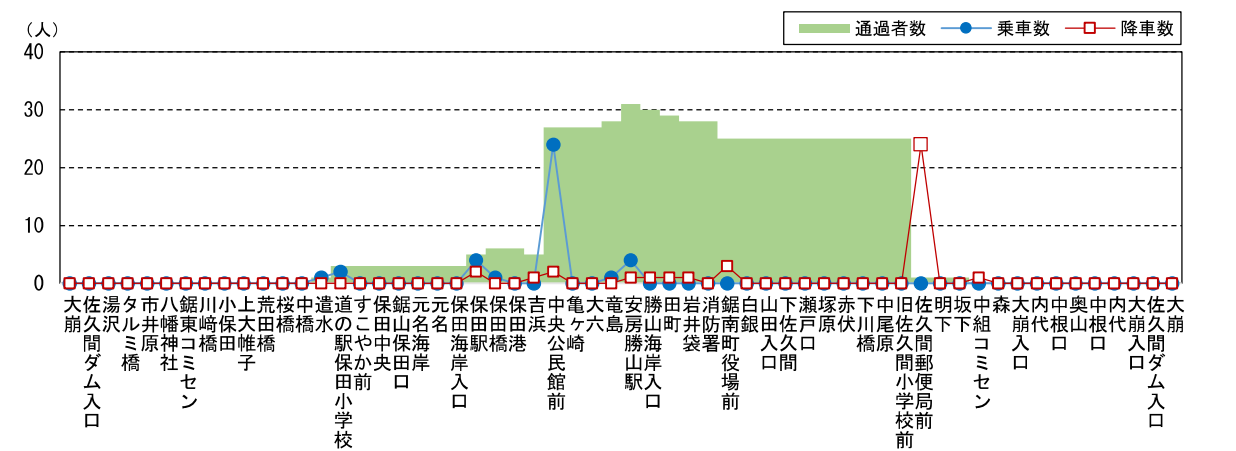
(1) 利用実績

日利用者数は平日が 45 人（赤バス：37 人、青バス 8 人）、休日が 14 人（赤バス：7 人、青バス：7 人）で、平日の大崩 11：27 発（赤バス）で小学生 20 人（中央公民館前→佐久間郵便局前）の利用があった。

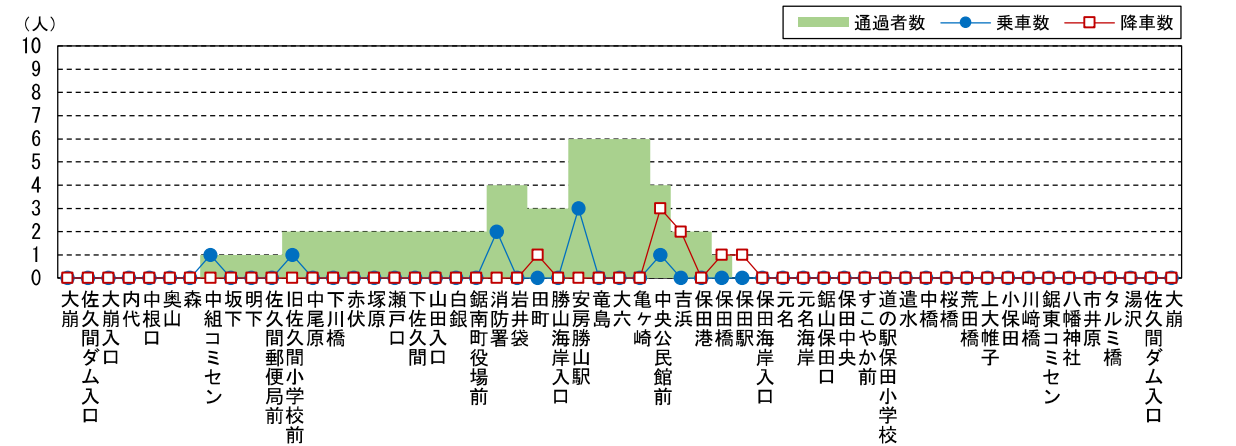
バス停別乗降者数を見ると、道の駅保田小学校～保田駅～安房勝山駅～佐久間郵便局間で利用があるものの、大崩～中橋、明下～大崩など利用が全くない区間も存在する。

■平日・バス停別乗降者数

《赤バス（右回り）》

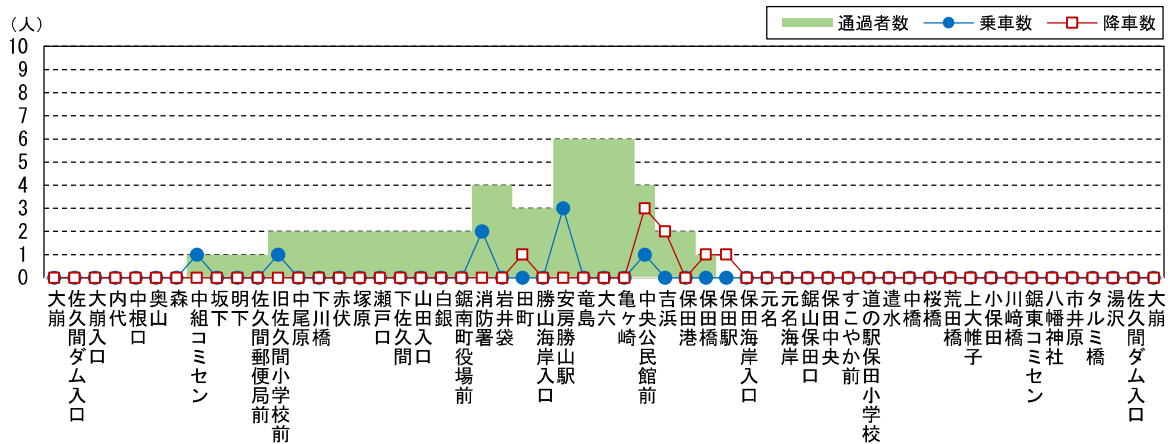


《青バス（左回り）》

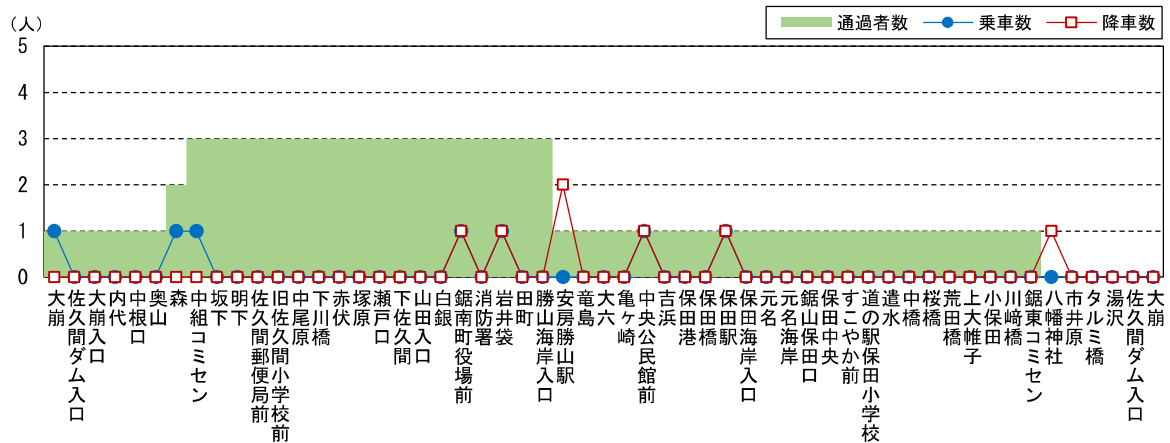


■休日・バス停別乗降者数

《赤バス（右回り）》



《青バス（左回り）》



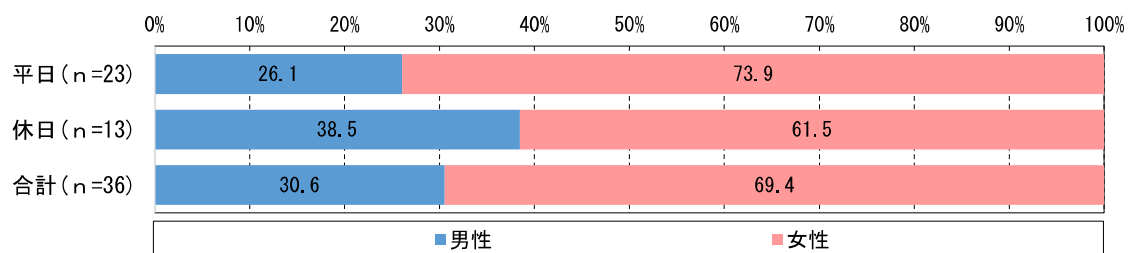
(2) 利用特性・ニーズ

1) 回答者の属性 ※小学生（拒否）や2回以上の利用者は除く

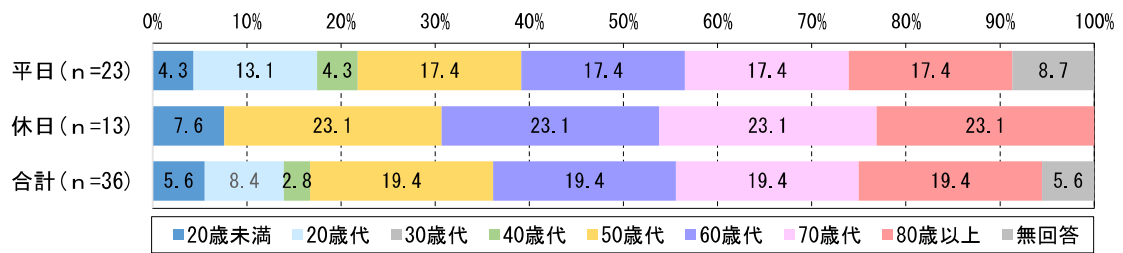
性別は、「女性」が、年齢は60歳代以上が約6割と多く、住まいは「鋸南町内」が66.7%、「鋸南町外」が33.3%と、鋸南町外の利用も見受けられる。

運転免許有無は「無」が66.7%と無い方の割合が多く、運転免許所持者の約8割が返納意思が「無」と回答している。

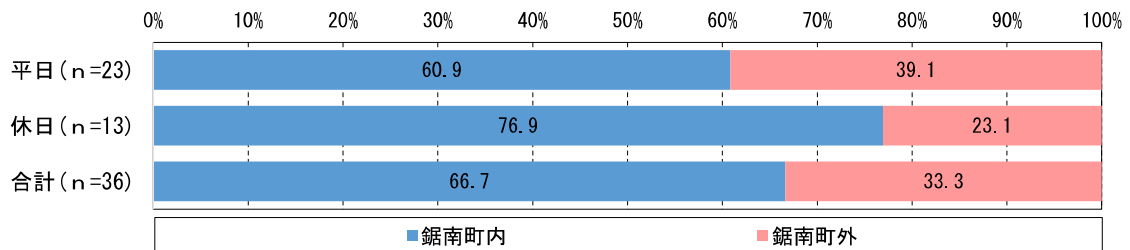
■性別



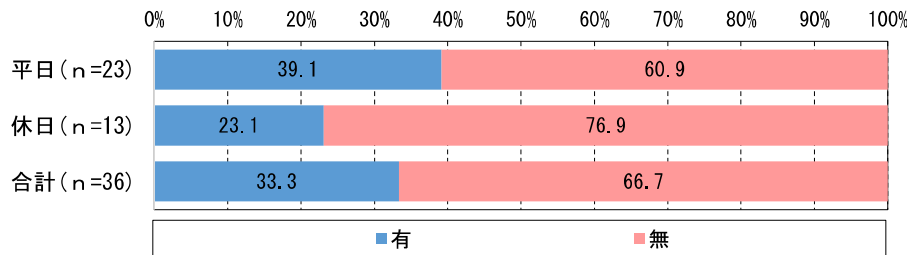
■年齢



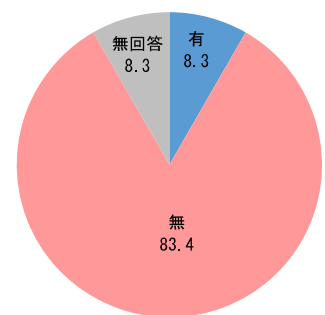
■住まい



■運転免許証有無



■運転免許証返納意思

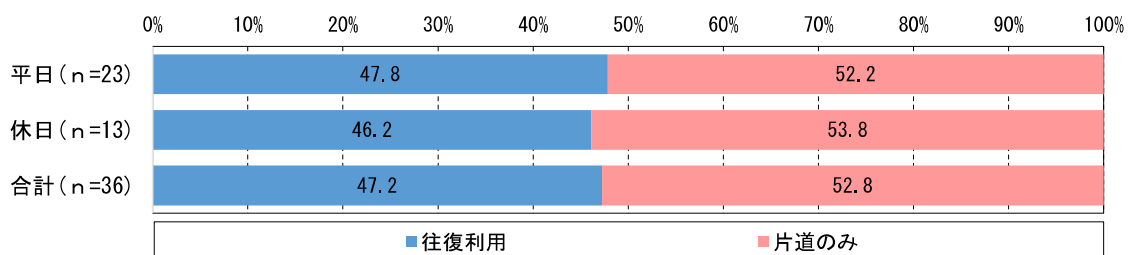


2) 利用状況

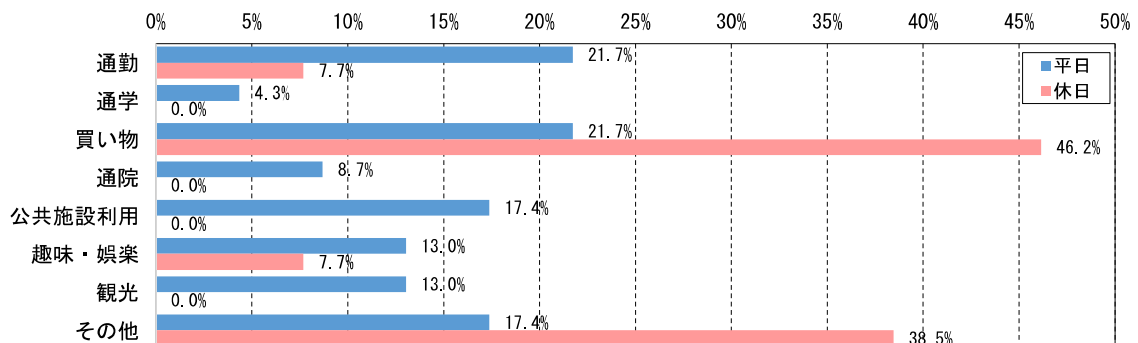
往復利用有無は「往復利用」と「片道のみ」がそれぞれ約5割で、利用目的は平日で「通勤」「買い物」「公共施設利用」が、休日で「買い物」「その他」が多い。

利用頻度は、「週に3～4日」「年に数日」が多いものの、分散している傾向となっている。

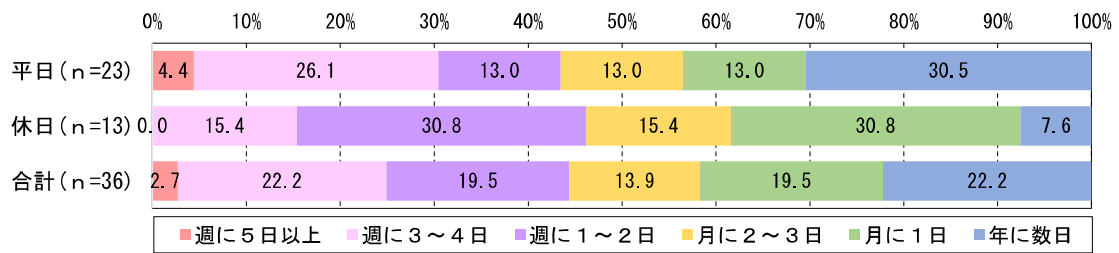
■往復利用有無



■利用目的



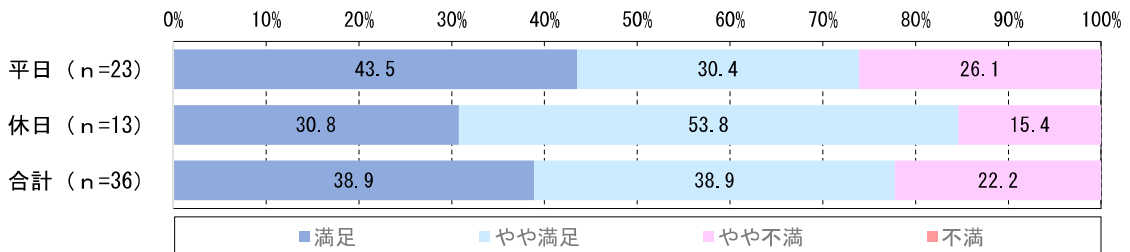
■利用頻度



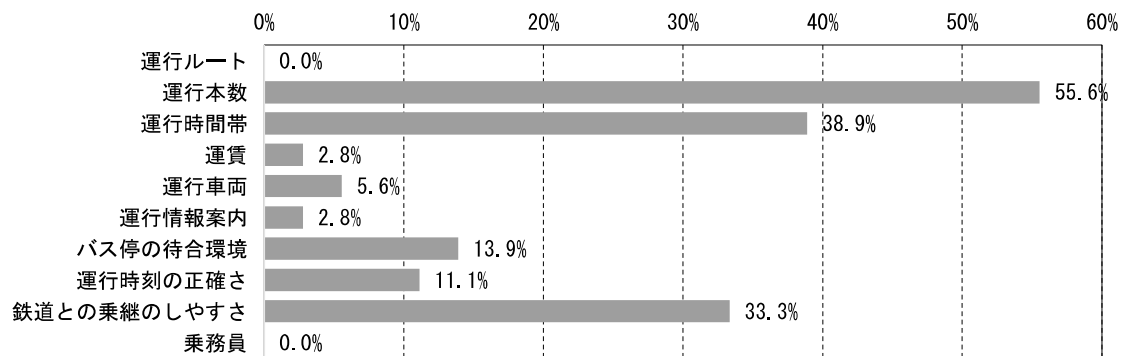
3) 運行サービスに対する満足度及び改善して欲しいサービス

運行サービスに対する満足度は、「満足」と「やや満足」を合わせると、約8割が満足しており、改善して欲しいサービスは「運行本数（55.6%）」、「運行時間帯（38.9%）」、「鉄道との乗継のしやすさ（33.3%）」の順で高い。

■運行サービスに対する満足度



■改善して欲しいサービス



第4章 町民・関係者意識調査

4-1 住民アンケート調査

18歳以上の町民2,000人（無作為抽出）を対象に、町民の外出実態・移動ニーズ、公共交通サービス満足度等定性的なサービス、町民が求めている公共交通の利用促進方策など把握するためのアンケート調査を行った。

調査対象者	18歳以上の町民2,000人					
調査方法	・調査方法…郵送配布、郵送回収＋WEBアンケート ※令和7年8月7日（木）発送～8月26日（火）締切					
調査項目	①回答者の属性 ：住まい、性別、年齢、職業、自動車所有状況、外出状況 ②日常の移動のしやすさ ：外出する時に交通手段が無くて困ることの有無とその目的、行き先、困る時の対応 ③日常生活の移動実態【目的別（通勤・通学、買い物、通院、公共施設利用）】 ：外出頻度、主な行き先、利用交通手段 ④自動車・バイク（原付含む）運転状況 ：自動車運転免許有無、利用頻度、将来の運転免許返納の考え方 ⑤鉄道（JR内房線）、町営循環バス、高速バス及びタクシーの利用実態と意識・要望 ：利用頻度、利用目的、利用しない理由、運行サービスに対する満足度 ⑥公共交通の利用意向 ：行きたい場所、利用頻度、利用したい公共交通の種類（運行形態） ⑦公共交通の今後のあり方 ：今後の取組みの方向性、公共交通に対する財政負担の考え方、公共交通や自家用車利用に対する考え方、効果的な公共交通の利用促進策					
回収数	960票（回収率：48.0%）（郵送回収：835票、WEB回答：125票）					
内訳	属性		実数	割合	属性	
	性別	男性	419	43.7%	女性	536
		回答しない	6	0.6%	無回答	9
	地区	勝山地区	424	44.2%	保田地区	360
		佐久間地区	172	17.9%	無回答	4
	年齢	10歳代	4	0.4%	20歳代	25
		30歳代	46	4.8%	40歳代	73
		50歳代	119	12.4%	60歳代	195
		70歳代	287	29.9%	80歳代	208
		無回答	3	0.3%		
	職業	会社員・公務員	211	22.0%	自営業	125
		パート・アルバイト	116	13.1%	主婦（夫）・家事手伝い	111
		学生・生徒	8	0.8%	無職	341
		その他	27	2.8%	無回答	11

※回答割合の合計は、少数第2位を四捨五入しているため、100%にならない場合がある。

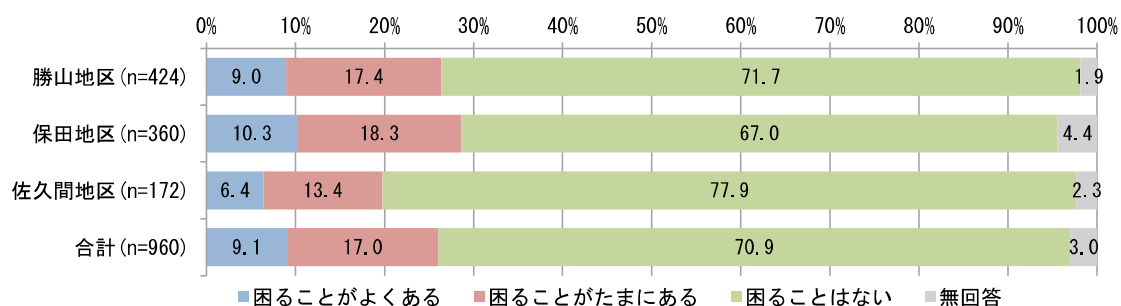
(1) 日常の移動のしやすさ

外出時の移動の困りごとは、「困ることがよくある(9.1%)」と「困ることがたまにある(17.0%)」と合わせると26.1%の方が困っており、年齢別に見ると、80歳代以上で45.7%と多くなっている。

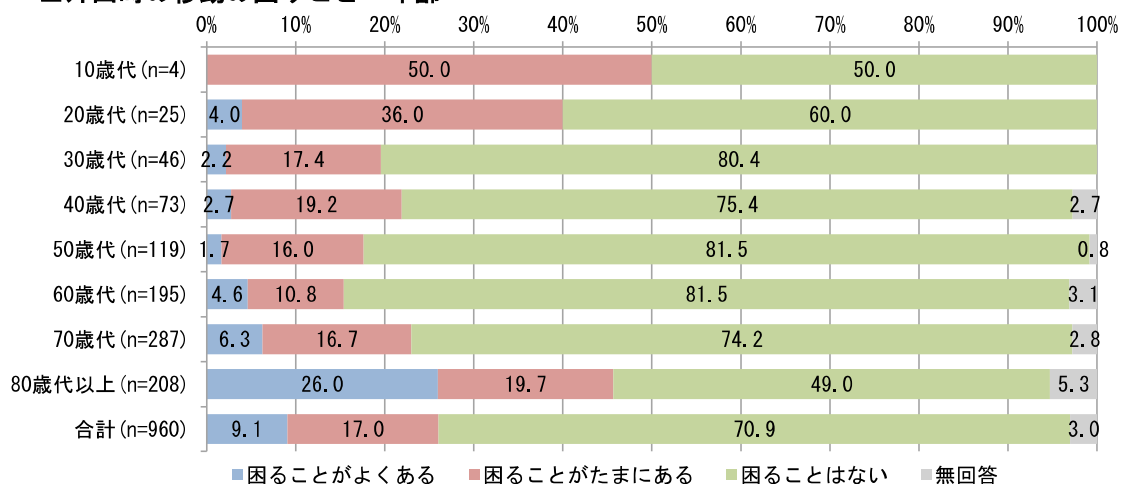
困ることが多い外出目的は、「買い物(56.5%)」、「通院(55.6%)」が多く、その行き先は、「町外(44.2%)」が最も多く、町内では「おどや鋸南店(39.9%)」となっている。

外出時の困った時の対処法は、「家族・友人・知人等に送迎してもらおう」が61.3%と最も多い。

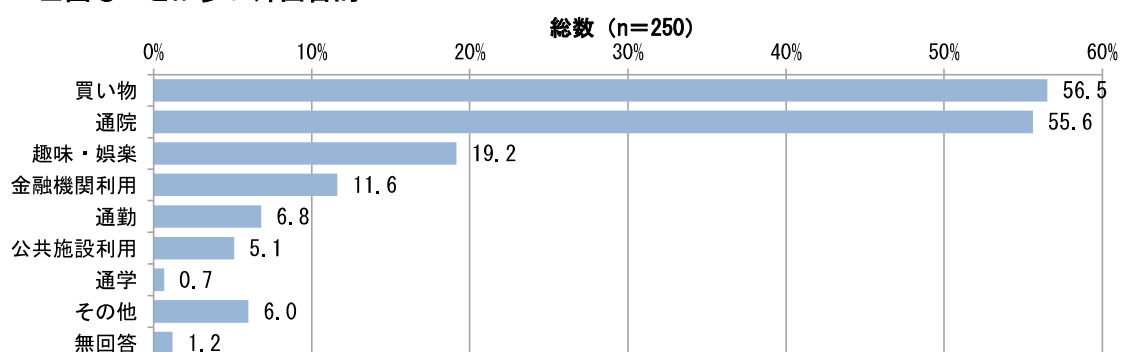
■外出時の移動の困りごと



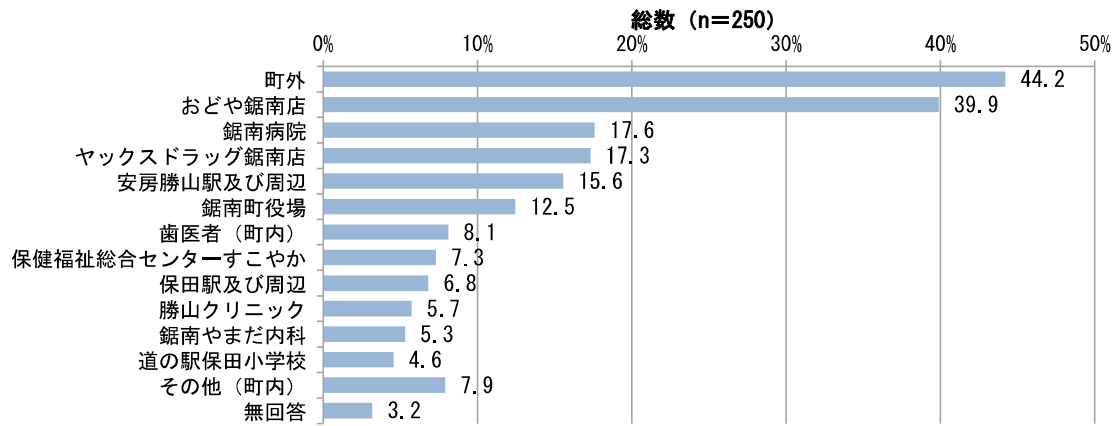
■外出時の移動の困りごと×年齢



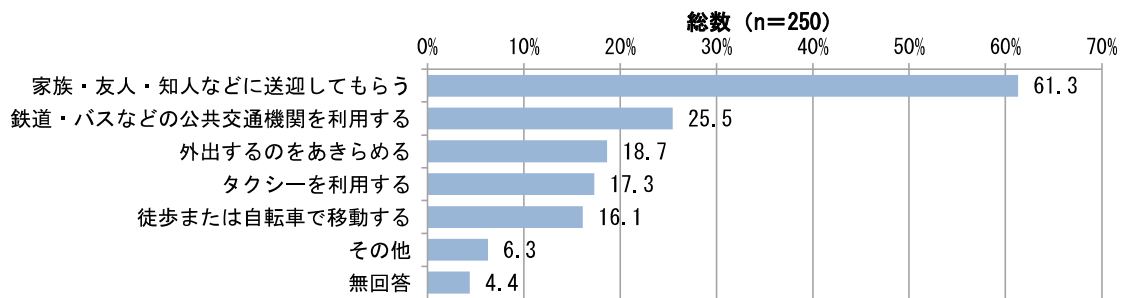
■困ることが多い外出目的



■困ることが多い外出先



■外出時の困った時の対処法



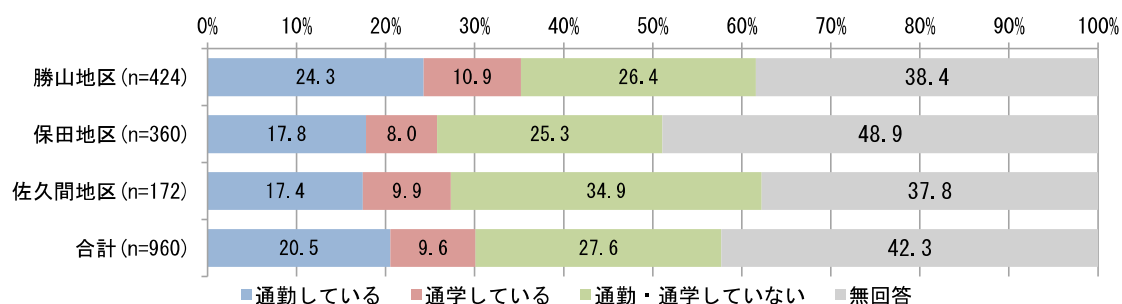
(2) 日常生活の移動実態

①通勤・通学の外出行動

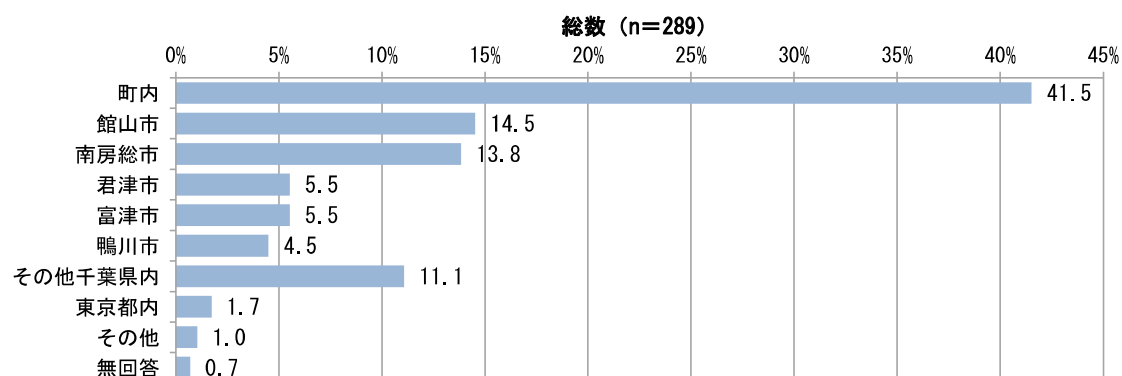
通勤・通学の有無は、「通勤している」が20.5%、「通学している」が9.6%となっており、主な行き先は、「町内」が約4割、町外が約6割となっている。

主な交通手段は、「自動車（自分で運転）」が81.3%と大半を占めており、鉄道など公共交通利用者は7.6%を占めている。

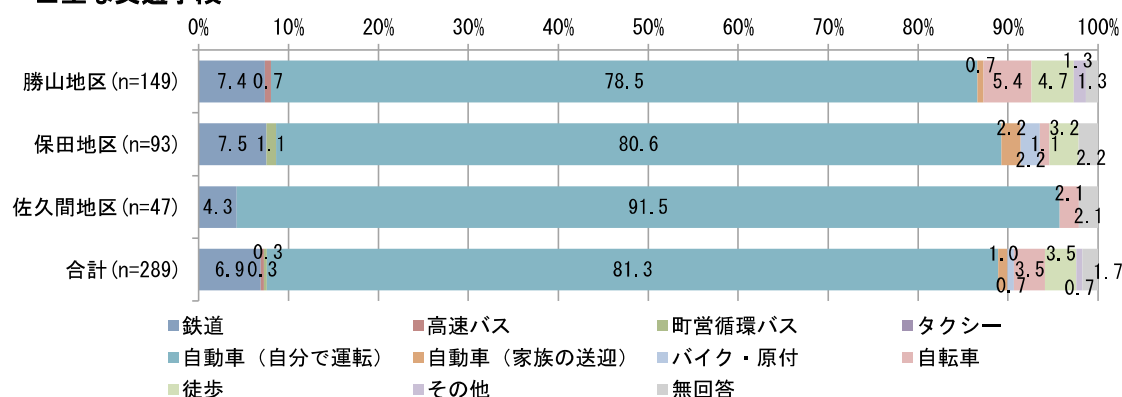
■通勤・通学の有無



■主な行き先



■主な交通手段



※駅・バス停までの交通手段（22件）は徒歩13件、自動車（家族の送迎）4件、自転車3件、自動車（自分で運転）1件、無回答1件

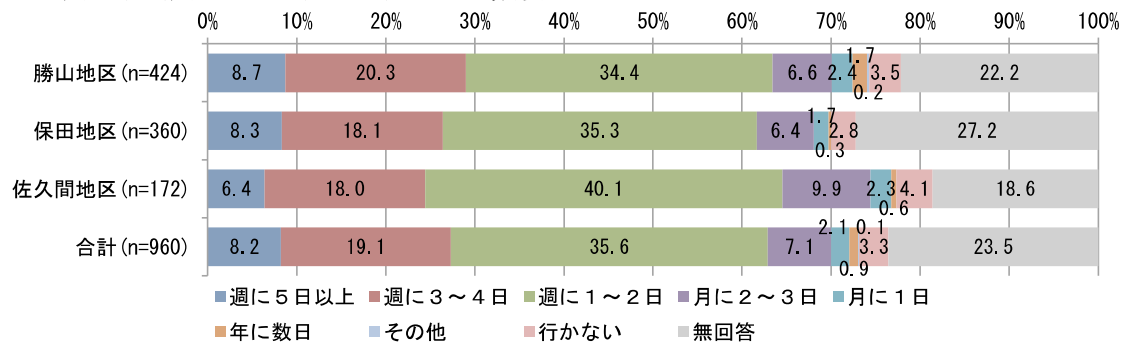
②買い物（食料品・日用品等）の外出行動

買い物における外出頻度は、「週に1～2日」が35.6%と最も多く、次いで「週に3～4日」が19.1%、「週に5日以上」が8.2%となっており、日常的に買い物目的で外出される方が多い傾向となっている。

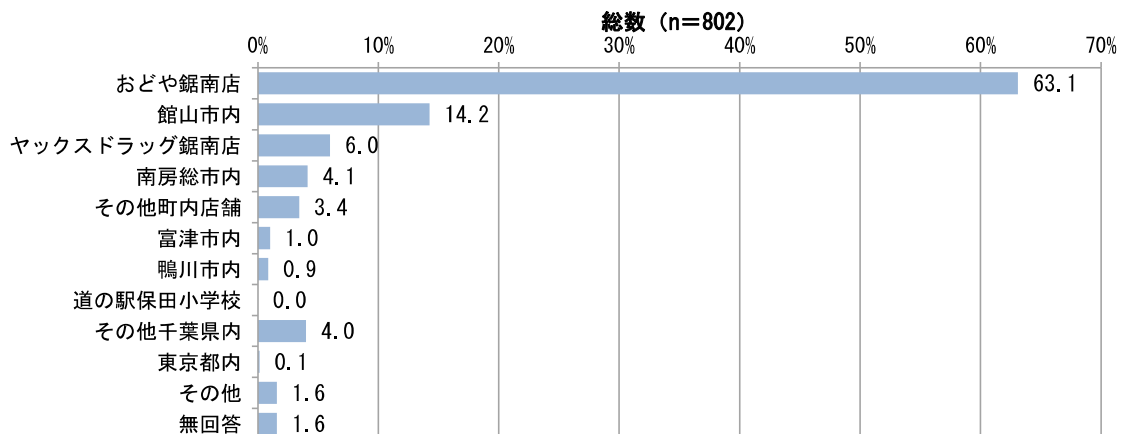
主な行き先は、「おどや鋸南店」が63.1%と最も多く、町内が約7割を占めており、「館山市内」や「南房総市内」など町外が約3割となっている。

主な交通手段は、「自動車（自分で運転）」が66.2%と最も多く、次いで「自動車（家族の送迎）」が14.7%となっている。

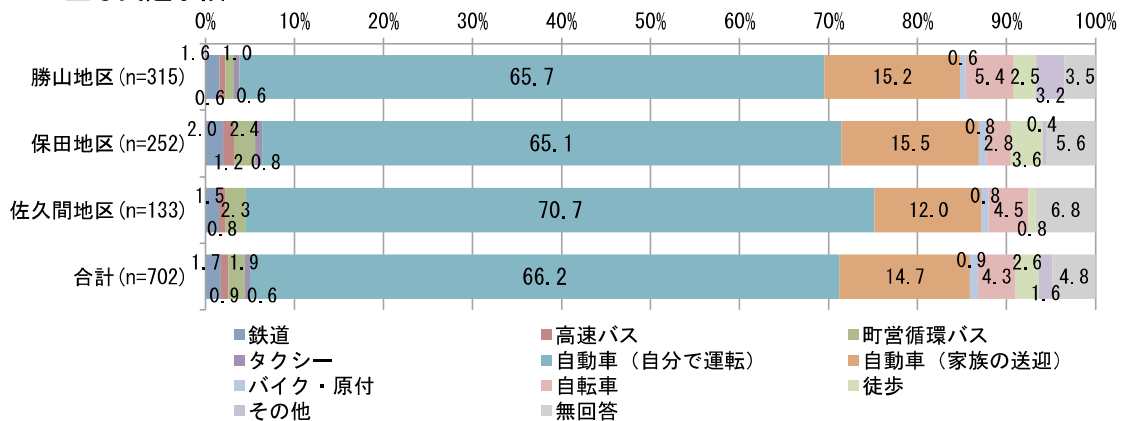
■買い物（食料品・日用品等）の外出頻度



■主な行き先



■主な交通手段



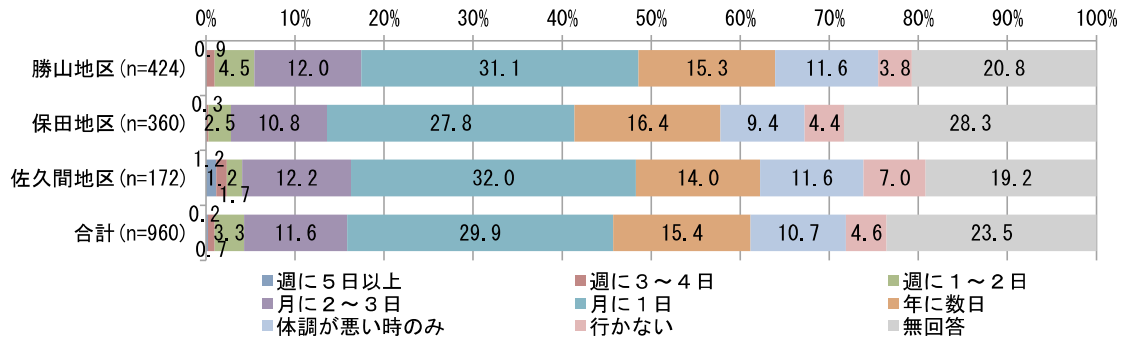
※駅・バス停までの交通手段（31件）は徒歩16件、自動車（家族の送迎）4件、自動車（自分で運転）4件、自転車2件、無回答5件

③通院の外出行動

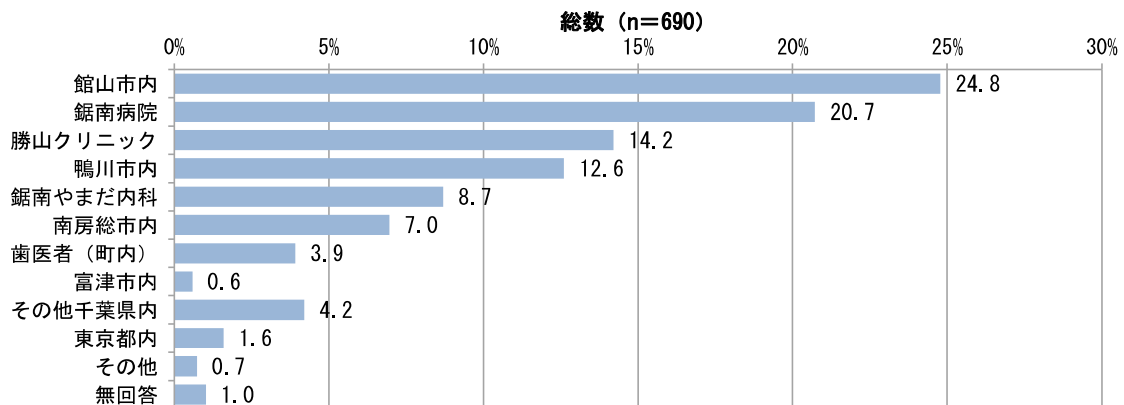
通院時における外出頻度は、「月に1日」が29.9%と最も多く、主な行き先は、「館山市内(24.8%)」、「鋸南病院(20.7%)」、「勝山クリニック(14.2%)」、「鴨川市内(12.6%)」の順で多く、町内と町外がそれぞれ約5割を占めている。

主な移動手段は、「自動車(自分で運転)」が59.7%と最も多く、次いで「自動車(家族の送迎)」が17.0%となっている。

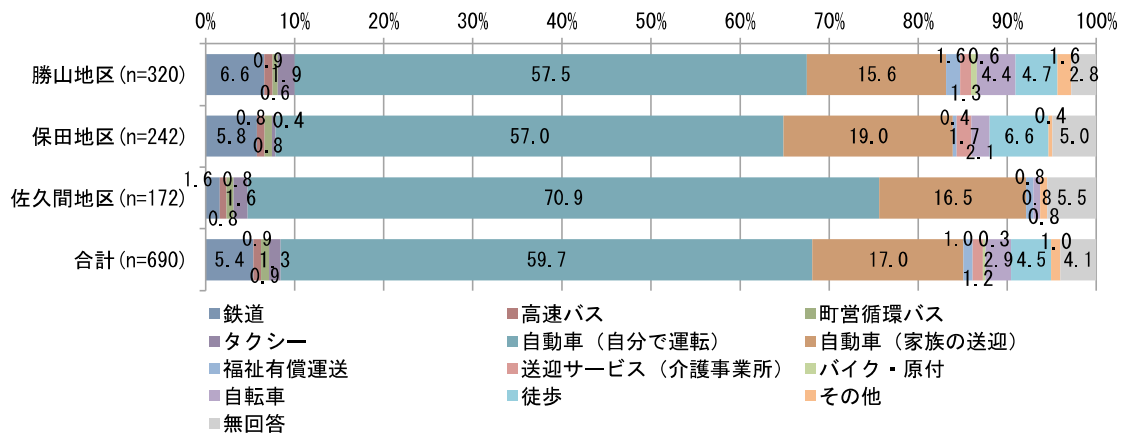
■通院の外出頻度



■主な行き先



■主な交通手段



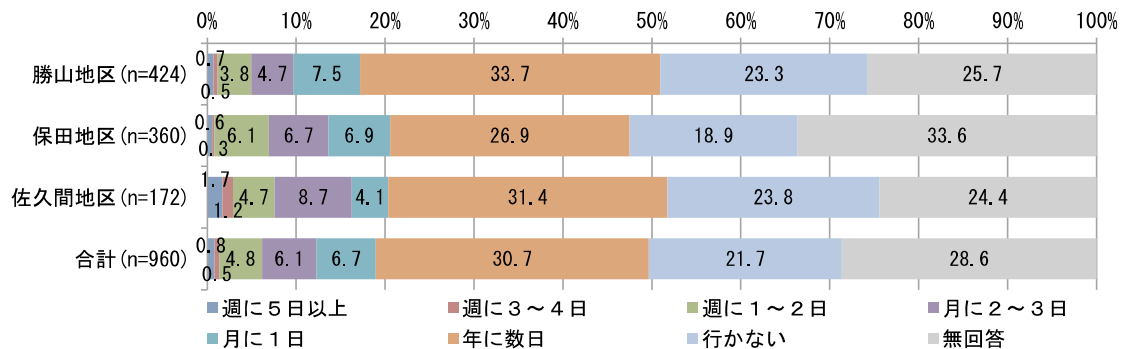
※駅・バス停までの交通手段(52件)は徒歩25件、自転車8件、自動車(自分で運転)6件、自動車(家族の送迎)4件、4件、無回答6件

④町内の公共施設利用時の外出行動

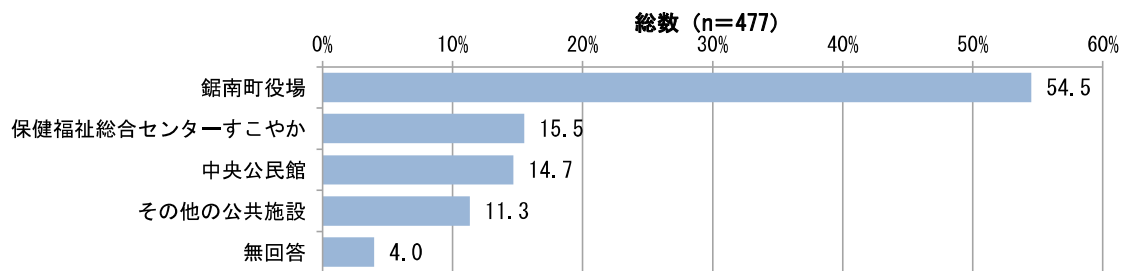
町内の公共施設利用時の外出頻度は、「年に数日」が30.7%と最も多く、主な行き先は、「鋸南町役場」が54.5%と最も多く、次いで「保健福祉総合センターすこやか（15.5%）」、「中央公民館（14.7%）」となっている。

主な交通手段は、「自動車（自分で運転）」が69.0%と最も多く、次いで「自動車（家族の送迎）」が10.5%となっている。

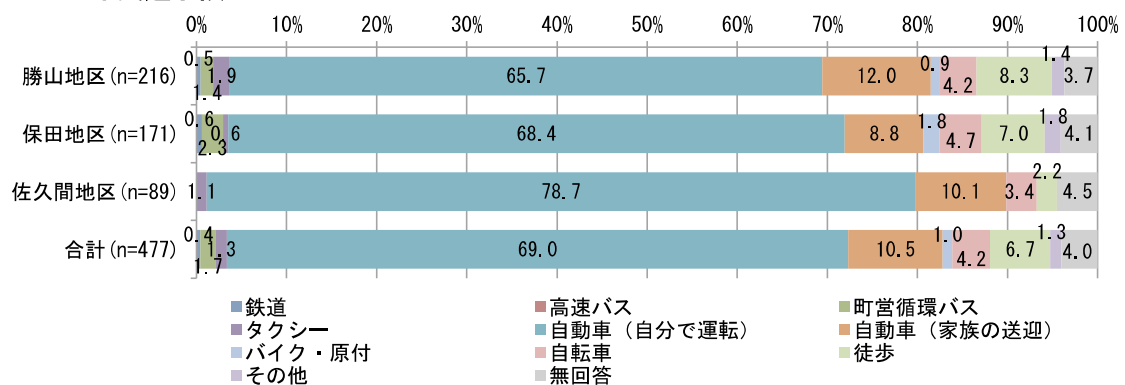
■町内の公共施設利用時の外出頻度



■主な行き先



■主な交通手段



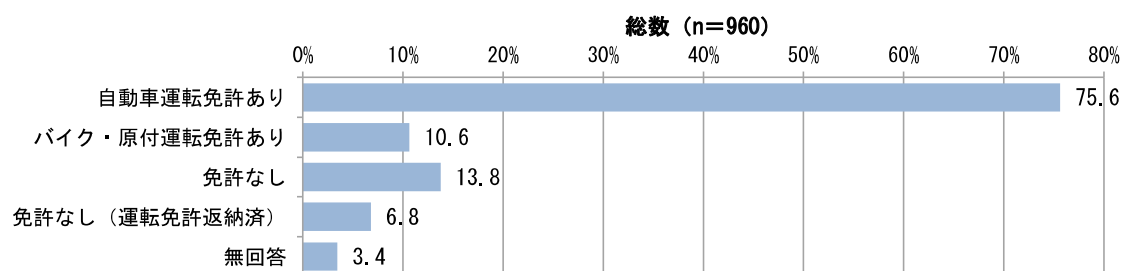
※駅・バス停までの交通手段（13件）は徒歩9件、自動車（家族の送迎）1件、4件、無回答3件

(3) 自動車・バイク（原付含む）運転状況

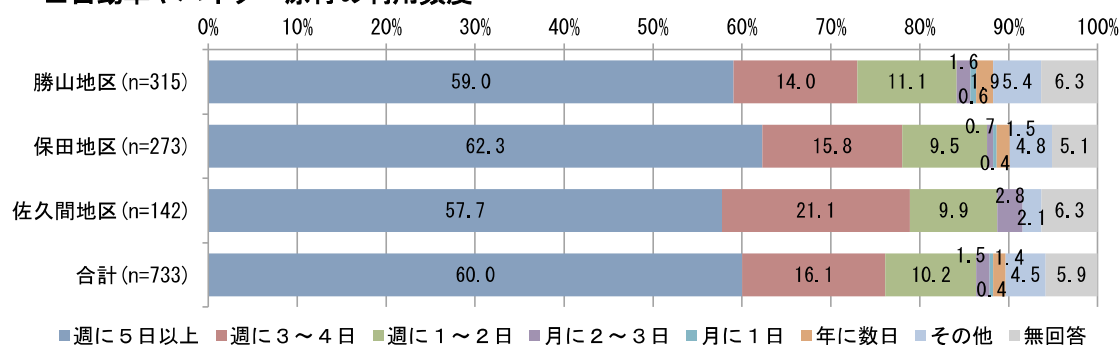
自動車運転免許証の保有状況は、「自動車運転免許あり」が75.6%と最も多く、自動車・バイク（原付含む）の利用頻度は、「週に5日以上」が60.0%と最も多くなっている。

将来の自動車運転免許証返納の考え方は、「高齢になったら返納を考える」が50.6%と最も多く、年齢別に見ると、高齢になるほど、「次の運転免許の更新はするが、その次の更新の前には返納したい」「返納を考えているが難しいと感じている」の割合が多くなっている。

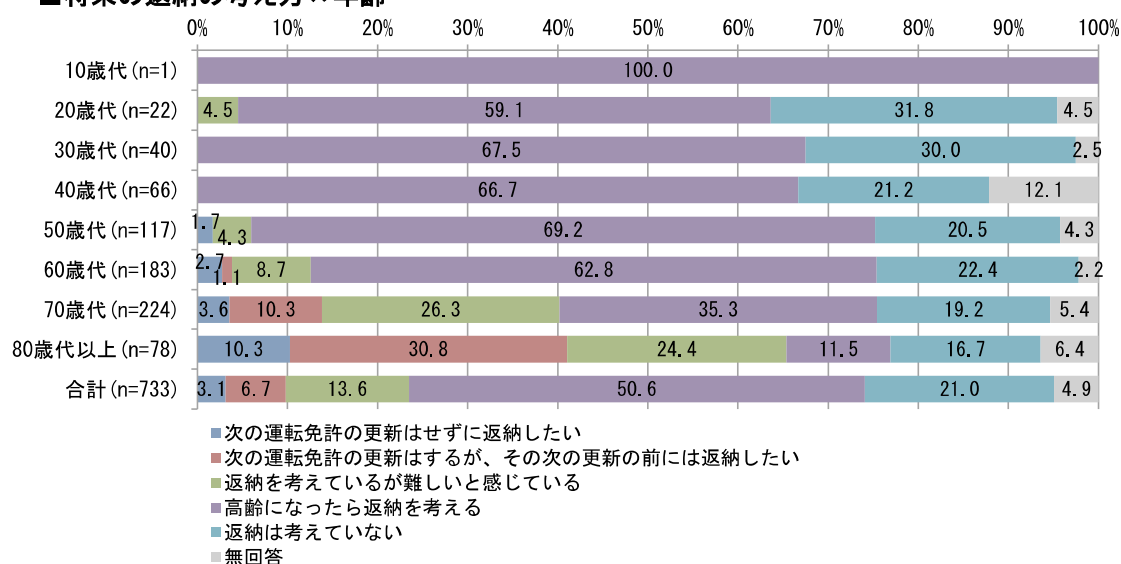
■自動車運転免許の保有率



■自動車やバイク・原付の利用頻度



■将来の返納の考え方×年齢



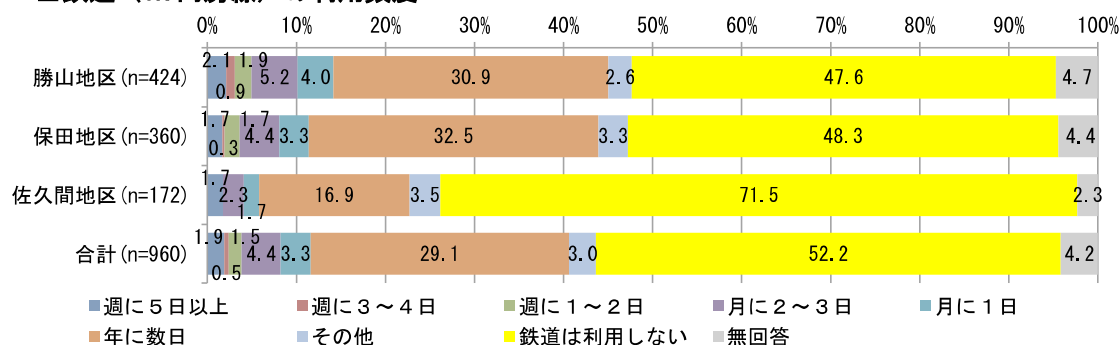
（４）鉄道（JR 内房線）の利用実態と意識・要望

鉄道（JR 内房線）の利用頻度は、40.6%（年に数日以上）の方が利用しており、主な利用目的は、「趣味・娯楽」が49.2%と最も多く、次いで「通院（18.0%）」、「買い物（17.0%）」となっている。

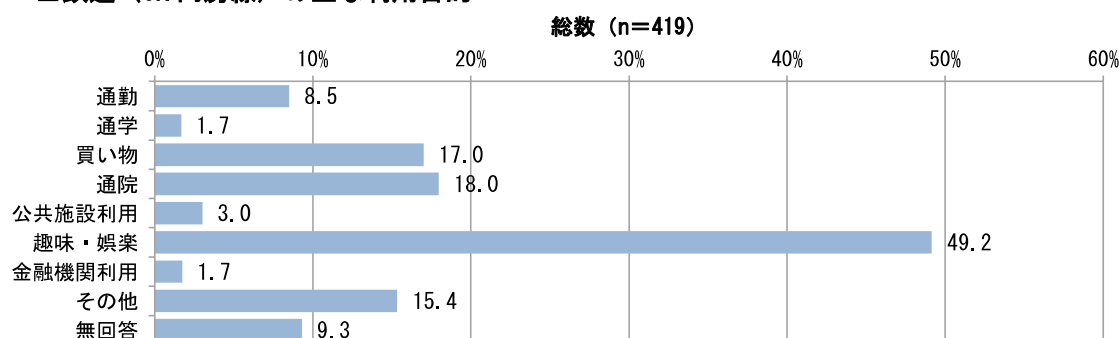
鉄道を利用しない理由は、「自動車の方が便利だから」が69.6%と最も多く、次いで「鉄道を利用する用事がないから（49.9%）」となっている。

運行サービスに対する満足度は、「駅舎の快適さ（バリアフリーなど）」、「時刻表・路線図などの運行情報案内」で「満足」「やや満足」と回答した割合が、「運行時間帯」、「運行本数」、「バスとの乗り継ぎのしやすさ」で「不満」「やや不満」の割合が高くなっている。

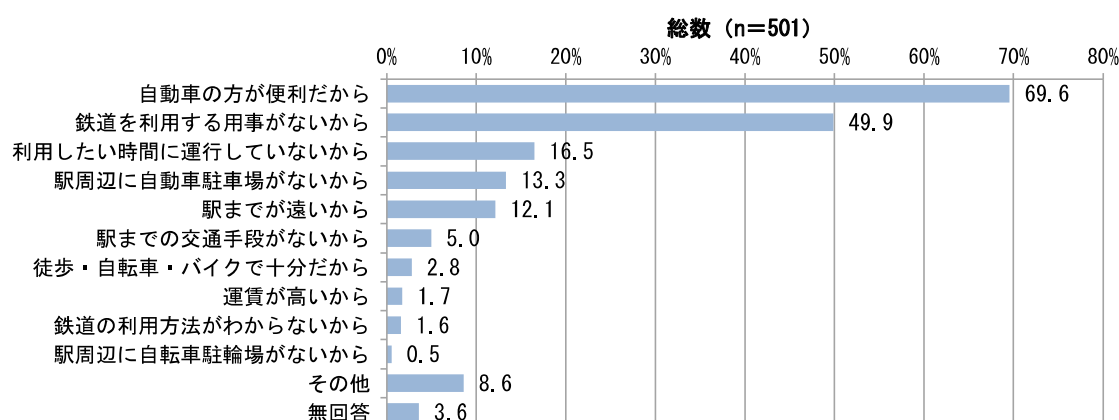
■鉄道（JR 内房線）の利用頻度



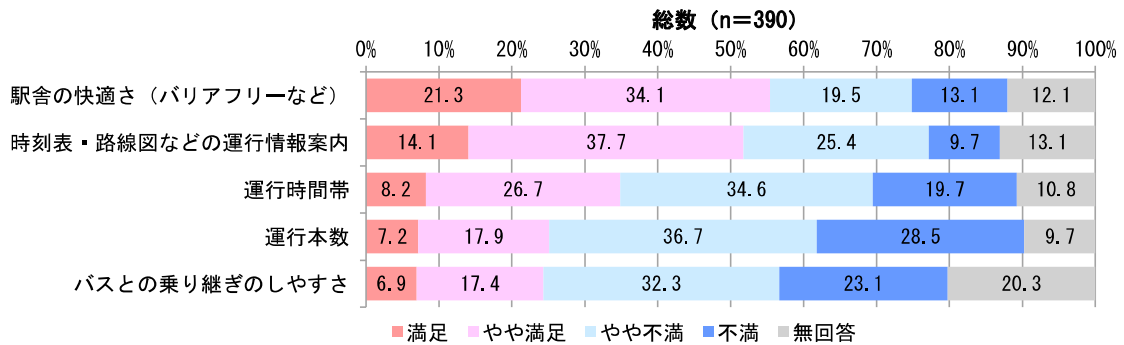
■鉄道（JR 内房線）の主な利用目的



■鉄道を利用しない理由



■運行サービスの満足度（利用者）



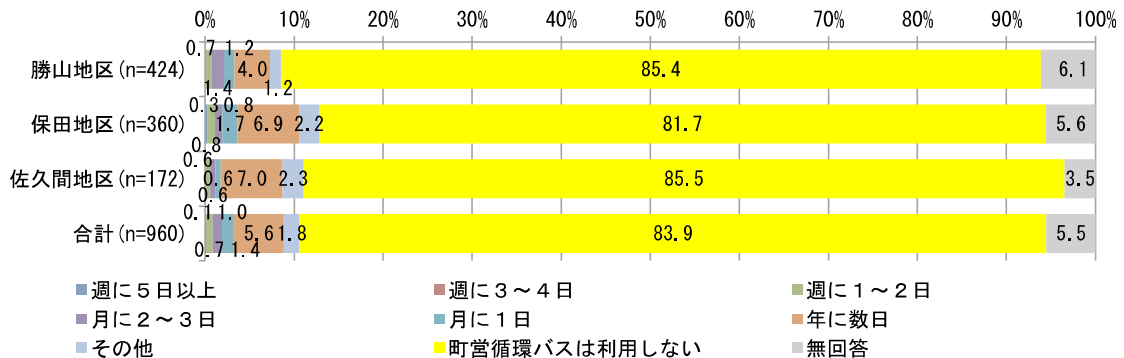
（５）町営循環バスの利用実態と意識・要望

町営循環バスの利用頻度は、8.9%（年に数日以上）の方が利用しており、主な利用目的は、「買い物」が35.3%と最も多く、次いで「通院（25.2%）」、「趣味・娯楽（20.6%）」となっている。

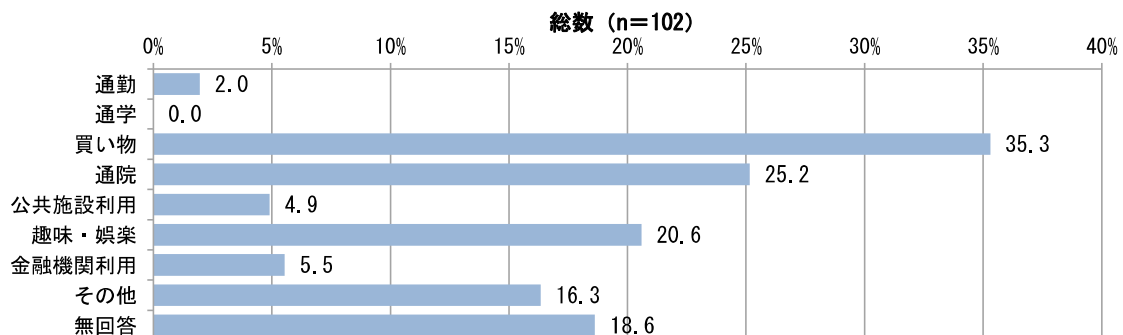
利用しない理由は、「自動車の方が便利だから」が77.9%と最も多く、次いで「バスに乗る習慣がないから（26.3%）」、「利用したい時間に運行していないから（16.4%）」となっている。

運行サービスに対する満足度は、「運賃」、「運行ルート（行き先）」、「時刻表・路線図などの運行情報案内」で「満足」「やや満足」と回答した割合が、「バスとの乗り継ぎのしやすさ」、「運行時間帯」、「運行本数」で「不満」「やや不満」の割合が高くなっている。

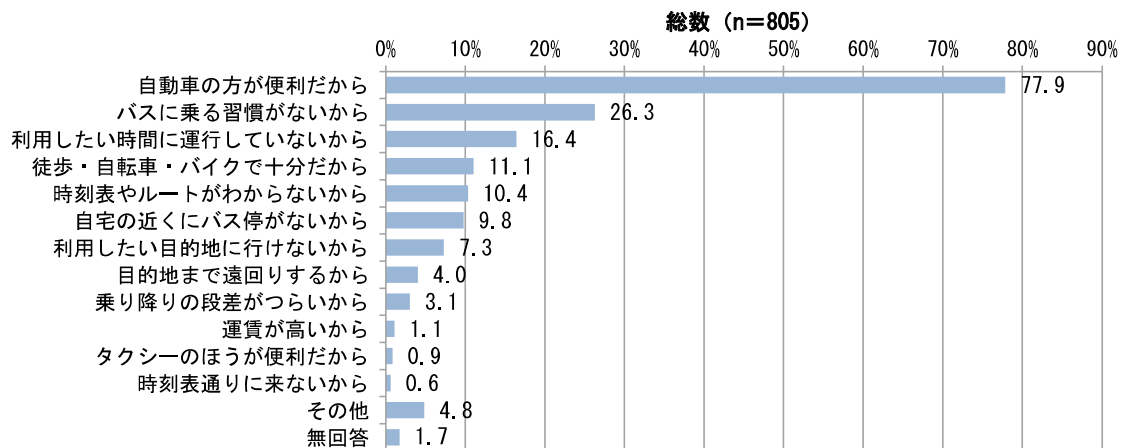
■町営循環バスの利用頻度



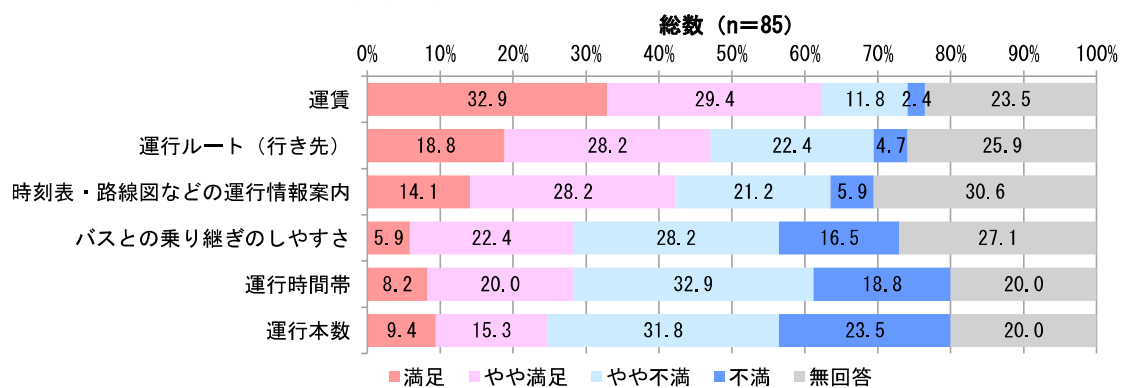
■主な利用目的



■町営循環バスを利用しない理由



■運行サービスの満足度（利用者）



（6）高速バスの利用実態と意識・要望

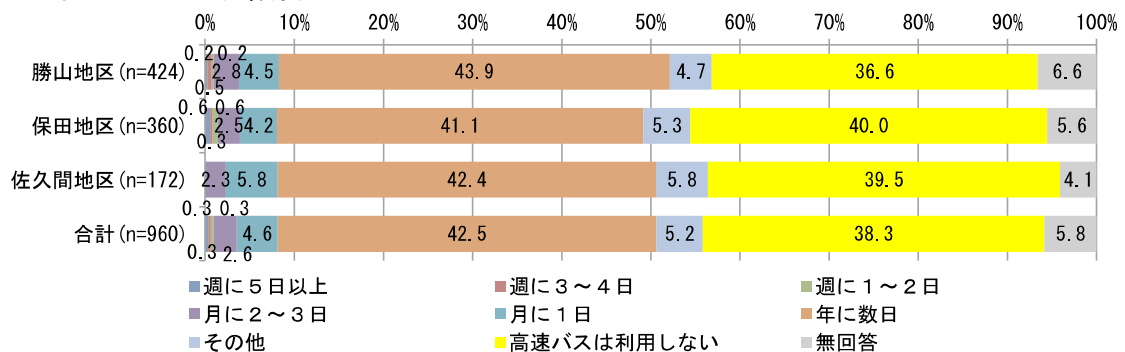
高速バスの利用頻度は、50.6%（年に数日以上）の方が利用しており、主な利用目的は、「趣味・娯楽」が63.3%と最も多く、次いで「買い物（22.6%）」となっている。

利用しない理由は、「高速バスを利用する用事がないから」が58.4%と最も多く、次いで「自動車の方が便利だから」が37.5%、「バス停までが遠いから」が13.8%となっている。

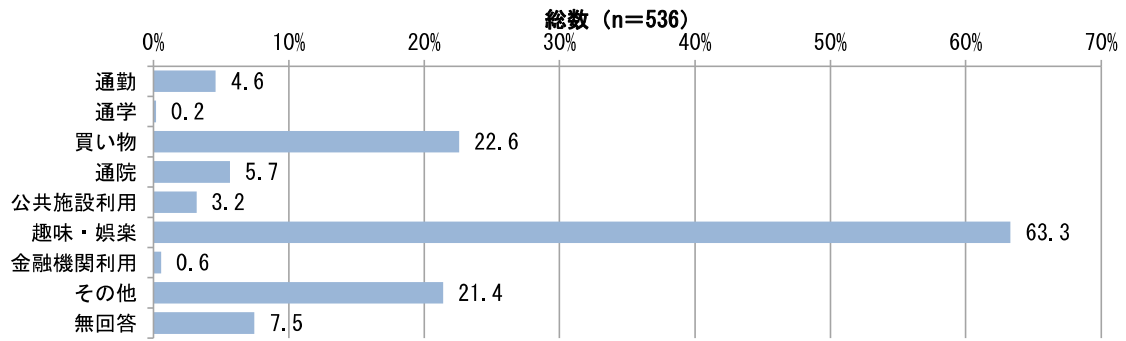
高速バスが保田小学校まで乗り入れた場合の利用意向は、「利用したいと思う」が41.7%と最も多く、特に保田地区で70.3%と利用意向が高い傾向となっている。

運行サービスに対する満足度は、総じて「満足」「やや満足」の割合が高い。

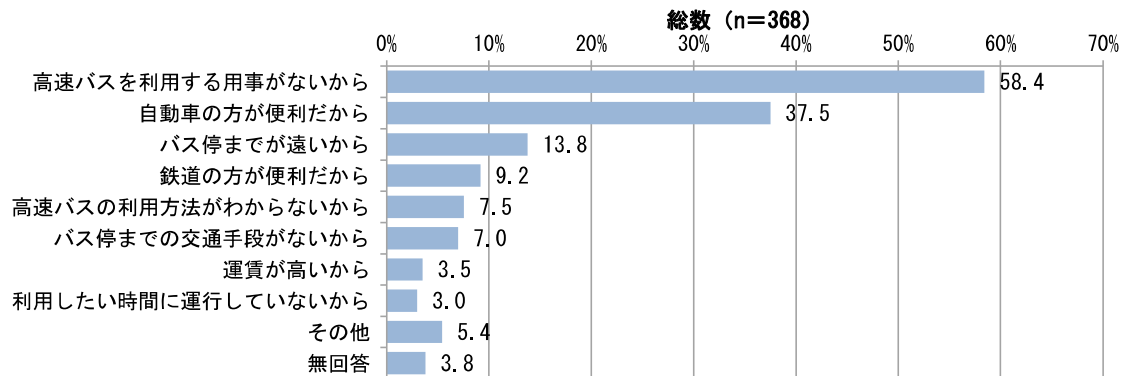
■高速バスの利用頻度



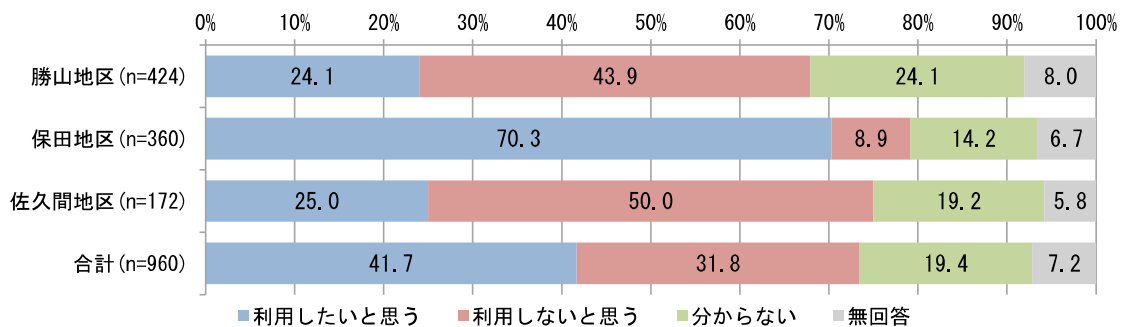
■高速バスの主な利用目的



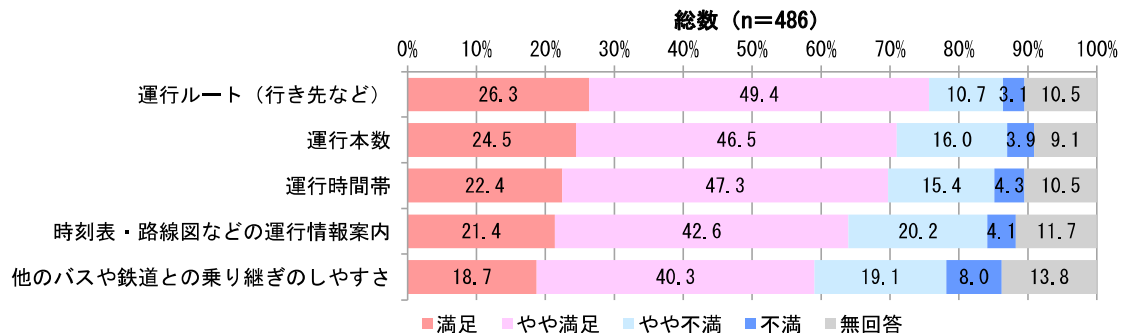
■利用しない理由



■保田小学校まで乗り入れた場合の利用意向



■運行サービスの満足度（利用者）



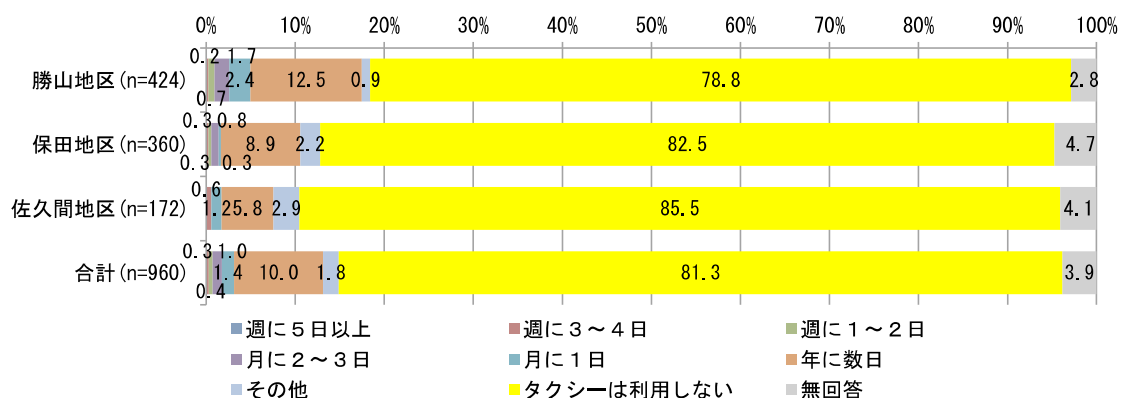
(7) タクシーの利用実態と意識・要望

タクシーの利用頻度は、13.1%（年に数日以上）の方が利用しており、主な利用目的は、「通院」が35.2%と最も多く、次いで「趣味・娯楽（29.4%）」、「買い物（10.7%）」となっている。

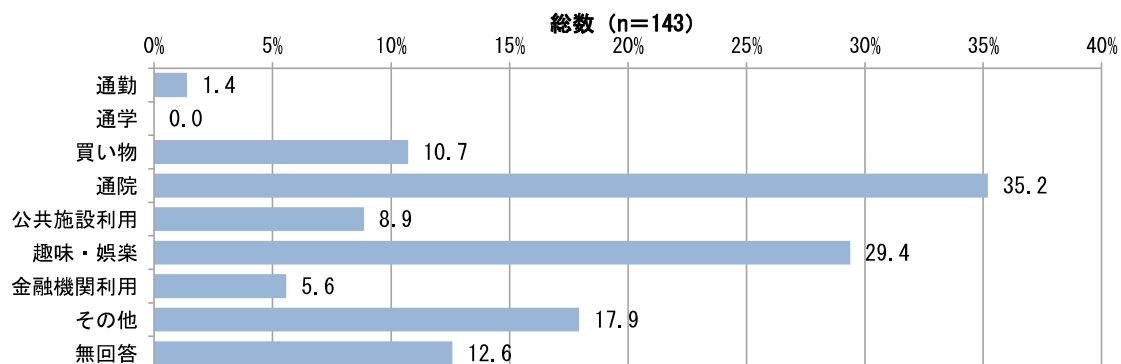
タクシーを利用しない理由は、「自動車の方が便利だから」が74.7%と最も多く、次いで「タクシーを利用する用事がないから」が35.0%となっている。

運行サービスに対する満足度は、「車両の乗り心地・乗りやすさ」で「満足」「やや満足」と回答した割合が、「運賃」、「営業時間・配車サービスなどの営業情報」で「不満」「やや不満」の割合が高くなっている。

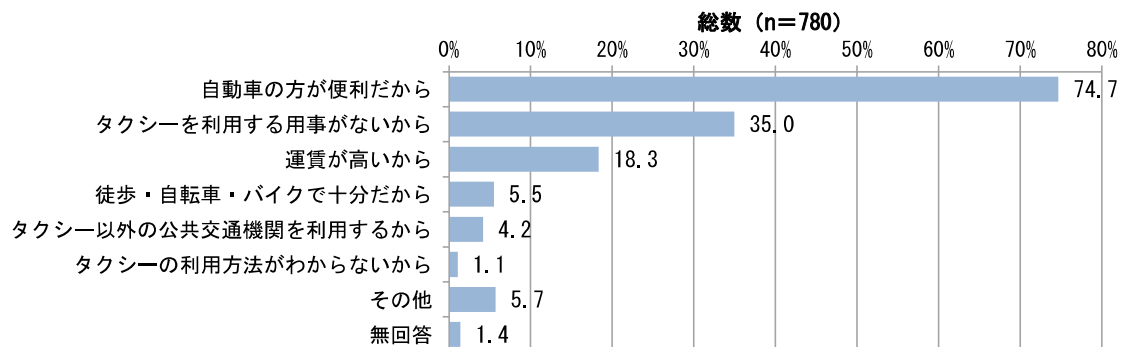
■タクシーの利用頻度



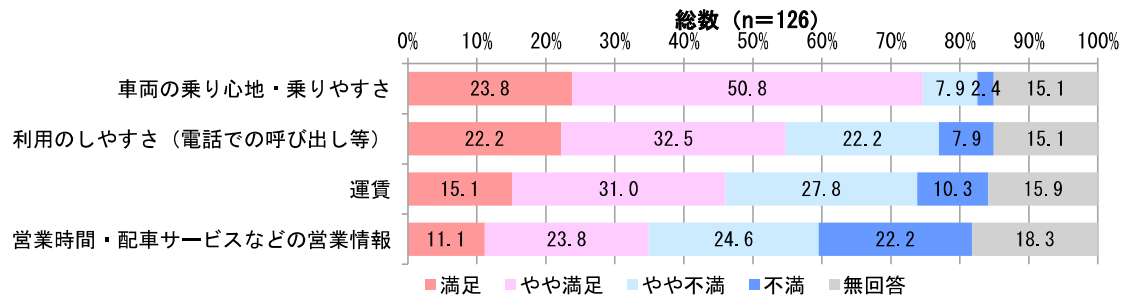
■タクシーの主な利用目的



■利用しない理由



■運行サービスの満足度（利用者）

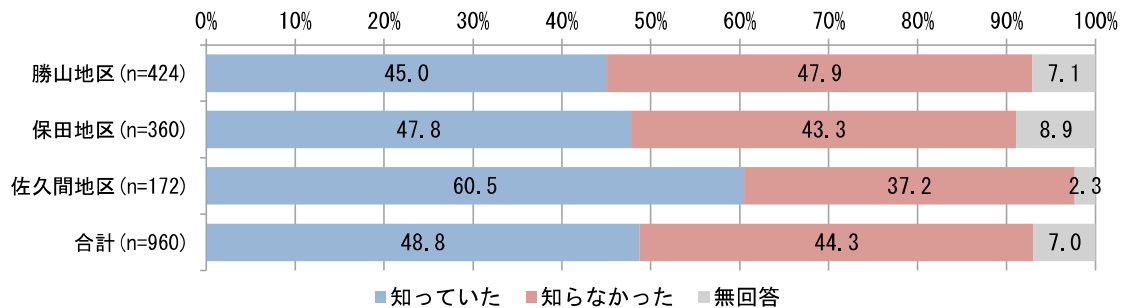


（８）オンデマンド交通実証実験

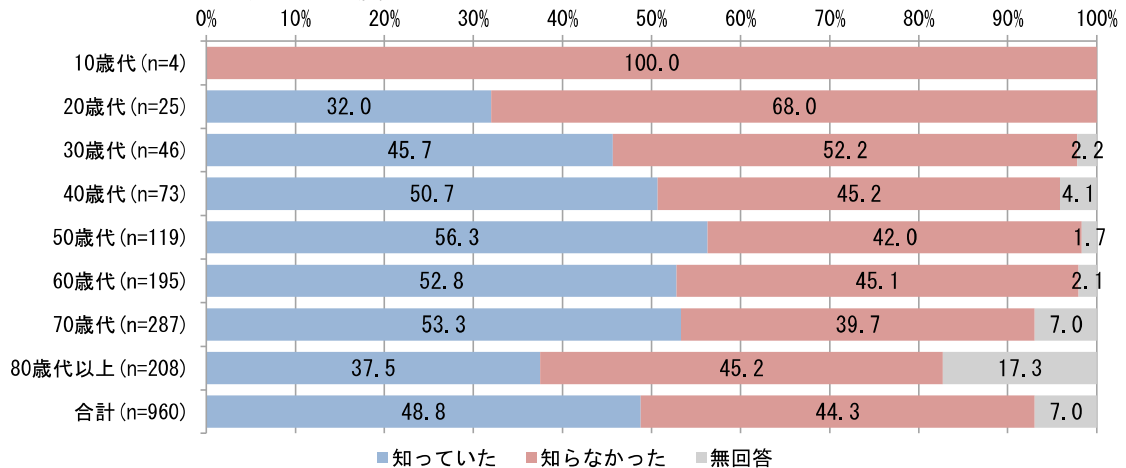
オンデマンド交通実証実験の認知度は、約半数が「知っていた」と回答しており、年齢別に見ると、40～70 歳代で5割を超えているものの、10 歳代や20 歳代、80 歳代以上で低くなっている。

今後、オンデマンド交通の必要性は、「どちらとも言えない」が46.9%と最も多く、「必要だと思う」は34.7%を占めている。

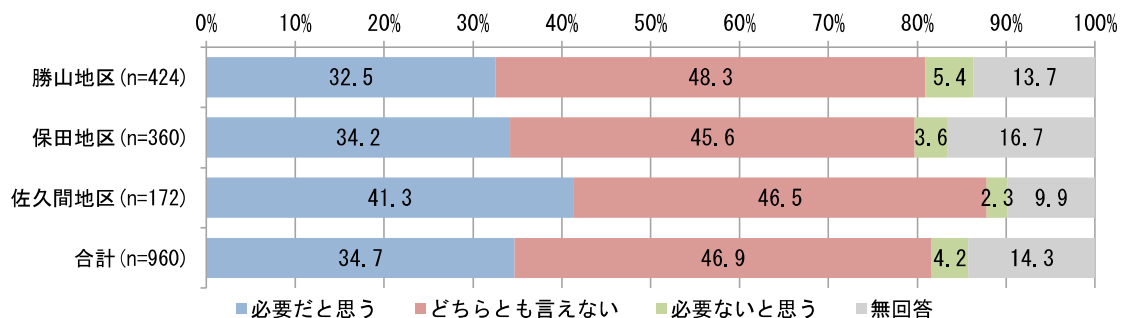
■オンデマンド交通の認知度



■オンデマンド交通の認知度×年齢



■オンデマンド交通の必要性



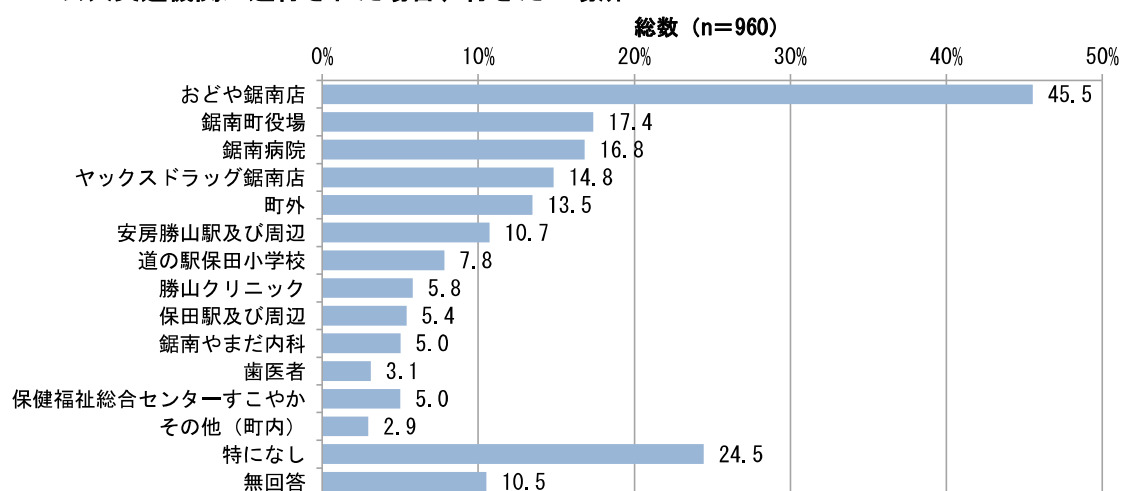
(9) 公共交通の利用意向

町内及び周辺で買い物や通院などの目的地へ直接移動できるバスなどの公共交通機関が運行された場合、行きたい場所は「おどや鋸南店」が45.5%と最も多く、次いで「鋸南病院（17.4%）」、「鋸南病院（16.8%）」、「ヤックスドラッグ鋸南店（14.8%）」の順となっている。

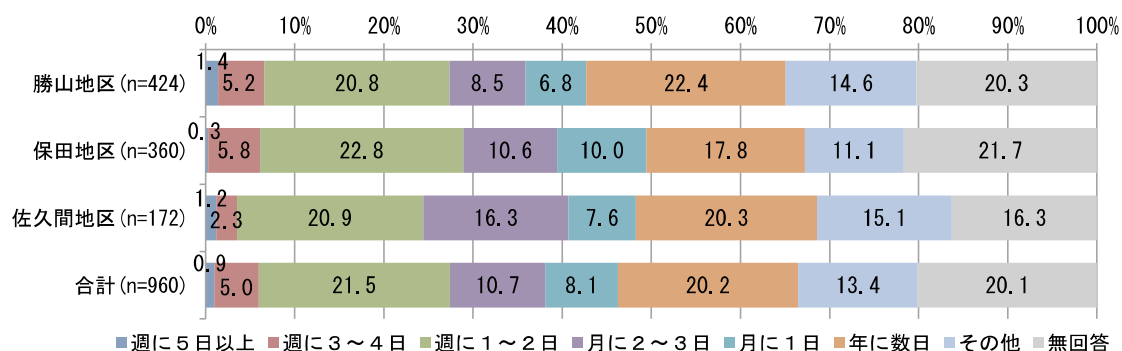
利用頻度は、「週に1～2日（21.5%）」と「年に数日（20.2%）」が多い。

利用したい公共交通の種類は、「運行エリア内で予約があった乗降ポイントを巡回するデマンド型交通」と「運行ルート・ダイヤを定めた定時定路線型交通（町営循環バスと同様）」がそれぞれ約3割と同程度となっており、年齢別に見ると、高齢になるほど「無回答」の割合が多く、各年代とも「デマンド型交通」と「定時定路線型交通」の割合は同程度となっている。一方で、町営循環バスの利用者に限定した場合は「定時定路線型交通」の割合が45.9%と、「デマンド型交通」より多くなっている。

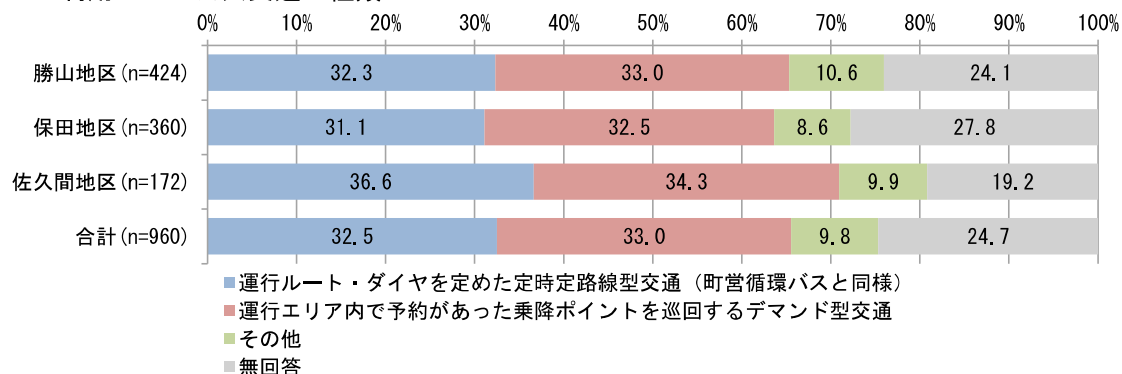
■公共交通機関が運行された場合、行きたい場所



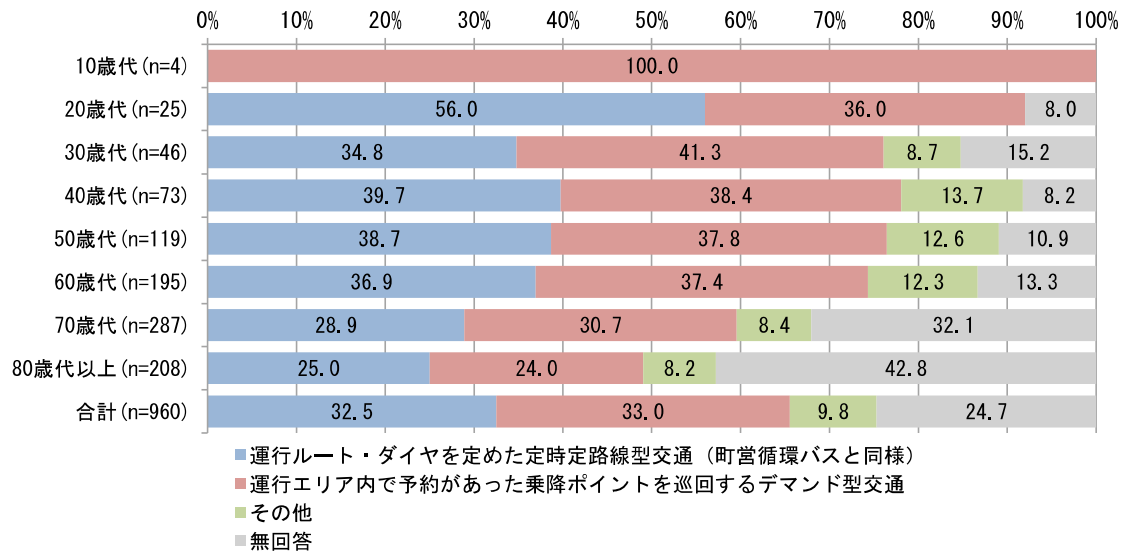
■利用頻度



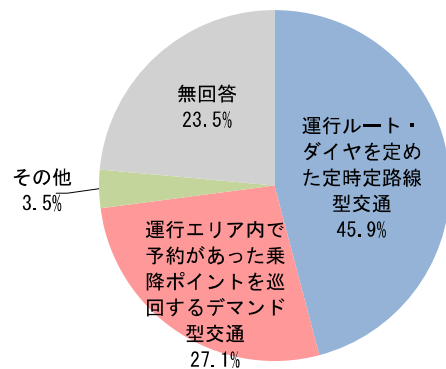
■利用したい公共交通の種類



■利用したい公共交通の種類×年齢



■利用したい公共交通の種類×町営循環バスの利用者（年に数日以上、n＝85）



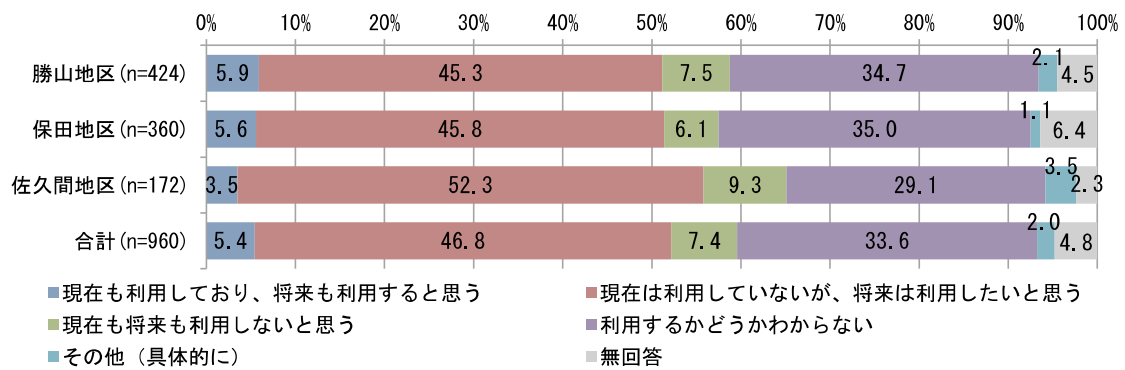
(10) 公共交通の今後のあり方

今後の公共交通の利用の考え方は、「現在は利用していないが、将来は利用したいと思う」が46.8%と最も多く、「現在も利用しており、将来も利用すると思う（5.4%）」と合わせると、約5割の方で利用意向があることが伺えられる。年齢別に見ると、「現在は利用していないが、将来は利用したいと思う」と回答した方は60歳代、70歳代で5割を超え、他の世代と比較して高い。

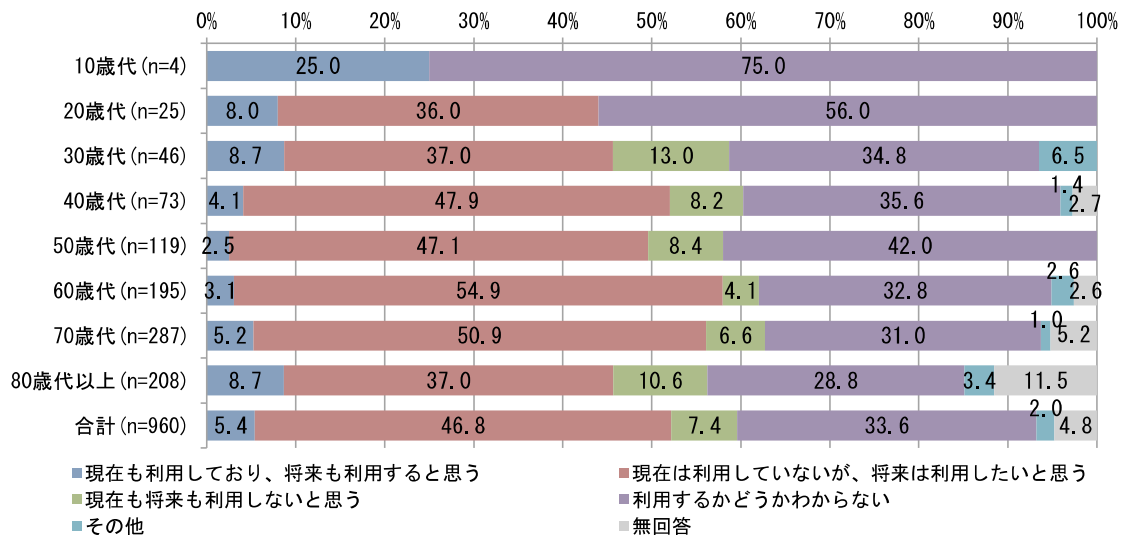
今後の公共交通に対する財政負担の考え方は、「現在と同程度の財政負担を維持したまま、運行の効率化や見直しを行い、サービスの向上を図るべきだ」が32.5%と最も多く、現在の公共交通サービスに対する縮小・廃止と回答した方は23.1%と少ない。

公共交通の利用を促進するため効果的な取組は、「自動車運転免許証返納者への公共交通割引制度などの拡充（39.0%）」「町営循環バスなどのルートや時刻表などを掲載した公共交通マップの作成・配布（29.9%）」、「スクールバスの一般混乗化や間合い利用（空き時間の活用）の導入（26.7%）」の順が多い。

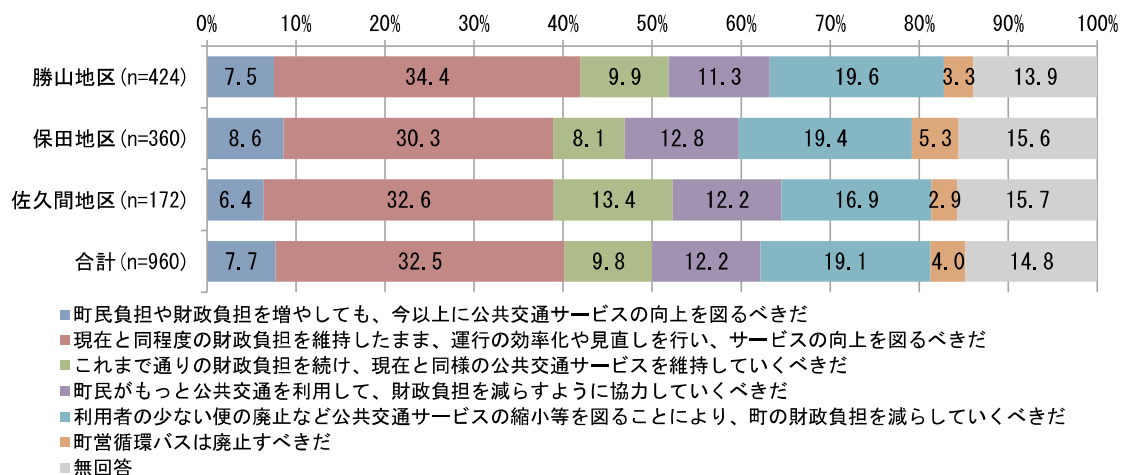
■公共交通の利用の考え方



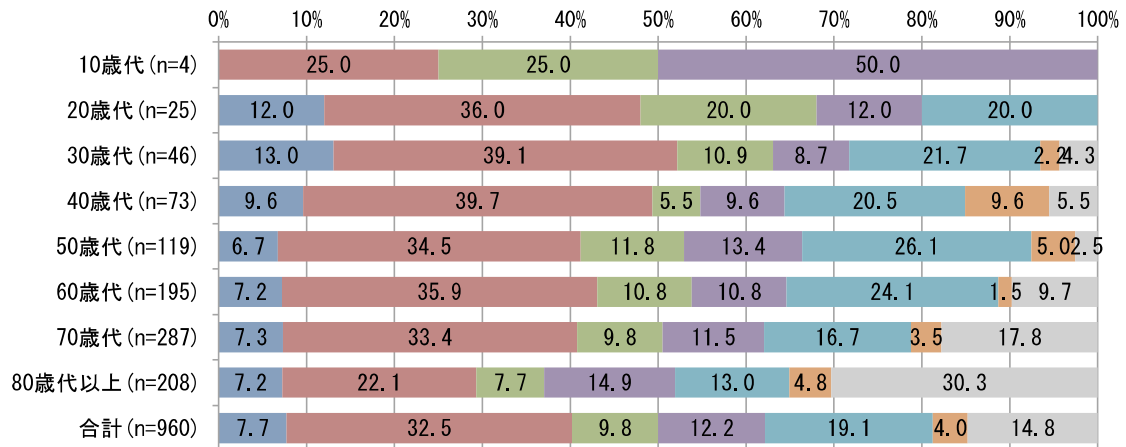
■公共交通の利用の考え方×年齢



■財政負担の考え方

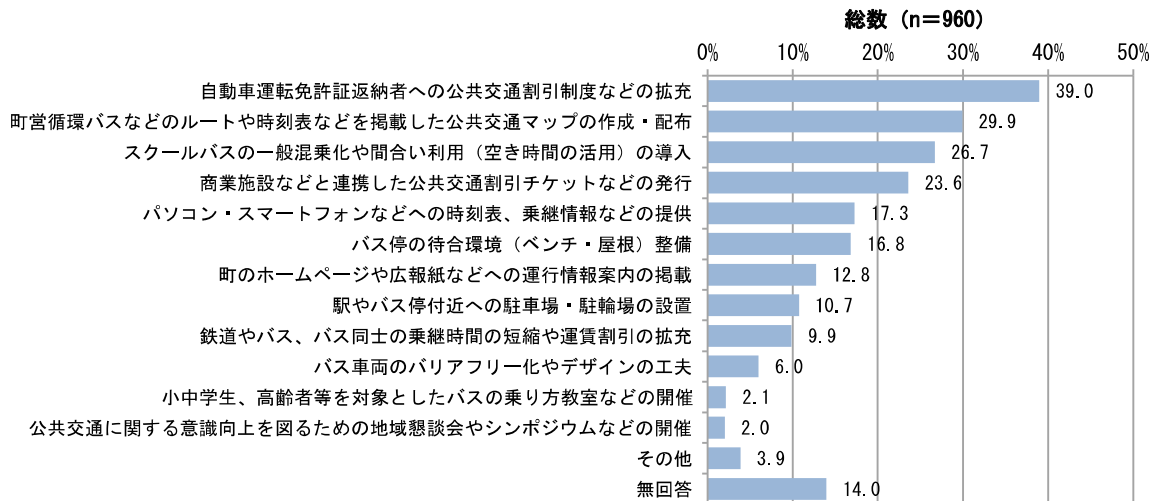


■財政負担の考え方×年齢



- 町民負担や財政負担を増やしても、今以上に公共交通サービスの向上を図るべきだ
- 現在と同程度の財政負担を維持したまま、運行の効率化や見直しを行い、サービスの向上を図るべきだ
- これまで通りの財政負担を続け、現在と同様の公共交通サービスを維持していくべきだ
- 町民がもっと公共交通を利用して、財政負担を減らすように協力していくべきだ
- 利用者の少ない便の廃止など公共交通サービスの縮小等を図ることにより、町の財政負担を減らしていくべきだ
- 町営循環バスは廃止すべきだ
- 無回答

■公共交通の利用を促進するため効果的な取組



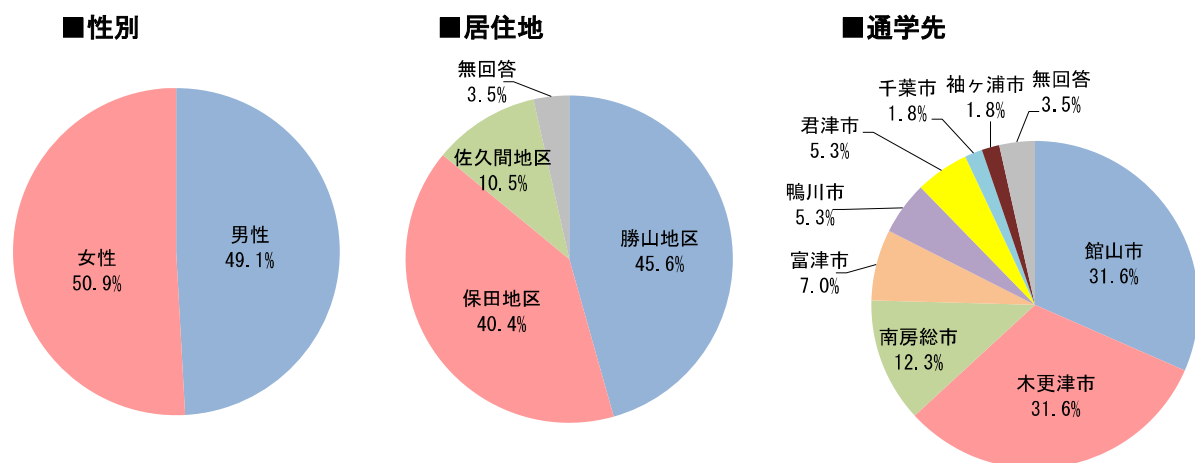
4-2 高校生アンケート調査

高校生を対象に、通学時の移動実態や公共交通の利用意向、改善点など把握するためのアンケート調査を行った。

調査対象者	高校生 126 人（住民基本台帳を基に 15 歳から 18 歳を抽出）
調査方法	・調査方法…郵送配布、郵送回収＋WEB アンケート ※令和 7 年 8 月 7 日（木）発送～8 月 26 日（火）締切
調査項目	・個人属性（性別、居住地、学生、通学先） ・出発・到着時間、所要時間、登下校時の交通手段（晴れの日、雨の日） ・公共交通の利用意向と利用する場合のサービス条件 ・町営循環バスを利用しない理由と利用意向、改善して欲しい点
回収状況	57 票（回収率 45.2%）（郵送回収：34 票、WEB 回答：23 票）

（1）回答者の属性

性別は「男性」、「女性」とも半数程度で、居住地は「勝山地区」「保田地区」が多く、通学先は「館山市（31.6%）」、「木更津市（31.6%）」がそれぞれ約 3 割を占め、房総地域が多い。



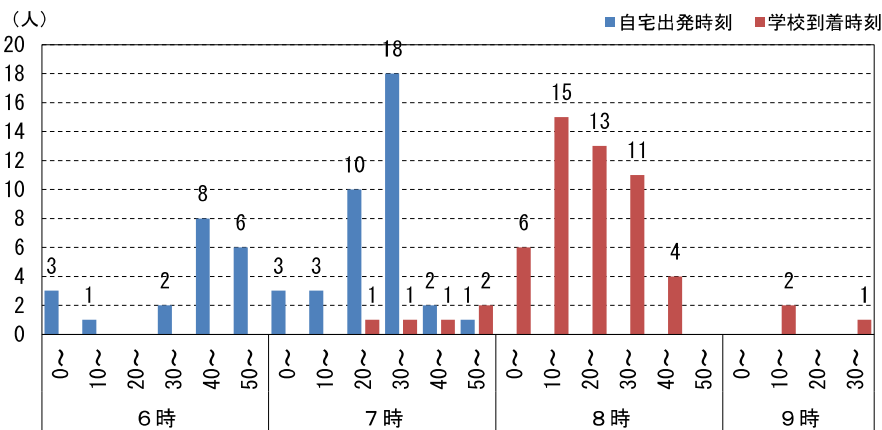
（2）通学状況

自宅から学校までの所要時間は「1 時間～1 時間 30 分未満」が 42.1%と多く、1 時間 30 分未満が約 8 割を占めている。

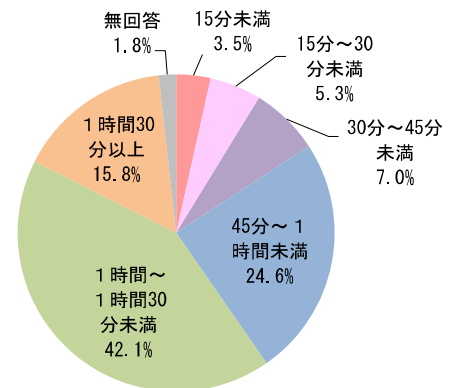
登下校（晴れの日）の利用交通手段は大半の方が「鉄道」を利用しており、駅まで（から）「自転車」「家族等の送迎」「スクールバス」が多い。

雨の日の交通手段は「雨の日は異なる」が約 2 割を占めており、雨の日は「家族等の送迎」が 100%となっている。

■学校への出発・到着時間

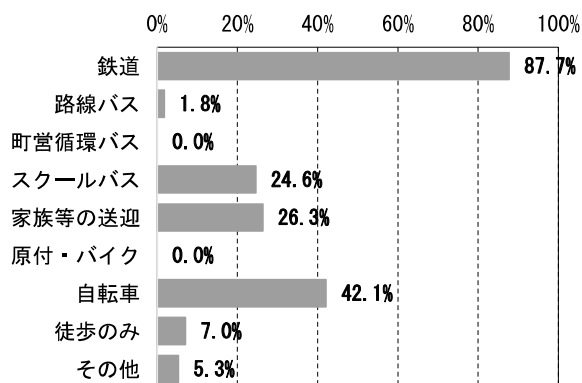


■自宅から学校までの所要時間

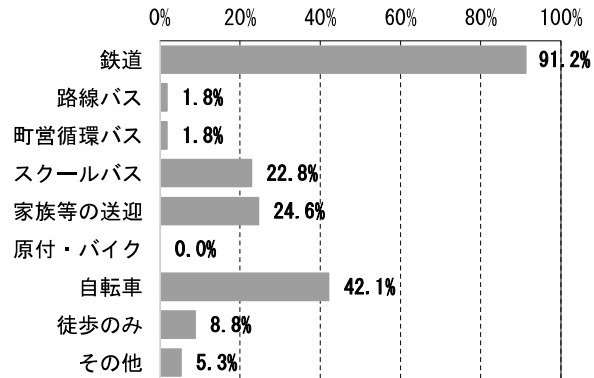


■通学時の利用交通手段

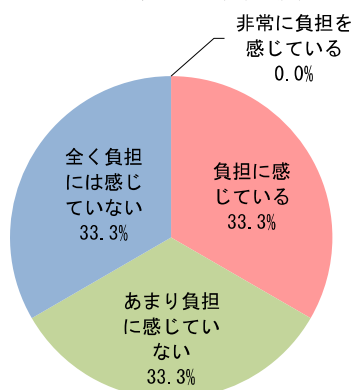
【登校時】



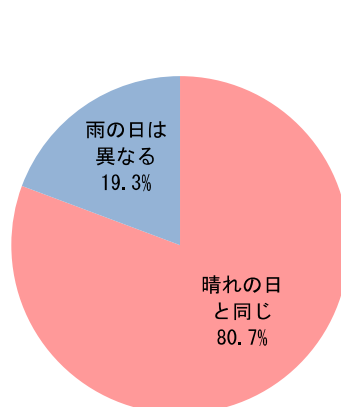
【下校時】



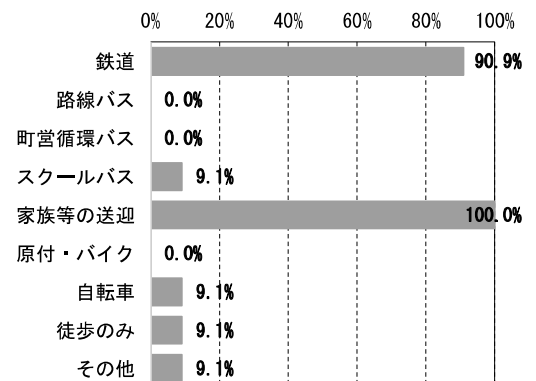
■家族送迎の負担度



■雨の日の交通手段



■雨の日の交通手段

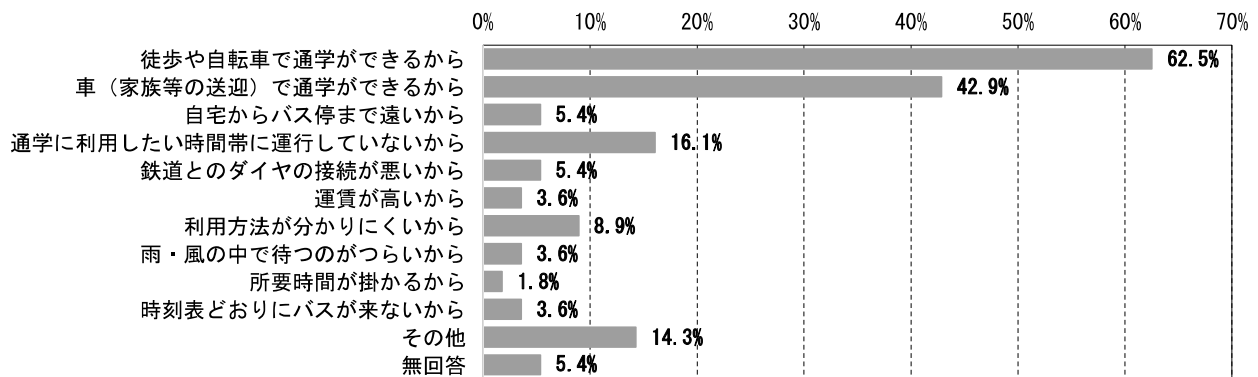


(3) 町営循環バスの利用しない理由と利用意向

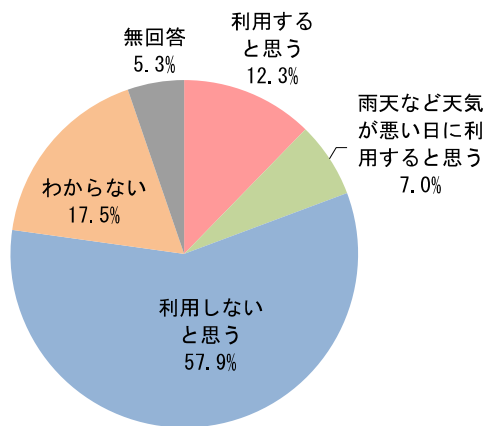
町営循環バスの利用しない理由は、「徒歩や自転車で通学ができるから」が 62.5%を最も多く、次いで「車（家族等の送迎）で通学ができるから（42.9%）」、「通学に利用したい時間帯に運行していないから（16.1%）」と多い。

仮にルートやダイヤが登下校の時間帯に合うよう運行された場合、「利用すると思う」と「雨天など天気が悪い日に利用すると思う」を合わせると、約2割が利用したい意向がある。

■町営循環バスを利用しない理由



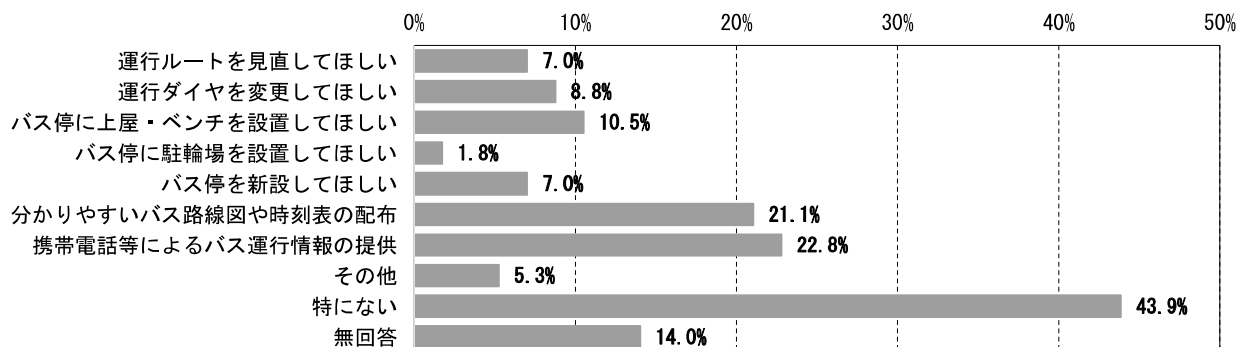
■仮にルートやダイヤが登下校の時間帯に合うよう運行された場合の利用意向



（４）町営循環バスの改善して欲しい点

町営循環バスの改善して欲しい点は、「特にない」を除くと、「携帯電話等によるバス運行情報の提供」が22.8%、「分かりやすいバス路線図や時刻表の配布」が21.1%と多い。

■町営循環バスの改善して欲しい点

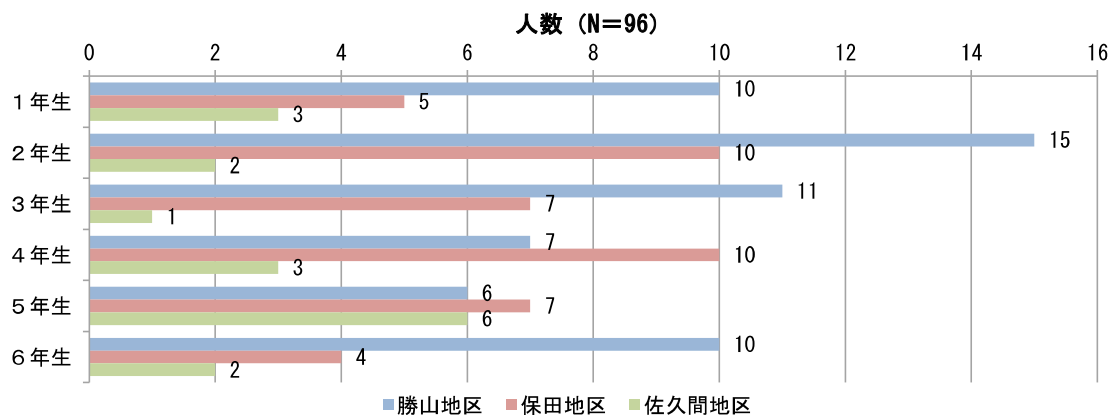


4-3 小中学生保護者アンケート調査

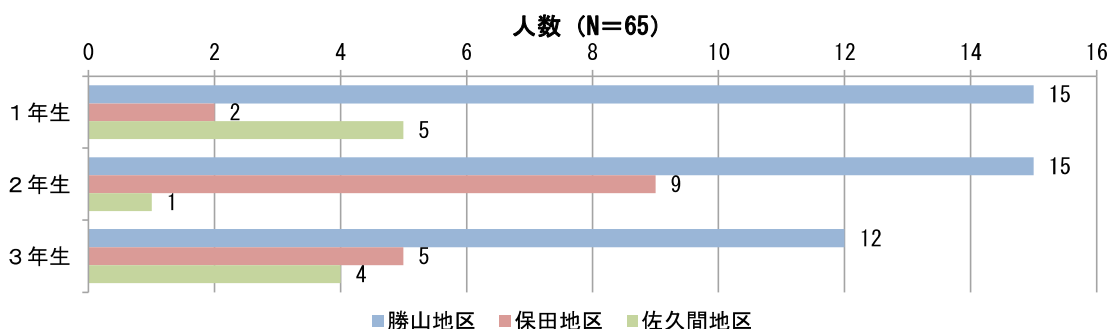
小中学生保護者を対象に、通学以外の外出実態や町営循環バスの利用意向など把握するためのアンケート調査を行った。

調査対象者	鋸南小・中学校 221 名の保護者全員（お子様が2名以上で、どちらも小学生、中学生の場合、どちらか1名が回答。勝山学園除く）					
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> 調査方法…学校を通しての手渡し配布、回収＋WEBアンケート 調査期間…令和7年9月上旬～9月10日（水）締切 					
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> 個人属性（性別、学生、住まい） 登下校時の交通手段、通学以外の外出行動（目的、行き先、交通手段） 公共交通の利用意向と利用する場合のサービス条件 公共交通の改善点 					
回答数	161 名（回収率：72.9%）（全てWEB回答）					
内訳(小学生)	属性	実数	割合	属性	実数	割合
地区	勝山地区	47	49.0%	保田地区	36	37.5%
	佐久間地区	13	13.5%	無回答	0	0.0%
内訳(中学生)	属性	実数	割合	属性	実数	割合
地区	地区	41	63.1%	保田地区	16	24.6%
	佐久間地区	8	12.3%	無回答	0	0.0%

■学生（小学生）



■学生（中学生）

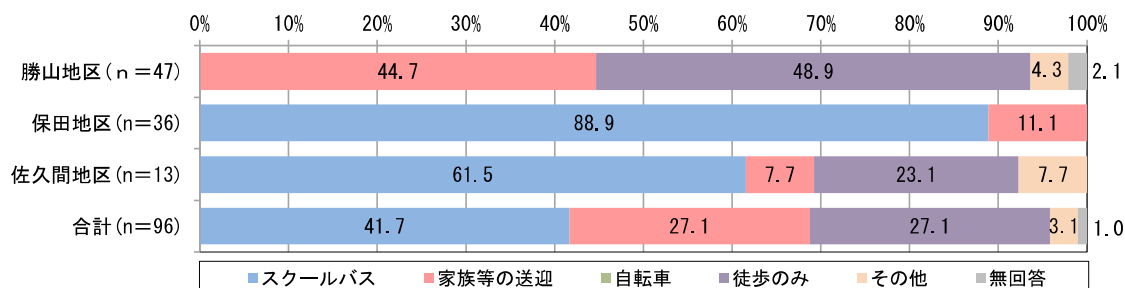


（１）小学校への登下校時の交通手段

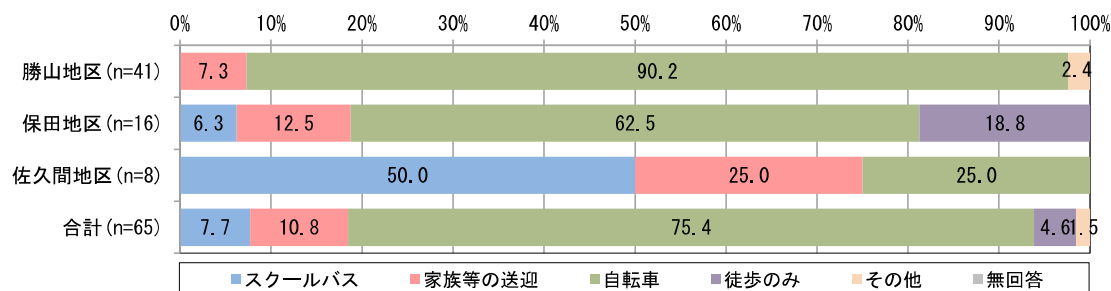
登下校時の交通手段は、小学生は「スクールバス（41.7%）」が最も多く、次いで「家族等の送迎」、「徒歩のみ」がそれぞれ27.1%となっており、中学生は「自転車」が75.4%と多い。

小学生については、勝山地区で「家族等の送迎」が44.7%と、中学生については佐久間地区で「スクールバス」が50.0%と多く、小学生と中学生、地区ごとで、登下校時の移動手段が異なる傾向が見られる。

■交通手段（小学生）



■交通手段（中学生）



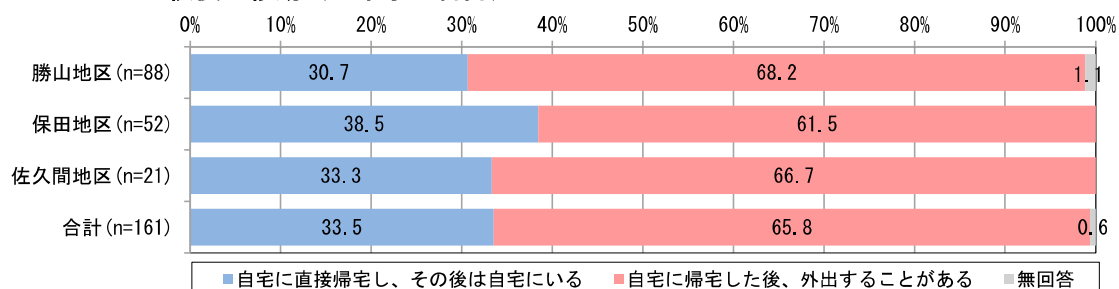
（２）下校後の外出状況

小・中学校から下校後の移動は、小学生、中学生とも同じような傾向で「自宅に帰宅した後、外出することがある」が約7割弱を占めており、その行き先は「町内」が大半を占めており、B&G 海洋センターが多い。

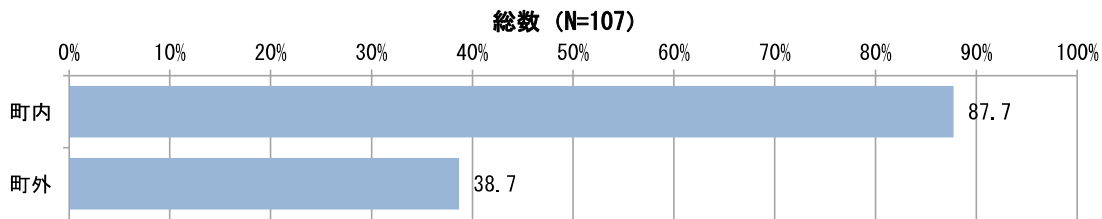
小学生は、外出目的は「習い事（88.3%）」が、移動手段は「家族等の送迎（88.3%）」が、移動の頻度は「週に1～2日（46.7%）」、「週に3～4日（31.7%）」が多い。

中学生は、外出目的は「塾（66.0%）」、「習い事（57.4%）」、「友人・知人・親類の家（42.6%）」が、移動手段は「家族等の送迎（80.9%）」と「自転車（55.3%）」が、移動の頻度は「週に1～2日（42.6%）」、「週に3～4日（40.4%）」が多い。

■下校後の移動（小中学生合計）

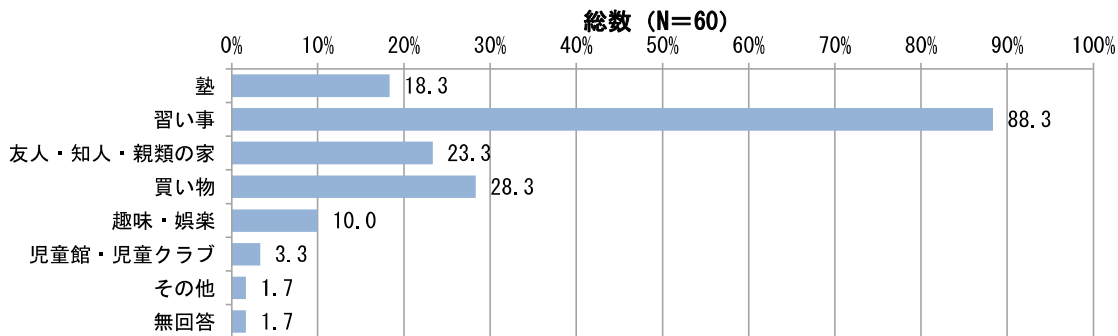


■移動先（小中学生合計）

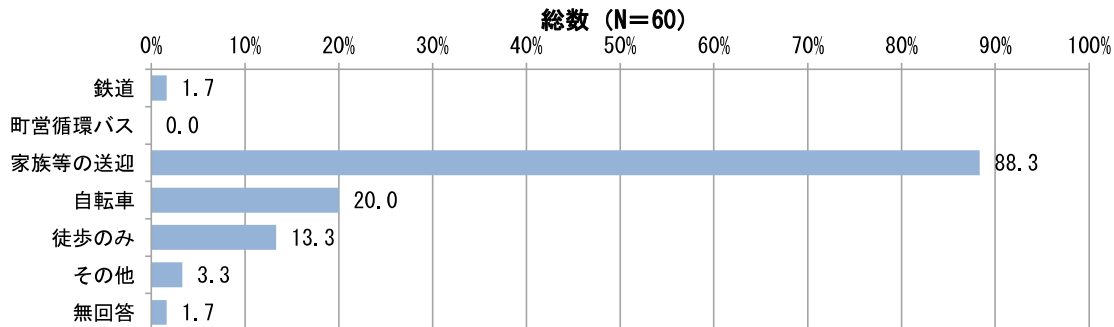


※小学生…町内：B&G 海洋センター31 件、サンセットプリーズ保田 7 件
町外：館山市 10 件
中学生…町内：B&G 海洋センター 6 件
町外：木更津市 7 件、館山市 3 件

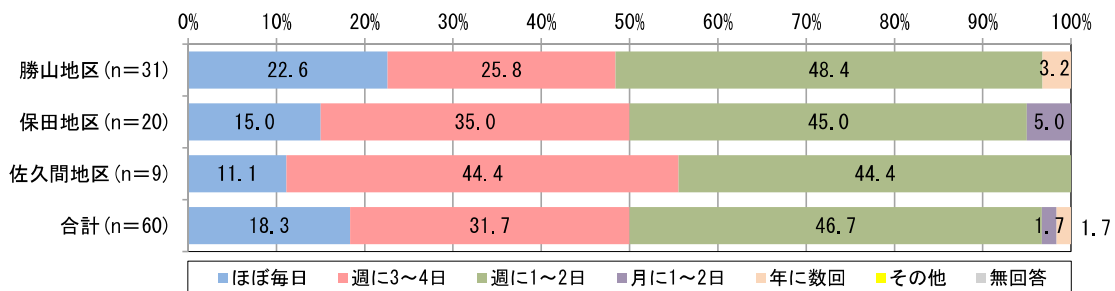
■外出目的（小学生）



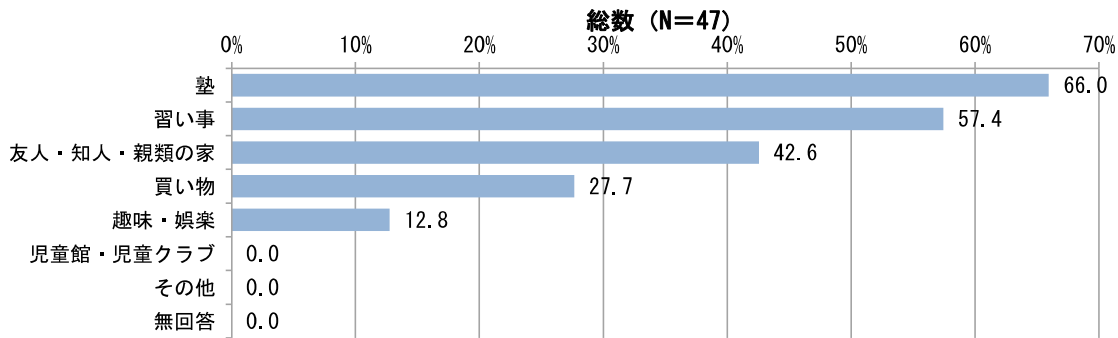
■移動手段（小学生）



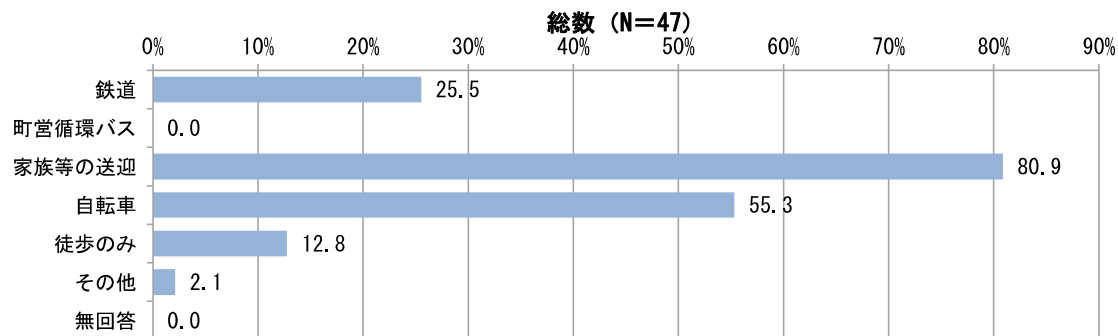
■移動頻度（小学生）



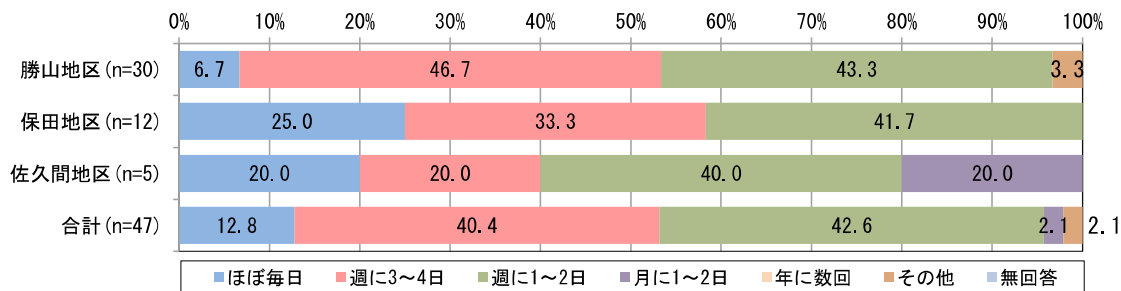
■外出目的（中学生）



■移動手段（中学生）



■移動頻度（中学生）

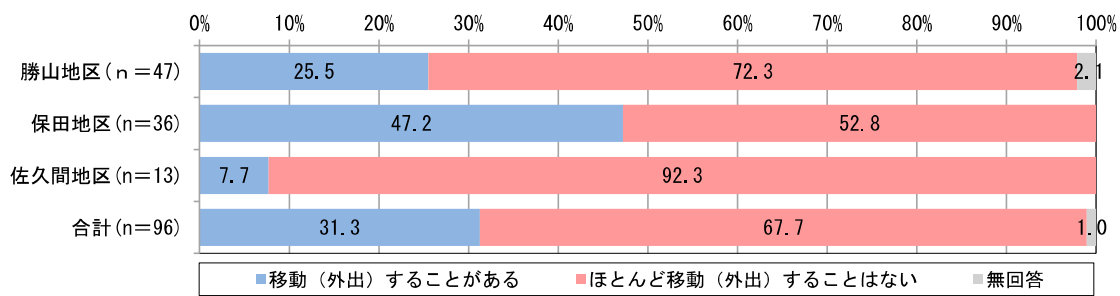


（３）休日の外出状況

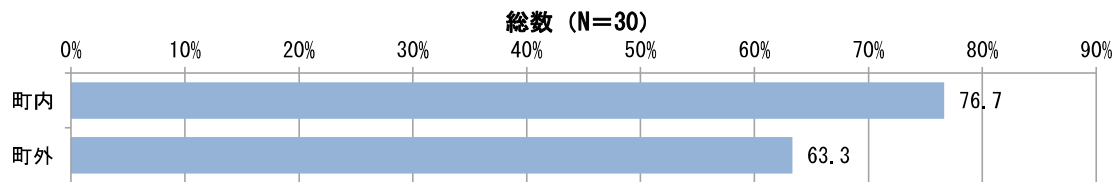
小学生の休日の外出状況は、「ほとんど移動（外出）することはない」が 67.7%となっており、外出先は、「町内」が 76.7%と大半を占めており、外出目的は「友人・知人・親類の家（60.0%）」、「買い物（60.0%）」が、移動手段は「家族等の送迎（73.3%）」や「自転車（46.7%）」が、移動の頻度は「ほぼ毎休日（41.9%）」が多い。

中学生の休日の外出状況は、「移動（外出）することがある」が 80.0%と小学生よりやや多くなっており、外出先は、「町内（75.0%）」、「町外（71.2%）」と同程度となっており、外出目的は「部活動（61.5%）」や「友人・知人・親類の家（53.8%）」が、移動手段は「自転車（82.7%）」、「家族等の送迎（59.6%）」、「鉄道（55.8%）」と多く、特に休日の外出の移動手段として、小学生より中学生の方が「鉄道」を選択する割合が多い。移動の頻度は「週に 1～2 日（38.5%）」と多い。

■外出状況（小学生）

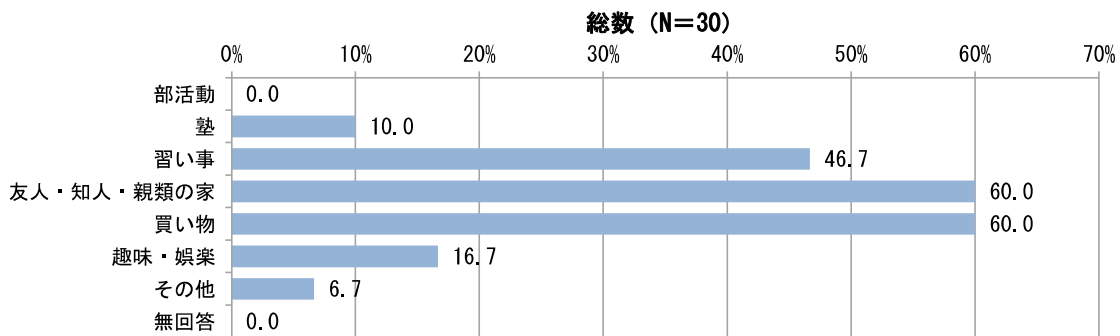


■移動先（小学生）

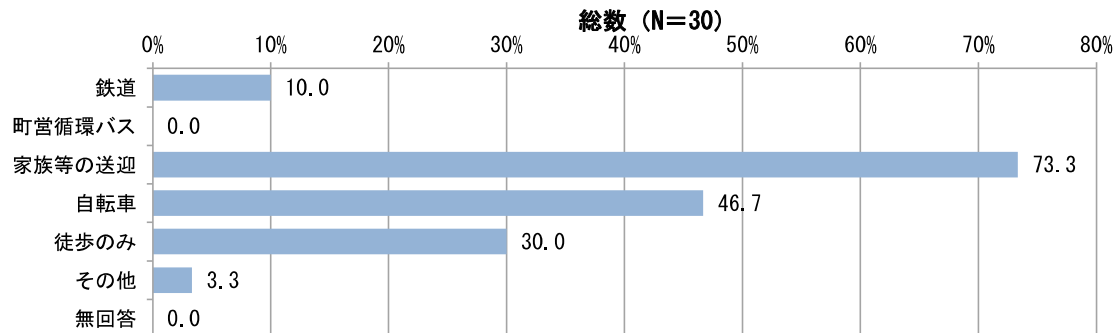


※町内：家族・友人宅 14 件、道の駅保田小学校 5 件
町外：館山市 13 件、木更津市 6 件

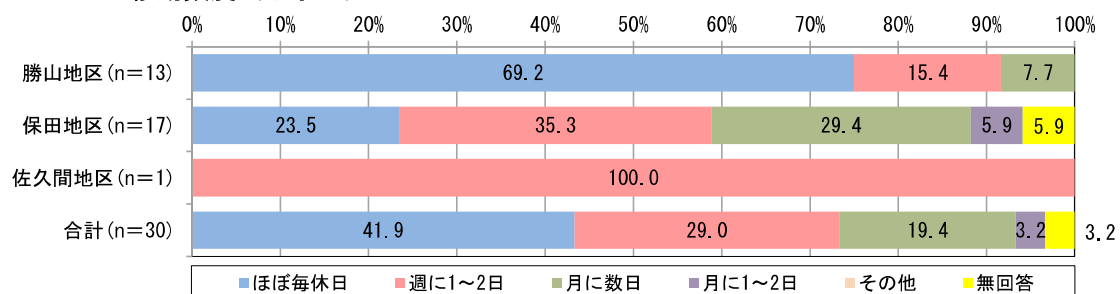
■外出目的（小学生）



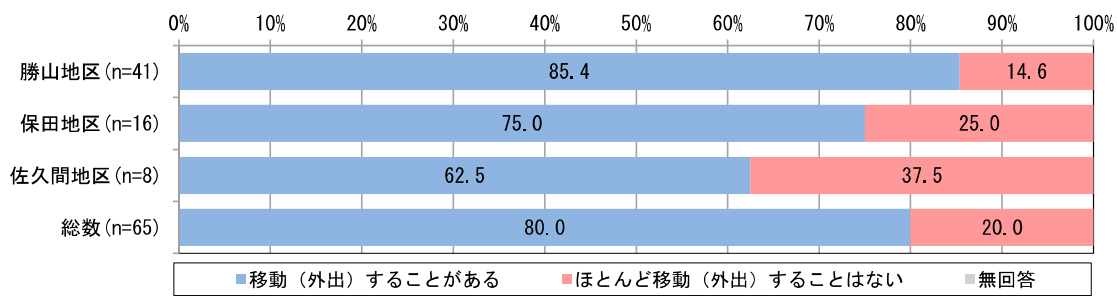
■移動手段（小学生）



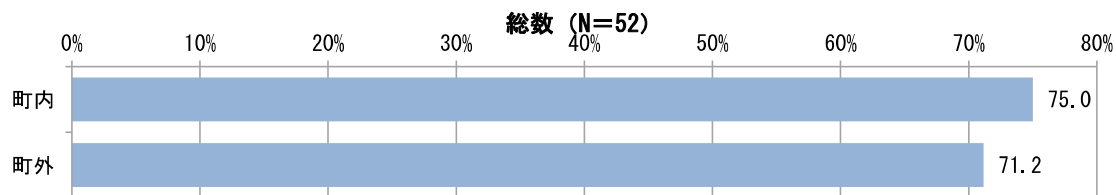
■移動頻度（小学生）



■外出状況（中学生）

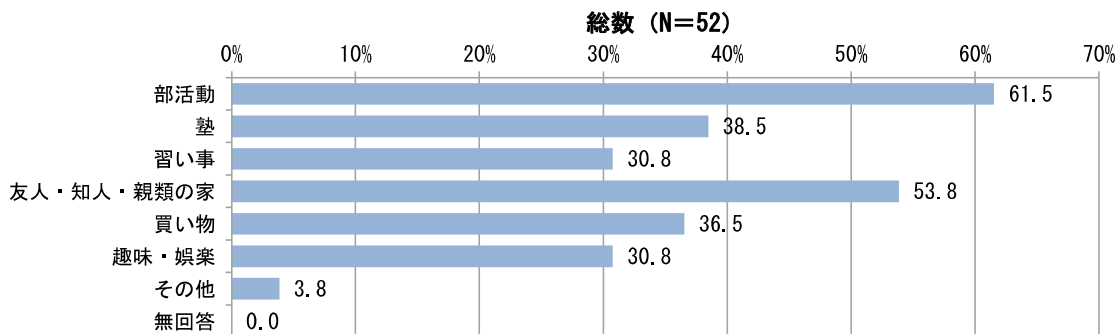


■移動先（中学生）

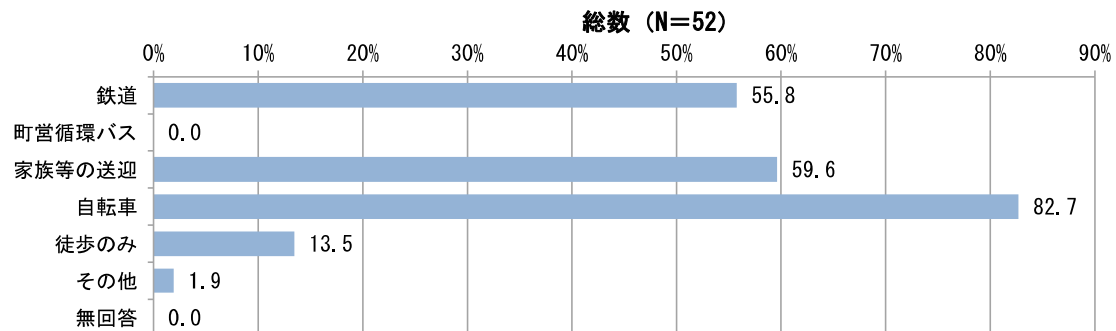


※町内：鋸南中学校（部活）16 件、家族・友人宅 10 件、コンビニエンス 6 件
町外：館山市 13 件、木更津市 12 件

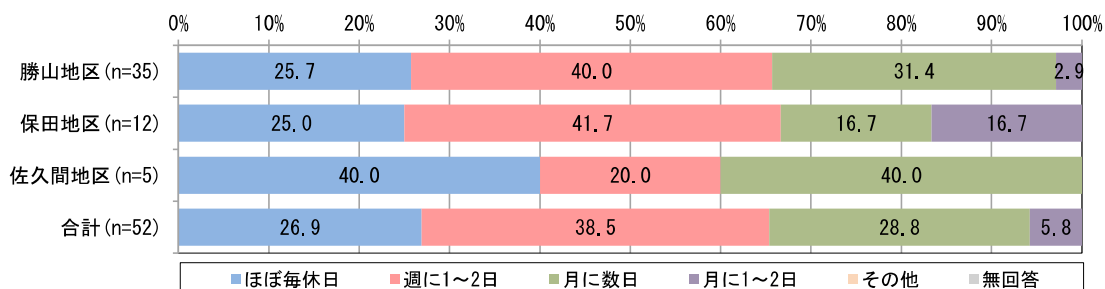
■外出目的（中学生）



■移動手段（中学生）



■移動頻度（中学生）



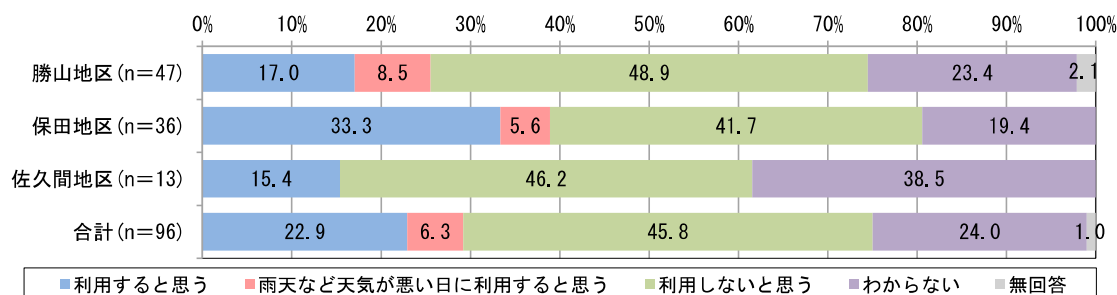
（４）仮に町内の公共交通が下校後や休日の外出時間帯に合うように運行された場合の利用意向

仮に町内の公共交通が下校後や休日の外出時間帯に合うように運行された場合の利用意向は、「利用すると思う」と「雨天など天気が悪い日に利用すると思う」と回答した割合が小学生、中学生ともにそれぞれ約３割を占めている。

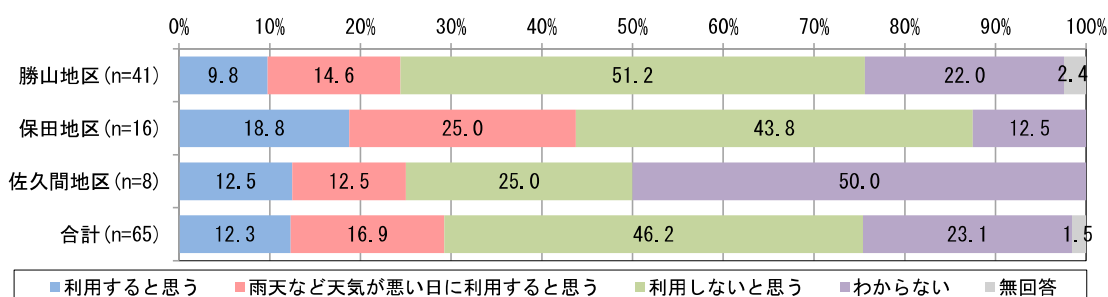
利用するための条件は、小学生は「自宅近くのバス停から希望する行き先へ行くバス路線が整備されたら利用したい（57.1%）」が、中学生は「利用したい時刻にバス路線が運行していれば利用したい（68.4%）」がそれぞれ多くなっている。

■仮に町内の公共交通が下校後や休日の外出時間帯に合うように運行された場合の利用意向

（小学生）

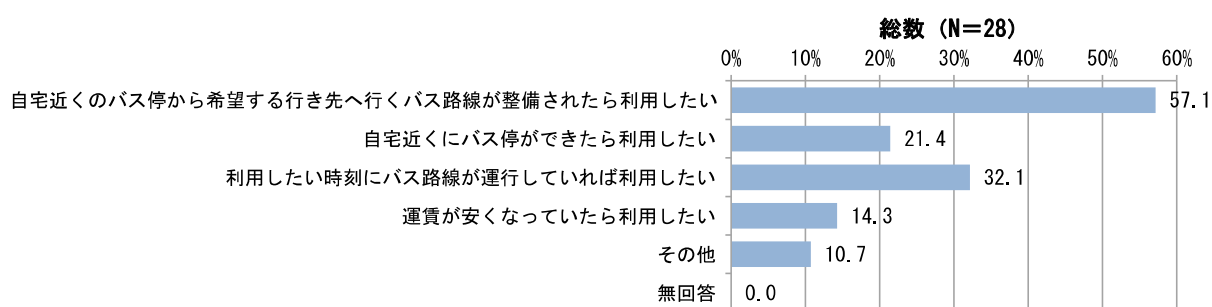


（中学生）

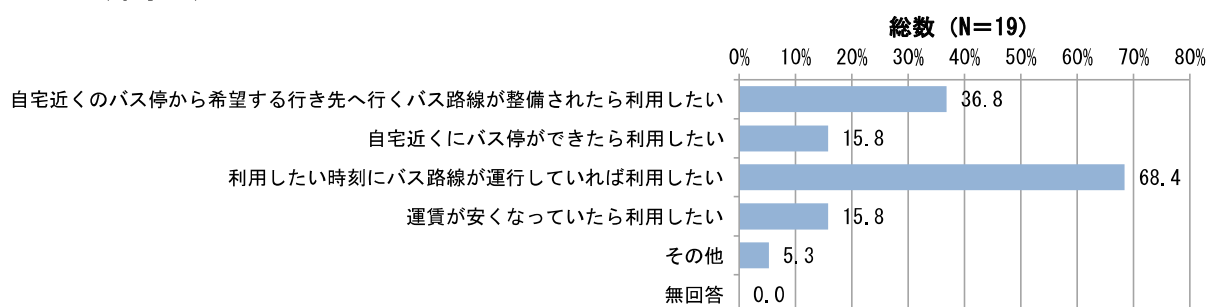


■利用するための条件（利用すると思う、雨天など天気が悪い日に利用すると思うと回答した方）

（小学生）



（中学生）



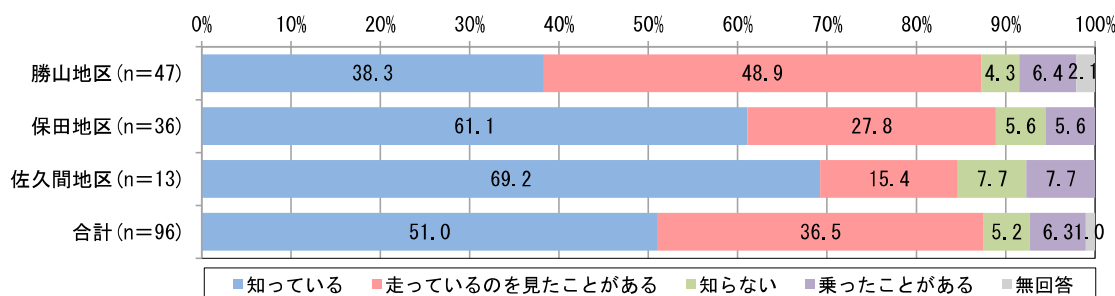
（５）町営循環バスの認知度及び改善して欲しい点

町営循環バスの認知度は、小学生が 51.0%、中学生が 58.5%の方が「知っている」と回答しており、「乗ったことがある」と回答した方は小学生が 6.3%、中学生が 7.7%を占めている。

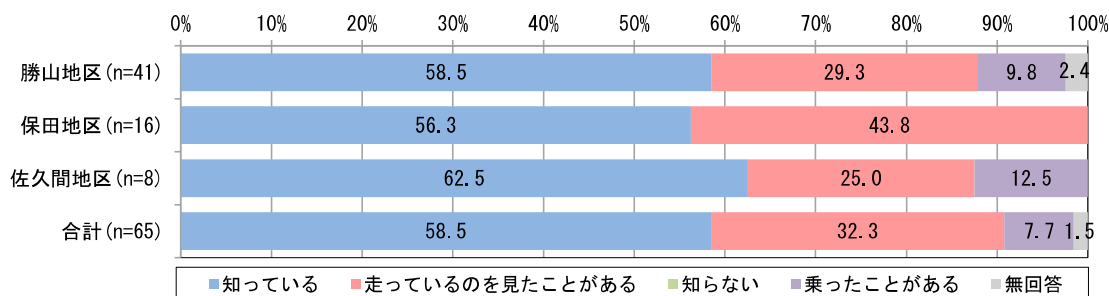
町営循環バスの改善して欲しい点は、小学生、中学生ともに「分かりやすい路線図や時刻表の配布」と「携帯電話等によるバス運行情報の提供」と、運行情報提供に関する要望が多くなっており、次いで「運行ダイヤを変更してほしい」も約 2 割を占めている。

■町営循環バスの認知度

（小学生）

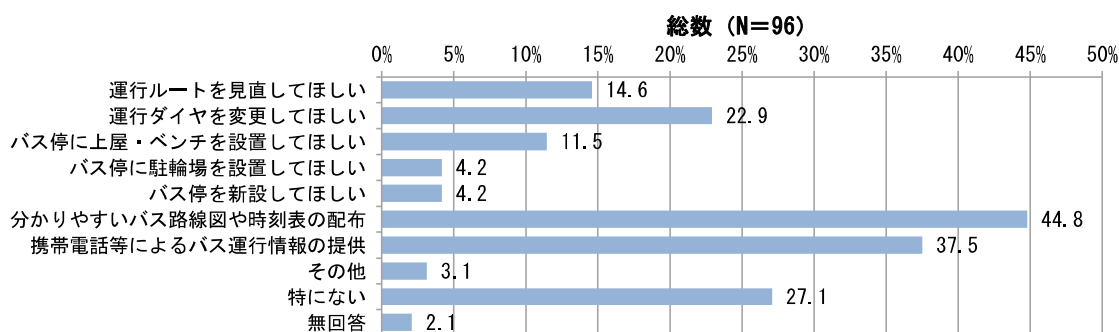


（中学生）

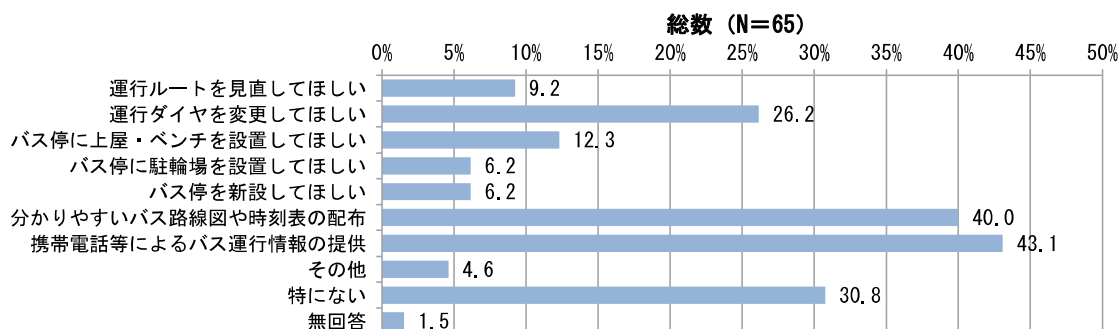


■町営循環バスの改善して欲しい点

（小学生）



（中学生）



4-4 その他公共交通に関わる関係者意識アンケート調査

(1) 交通事業者アンケート調査

交通事業者を対象に、定性的な利用特性や、現在抱えている課題、利用者などから寄せられている意見・要望などを把握するためのアンケート調査を行った。

調査対象	・鉄道事業者：J R 東日本(株)	・高速バス事業者：日東交通(株)、JR バス関東(株)
関係者	・町営循環バス事業者：日東交通(株)	・タクシー事業者：(有)鋸南タクシー
調査方法	メールかFAXによる配布、回収 (調査期間…令和7年7月28日(月)配布～8月8日(金)締切)	

①運行や経営上の課題・問題点などについて

【鉄道事業者】

- ・台風や突発的な荒天に伴う自然災害等
- ・獣害や草木の繁殖
- ・少子高齢化や人口減による利用者減少

※関係人口や交流人口の増加に伴う利用者増が、サービス水準の維持向上につながるため、地域の活性化は大切な要素であると考えている

【高速バス事業者】

- ・4月に運賃改定を行ったが、動力費について値上げしている関係や人件費改正により厳しい状況。
- ・共同運行会社含め、乗務員不足が改善できないこと（募集はしているが応募がない）。乗務員の高齢化もあり現状維持が精一杯となっている。

【町営循環バス事業者】

- ・乗務員不足が改善できないこと（募集はしているが応募がない）。
- ・乗務員の高齢化もあり現状維持が精一杯となっている。
- ・バス運転者の労働時間等改善基準も改正されたこともあり、長時間の労働ができない。
- ・赤バス・青バスの老朽化による故障・修理で弊社の代車使用が多く、そのため路線バスの予備車がなくなり配車に苦慮している。

②利用者等から寄せられている声（意見・要望）について

【鉄道事業者】

- ・駅舎の改修要望
- ・沿線付近の除草依頼

【高速バス事業者】

- ・通勤時間帯の便数を増やして欲しい。
- ・土休日の館山市内、アクアラインの渋滞で目的地への大幅な遅延が発生。（旅行などの）予定が組めない。

【町営循環バス事業者】

- ・東京湾フェリー・鋸山まで行きたい。

③道の駅保田小学校への乗入れについて、その可能性や、乗り入れるための条件などについて

【高速バス事業者】

- ・採算性が見通しがあること、共同運行会社の合意（単独で運行はできない）、休日の周辺混雑解消（定時運行の実施）

④鋸南町の計画や施策に提言・期待することや、行政と協働で実施したい取組などについて

【鉄道事業者】

- ・地域活性化に向けた今後の取り組みや企画に期待したい。

【高速バス事業者】

- ・高速バスについては他行政も関係しているため、鋸南町単独ではなく近隣行政と連携した取り組みを検討したほうがいいのではないか。

【町営循環バス事業者】

- ・鋸南町内だけの利用者増・収支改善には限界があると思うので、鋸南町単独ではなく近隣行政と連携した取り組みを検討したほうがいいのではないか。
- ・赤バス・青バス車両の故障が多くなっているため、車両の代替を検討した方が良いのではないか。

（２）関係団体アンケート調査

関係団体を対象に、まちづくりを取り巻く問題点・課題や、公共交通との連携・協力の可能性、公共交通に対する意見・要望などを把握するためのアンケート調査を行った。

調査対象 関係者	<ul style="list-style-type: none"> ・学校：鋸南中学校、鋸南小学校、鋸南幼稚園、鋸南保育所 ・医療施設：鋸南病院、勝山クリニック、鋸南やまだ内科 ・商業施設：おどや鋸南店、ヤックスドラッグ鋸南店 ・介護施設：ヤックスディサービス鋸南、のこのこ、さざなみ、すけっと ・観光施設：道の駅保田小学校 ・各種団体：鋸南町商工会、鋸南町社会福祉協議会、鋸南町観光協会
調査方法	<p>メールかFAXによる配布、回収 （調査期間…令和7年7月28日（月）配布～8月8日（金）締切）</p>

（１）各施設関係者

①施設利用者などから町の公共交通に関して寄せられている声について

【医療施設】

- ・デマンド交通の試験運行について、良かった方が復活して欲しい。

【商業施設】

- ・バスルートがない。
- ・店舗の出入口近くにバス停があると便利。

【介護施設】

- ・呼んだら直ぐに来てくれれば使ってみたい、中々一人で使うには勇気がいる。
- ・町営循環バスの運行コースまで歩いて行くのが大変。用事を済ませて帰ると、バスが少なく、半日近くになる。
- ・チョイソコを復活させてほしい。青バス・赤バスをもっと利用しやすくしてほしい。（本数や時間帯など）

②町の公共交通に対する意見・要望、提案について

【学校】

- ・もっと赤バス・青バスの利用が増えればよいと思う。高齢の方が利用できるよう、医療機関や買い物に乗り合いで利用できるような小型の乗り物がいいのかなと思う。利用方法も簡単にし、わかりやすく知らせる方法があればよいと思う。
- ・便数が少なく、金額が高いと感じた。
- ・便数が少ないから乗る人がいないのか便数が増えると良いと思う。
- ・高齢者の方々が運転免許を返納した後も鋸南町のどこに住んでいても、行きたい時に、行きたい場所へ行けるサービスが必要だと思う。

【医療施設】

- ・自宅近くまで来てもらったら、嬉しい。大きくなく小さい車で、狭い所まで運行出来たら良い。
- ・道の駅保田小学校へ高速バスを乗入れて欲しい。
- ・オンデマンド交通を再開して欲しい。
- ・保田駅へ高速バスを乗入れたらどうか。

【商業施設】

- ・巡回バスを要望

【介護施設】

- ・高齢者は、個別のニーズに合わせた利用が可能な交通手段で、タクシーや介護タクシー、ボランティア輸送が利用しやすいのではないかな。
- ・介護予防事業のカーボラの様に町民誰もが気軽に利用でき家まで来てくれる車があったら利用し

たい人はいると思う。とにかくバス停まで出ていくのが大変。時間の制約が少なく利用勝手の良い、車の無い人にやさしいシステムは無いものか。

【介護施設（ケアマネジャー）】

- ・費用対効果を踏まえ、現存する制度活用として、福祉タクシー券の拡充（対象者、補助額）を考えることも一つの手段ではないか。高齢者の移動を考えた場合、個別ニーズがそれぞれ違い、必要な支援も状態に応じて考える必要がある。過疎地域の人口や人口密度などの特性上、乗合は難しいと感じており、タクシーや介護タクシーの利用促進は重要と感じている。
- ・所得状況としてもタクシーは、高額で贅沢と感じられる方が多い地域ではないか。気軽にタクシーを利用出来る文化を醸成し、高齢になった時、自分の移動したい場所に、行きたいタイミングで移動できることは地域づくりの一環として重要と考える。
- ・高齢者の運転免許証返納の問題についても一つの対応策として機能するのではないか。福祉タクシー券は障害者だけでなく、より広範囲の人が気軽にタクシーを使えるよう、町民向けの補助制度として機能することで、民間タクシーの活性化、台数増などにも寄与するのではないか。

【観光施設】

- ・ほぼ全ての利用者は車かつ観光客のため、二次交通の必要性より、いかに地域を自転車や徒歩等で回遊して頂けるかが課題で、二次交通に対する声はほとんどない。
- ・高速バスの乗り入れが始まれば、その重要性は当然高まると考えている。

③道の駅保田小学校への高速バスの乗入れや、道の駅保田小学校からの二次交通の充実について

【観光施設】

- ・町民からの問合せは、「高速バスの乗入れがどのようになっているのか」が最も多い。
- ・高速バスの乗入れについて、採算の合わない可能性のある事業は決断が難しいと思うが、現場としては集客や新たな施策展開において大変意義が大きい。

（２）関係団体

①公共交通に関する課題・問題点について

【鋸南町商工会】

- ・商店の廃業も相次ぎ、存続している店舗でも高齢化・担い手不足により配達サービスもままならない状況。
- ・日常の買い物や通院などの「足」として。公共交通は免許返納後の生活に不可欠であるが、民間バスも運行していない。免許返納をためらい、重大事故につながる事例もある。

【鋸南町社会福祉協議会】

- ・電車、バスの運行本数が少なく、利用しづらい。
- ・免許返納後、移動手段の確保に不安がある。

【鋸南町観光協会】

- ・鋸山方面、道の駅保田小学校方面、ばんや方面と3方向に分かれるが、ばんや方面に行かれる方は幅広い年齢層の方が多く、バスの時間に対する問合せが多い。
- ・町営循環バスが鋸山・日本寺駐車場まで行くことが出来れば、町内への観光客の受入れが増えるのではないかと考える。

②鋸南町の公共交通に関する寄せられている声について

【鋸南町商工会】

- ・停留所から目的の店舗までかなり距離があり、高齢者には大変な面もある。
- ・運行本数が少ないため、帰りのバスの時間まで近隣の商店で買い回ることもある。

【鋸南町社会福祉協議会】

- ・バスの運行本数が少ないので、行きはバス、帰りは徒歩など、利用したいが難しい面がある。
- ・タクシーも台数が少なく、すぐに利用できない。

- ・ A I オンデマンドを利用していた方からは、「予約は大変だったが、どこにでも行けて、自宅まで送迎してくれて助かった、運行が終了し残念」との意見があった。
- ・ 病院の通院時間に合わせたバスの運行があると良い。
- ・ デマンド、バスともに介助員をつけてほしい。

【鋸南町観光協会】

- ・ 町営循環バスは「時刻表の見方がよく分からない」「佐久間ダム入口バス停が2つあるため、理解が難しい」。
- ・ タクシーは保田駅に常駐して欲しい。

③鋸南町の公共交通に対する意見や要望について

【鋸南町社会福祉協議会】

- ・ A I オンデマンドについては復活を希望する意見が多い。また、利用できなかった方の中には、利用料金や条件を精査してほしいとの要望もあった。グループでの利用には割引があると利用しやすいとの意見もあった。
- ・ 高齢化、独居世帯の増加を踏まえ、買い物や通院など、目的に沿った送迎バスの運行があると良いと思う。

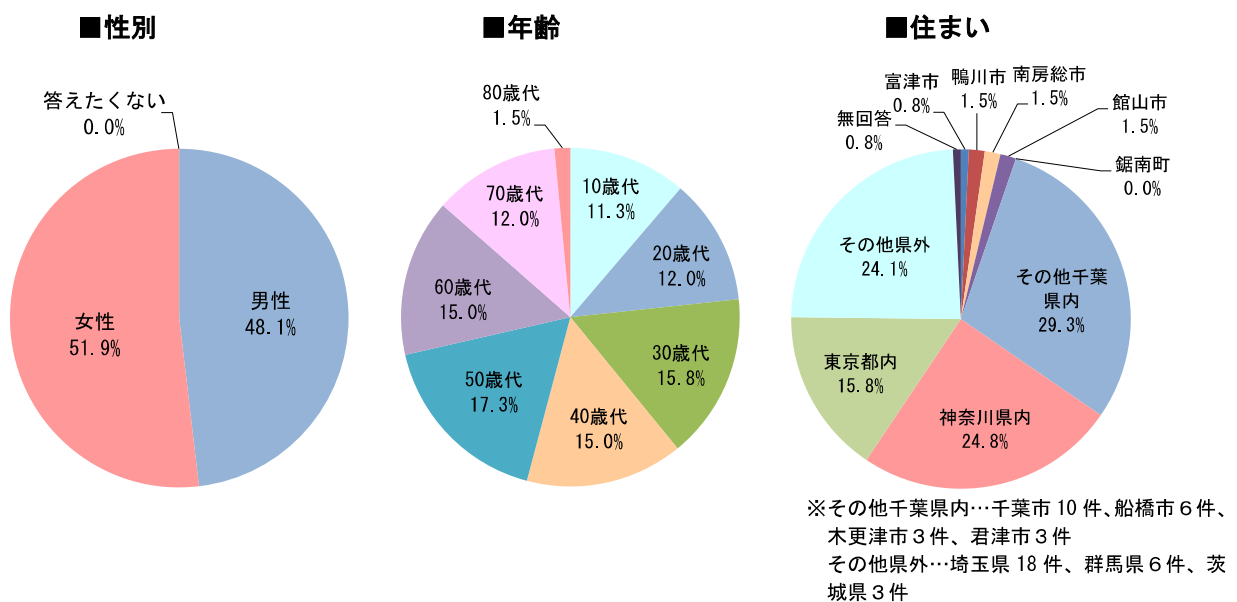
4-5 道の駅保田小学校利用者アンケート調査

道の駅保田小学校利用者を対象に、高速バスの乗入れた場合の利用意向、周遊の困り具合、観光周遊を促す必要なサービスや情報を把握など把握するためのアンケート調査を行った。

調査対象者	道の駅保田小学校利用者（主に町外観光客）
調査方法	・調査方法…調査員による直接ヒアリング＋Web ・調査日時…令和7年8月3日（日）、9～17時
調査項目	・利用者属性、利用交通手段、頻度 ・道の駅保田小学校へ高速バスを乗入れた場合の利用意向や条件（行き先、便数等） ・観光周遊する際の困り具合、公共交通で移動する場合の改善点 ・観光周遊を促す必要なサービスや観光情報
回収状況	133 票

（1）回答者の属性

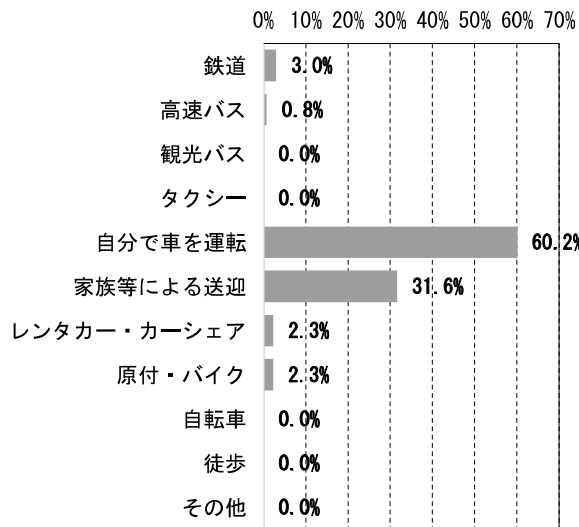
性別は「男性」、「女性」とも半数程度で、年齢は10歳～70歳代と幅広い年代が、住まいは千葉県内が34.6%、千葉県外が64.7%となっており、県外からのアクセスが多い。



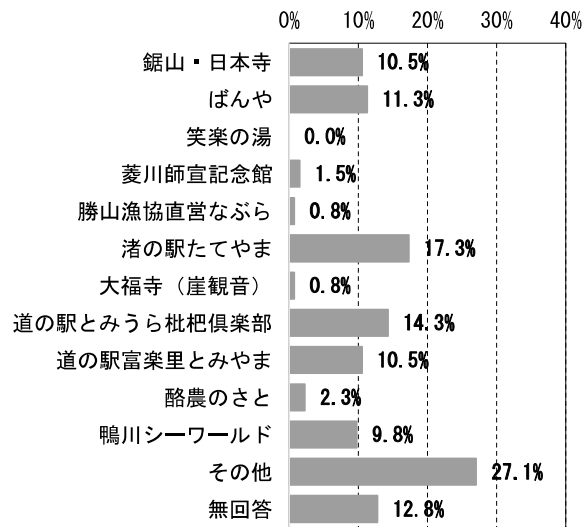
（2）利用交通手段及び来訪（予定）場所

道の駅保田小学校までの利用交通手段は、「自分で車を運転」が60.2%、「家族等による送迎」が31.6%と車利用が多く、道の駅保田小学校以外の来訪（予定）場所は「その他（27.1%）」、渚の駅たてやま（17.3%）」、「道の駅とみうら枇杷倶楽部（14.3%）」の順となっており、その他は海水浴場・海岸 17 件（富津海岸、富津海水浴場等）等が多い。

■利用交通手段



■来訪（予定）場所



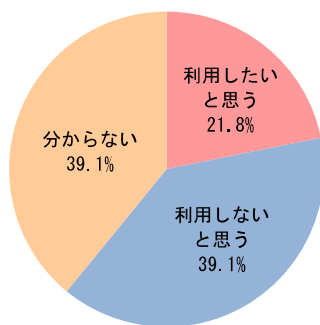
（３）高速バスが道の駅保田小学校まで乗り入れた場合の利用意向

高速バスが道の駅保田小学校まで乗り入れた場合の利用意向は、「利用したいと思う」が約２割で、「利用しないと思う」、「分からない」がそれぞれ約４割を占めている。

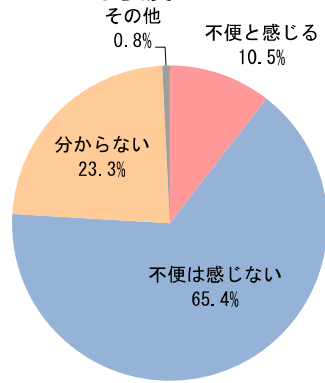
（４）観光地等を周遊する際の移動の不便度

観光地等を周遊する際、移動の不便度は「不便は感じない」が65.4%と多く、移動の大半が車利ユーザーのため、「不便と感じる」が10.5%と少ない。

■利用意向



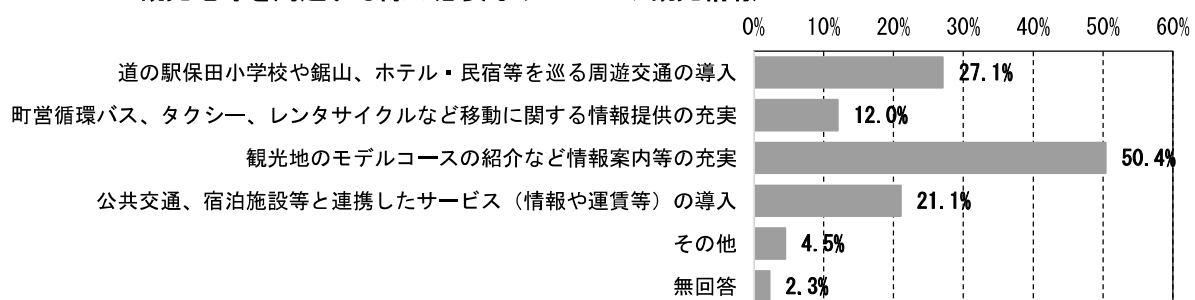
■不便度



（５）観光地等を周遊する際の必要なサービスや観光情報

観光地等を周遊する際の必要なサービスや観光情報は、「観光地のモデルコースの紹介など情報案内等の充実」が50.4%と最も多く、次いで「道の駅保田小学校や鋸山、ホテル・民宿等を巡る周遊交通の導入（27.1%）」となっている。

■観光地等を周遊する際の必要なサービスや観光情報



第5章 地域公共交通の課題整理

地域公共交通の課題について地域公共交通を取り巻く状況、公共交通等の状況把握・データ分析、利用実態調査及び町民・関係者意識調査等を踏まえ、整理する。

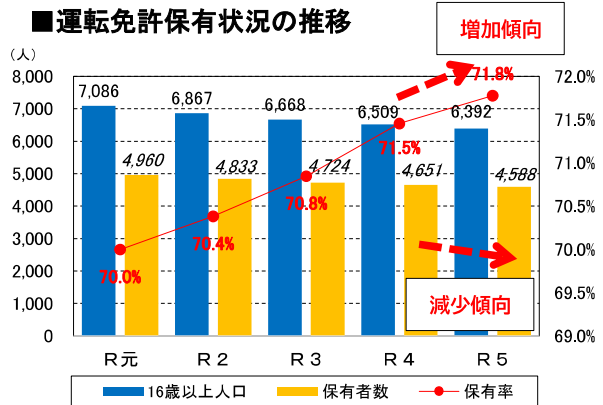
①高齢者が安心して外出できる環境づくりが必要

鋸南町の高齢化率は令和2年10月1日現在、48.1%と県内に2番目に高くなっているが、運転免許保有率は増加傾向で、運転免許返納者数は毎年20～30人前後と横ばい状態となっている。

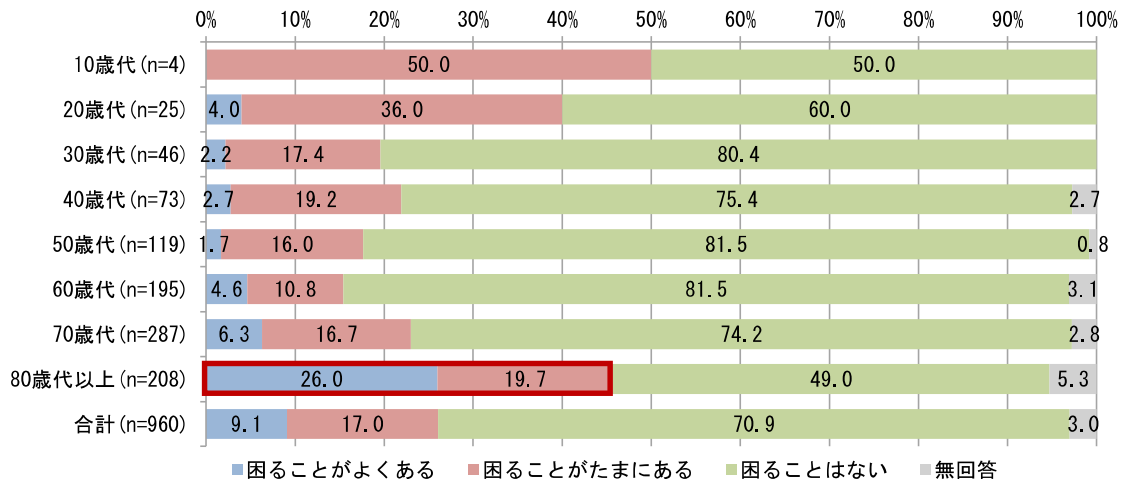
住民アンケート調査では、80歳以上の方で買い物や通院等の目的で外出する際、「困ることがよくある」と「困ることがたまにある」と回答した方が45.7%と町民全体（26.1%）と比較して多くなっている。

鉄道や町営循環バス、タクシー等の地域公共交通を補完するサービスとして、鋸南町社会福祉協議会による福祉有償運送事業（カーぼら）や、民間事業者による移動販売等が行われており、高齢者による交通事故が懸念される中で、安心して免許返納できる移動環境づくりと、地域の移動手段の確保に向けて、高齢者が安心して外出できる環境づくりが必要である。

■運転免許保有状況の推移



■年齢別外出時の移動の困りごと（住民アンケート調査）



②家族等の送迎の負担軽減が必要

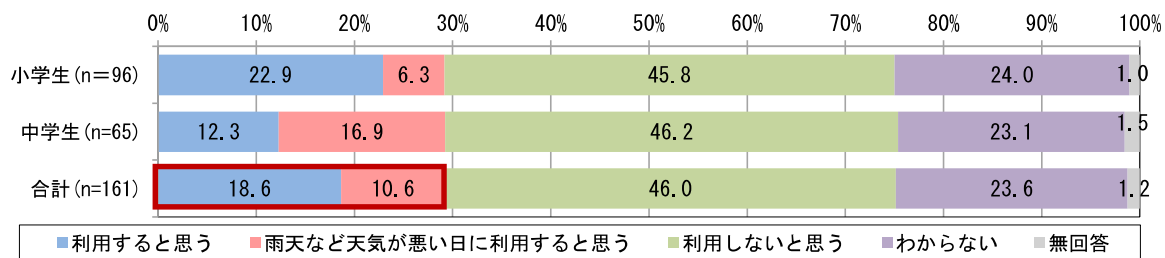
近年、全国的に子供の習い事等へ通う割合が高い一方で、親にとって送迎は大きな負担となっており、保護者の負担軽減に資する送迎サービスの導入が進められている。

小中学生保護者アンケート調査によると、平日の小学校からの下校後や休日において塾や習い事等で外出する際、家族等の送迎で移動している小中学生が多くなっている。

仮に町内の公共交通が下校後や休日の外出時間帯に合うように運行された場合の利用意向は、「利用すると思う」と「雨天など天気が悪い日に利用すると思う」と回答した割合が小学生、中学生ともにそれぞれ約3割を占めている中で、家族等の送迎に対する負担軽減に向けた取組みが必要である。

■仮に町内の公共交通が下校後や休日の外出時間帯に合うように運行された場合の利用意向

(小中学生保護者アンケート調査)



③町営循環バスの運行方式も含めて運行サービスの見直しが必要

平成 14 年 1 月から運行を開始した町営循環バスは、幹線道路（主として国道、県道）を中心に町内全域をカバーするよう運行しているが、次のような課題を抱えている。

町営循環バスの運行サービスについて、利便性や効率性等を考慮しながら、運行方式（定時定路線型交通）のままとするかどうかも含めて、見直しが必要である。

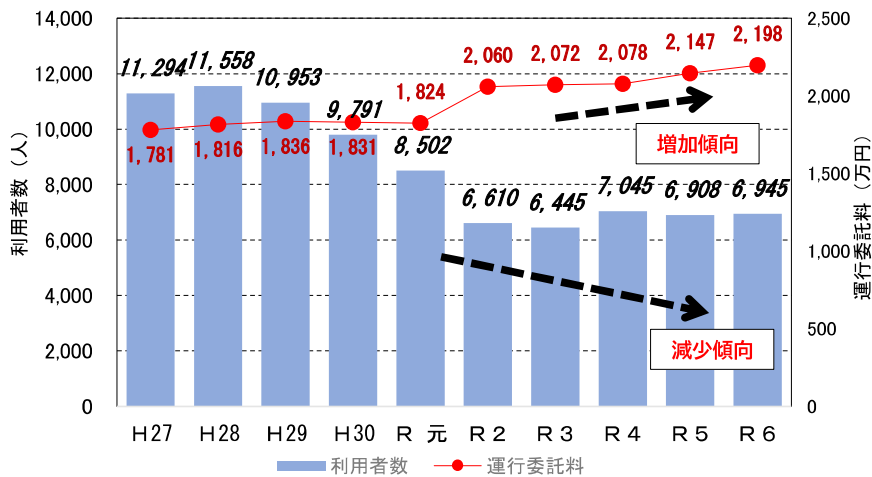
【利用実績】

- 直近 10 年間利用者数は減少傾向（0.6 倍）、運行委託料は増加傾向（1.2 倍）で効率的な運行が必要。
- 幹線道路から離れた集落までカバーしておらず、交通不便地域の解消が必要。
- 1 運行当たりの所要時間は約 90 分と長大で、乗車するバス停より迂回が生じ、効率的な運行が必要。
- 保田駅や安房勝山駅、中央公民館前、道の駅保田小学校等特定のバス停で利用が多く、利用が全くない、少ないバス停が多く存在し、利用が多いバス停間とするなど運行ルートの見直しが必要。
- 日中の 2～4 便で多く、1 便、5 便で利用が少ないため、通勤・通学目的の利用に合ったダイヤ設定や利用実態に合ったダイヤの見直しが必要。
- 臨時便は、便平均が 2.3 人/便と少なく、必要性も含めてダイヤの見直しが必要。

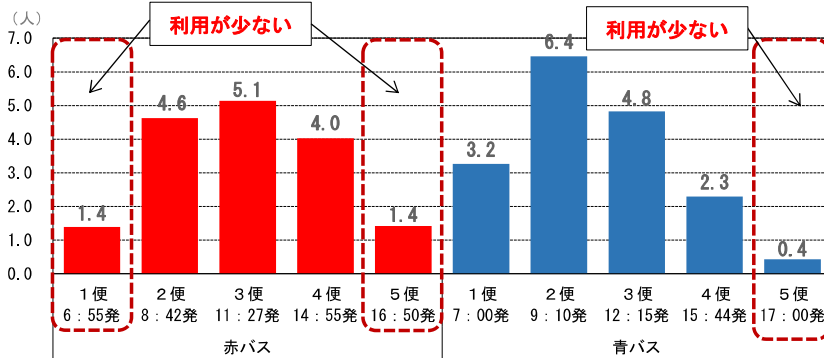
【利用実態調査など各種調査】

- 利用実態調査によると、運行サービスに対する満足度は約 8 割と高いものの、改善して欲しいサービスとして「運行本数」や「運行時間帯」に対するニーズが高く、往復利用有無は「片道のみ」が約 5 割のため、往復利用を促すための見直しが必要。
- 住民アンケート調査では、利用したい公共交通の種類として「定時定路線型交通」と「デマンド型交通」の割合はそれぞれ同程度。但し、町営循環バスの利用者に限定した場合は「定時定路線型交通」の方が 45.9% と多い。
- 高校生アンケート調査、小中学生保護者アンケート調査では、改善して欲しい点として「分かりやすいバス路線図や時刻表の配布」「携帯電話等によるバス運行情報の提供」が多く、運行情報提供の充実が必要。
- 運行事業者アンケート調査では、乗務員の高齢化や不足により現行サービスの維持が精一杯な状況。

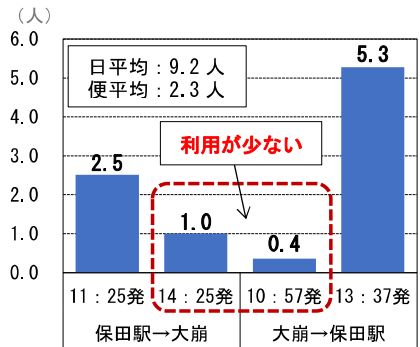
■利用者数及び運行委託料の推移



■ダイヤ別便平均利用者数（令和5年10月～令和6年9月）



■臨時便（令和5年度）



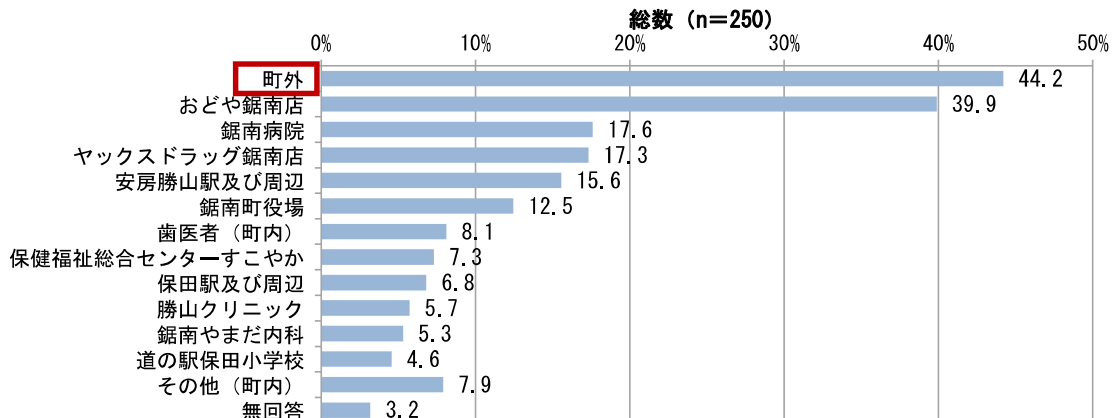
※1月上旬～3月上旬のみ運行

④近隣自治体で実施中の施策との連携が必要

住民アンケート調査によると、町外への移動は買い物（食料品・日用品等）が24.4%、通院が50.7%となっており、買い物や通院目的で困ることが多い行き先として「町外」が44.2%と最も多くなっている。

交通事業者アンケート調査では、鋸南町だけで公共交通を維持するのではなく、近隣自治体と連携した取り組みについて検討した方が良いといった指摘がされており、町民の生活実態等を考慮しつつ、近隣自治体で実施中の地域公共交通施策と連携を図りながら、検討していくことが必要である。

■困ることが多い外出先（住民アンケート調査）



⑤移住・定住や観光振興を促す広域アクセスからの二次交通の充実が必要

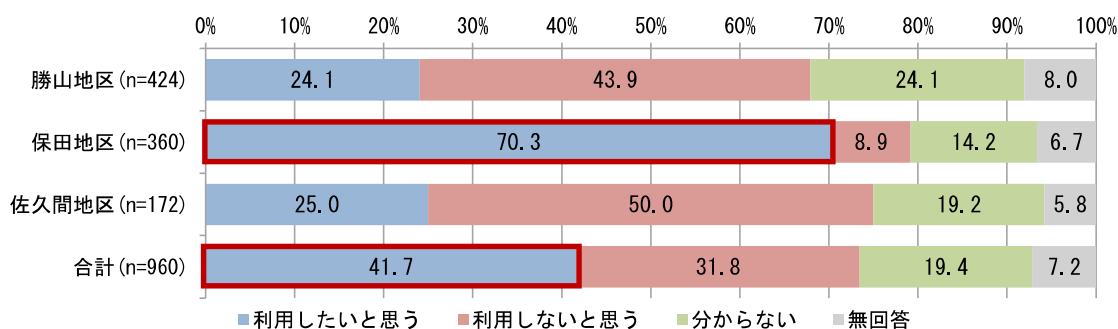
鉄道（JR 内房線）の保田駅、安房勝山駅が存在し、高速バスは町内にバス停がなく、ハイウェイオアシス富楽里（南房総市）が最寄りとなっている。

道の駅保田小学校への高速バスの乗入れについては、「鋸南町総合計画」や「鋸南町過疎地域持続的発展計画」で位置付けられているが、住民アンケート調査でも、高速バスが道の駅保田小学校まで乗り入れた場合の利用意向は、「利用したいと思う」が41.7%と最も多く、特に保田地区で70.3%と利用意向が高くなっており、自由記述の中でも乗入れ要望が挙がっている。また、道の駅保田小学校管理者へのアンケート調査でも、「集客や新たな施策展開で大変意義が大きい」といった回答がある。

一方で、高速バス事業者アンケート調査では、「共同運行会社の合意」「採算性の見通し」「休日の道路混雑による定時性確保」などの懸念が指摘されている。

道の駅保田小学校は、モビリティ利用者が集中する「人が集まる場」であることを活かし、観光客の更なる受入れ、通勤・通学利用による移住・定住の促進等の観点から、高速バス停の誘致と合わせて、多様なモビリティの選択肢を提供することが可能な二次交通（パーク&バスライド等）の充実が必要である。

■保田小学校まで乗り入れた場合の利用意向（住民アンケート調査）



⑥観光周遊を促す回遊性の低さへの対応が必要

鋸南町には都市交流施設・道の駅保田小学校やばんや、日本寺、水仙や桜などの観光資源を有し、観光入込客数は令和2年度以降増加傾向となっているが、高速バスネットワークの整備により、都心方面からの公共交通機関の利便性が高まる一方で、観光周遊を促す二次交通の不足などにより回遊性が低くなっている。観光協会アンケート調査では、観光客から観光施設へのアクセスに関する問合せが多く、一定のニーズがあることが伺える。

鋸南町を含む安房地域は、周辺にも魅力的な観光資源があり、これら資源を回遊する日帰り客が多い地域のため、鋸南町だけでなく安房地域全体で公共交通の情報案内やチケットレスサービス、観光情報案内等を一体的かつ戦略的に取り組む必要がある。

⑦タクシー運転手の高齢化・人手不足の深刻化による既存ストックの有効活用と新たな担い手確保が必要

町内唯一のタクシー事業者である(有)鋸南タクシーは、車両保有台数が3台、運転者数が4人で、全て60歳以上と高齢ドライバーとなっており、今後、運転手不足による持続性が懸念される。

町内の輸送資源であるスクールバスや福祉有償運送事業（鋸南町社会福祉協議会）などの既存ストックの有効活用と、公共交通事業者だけに頼らない地域（町民等）など新たな担い手確保の取り組みが必要である。

【参考資料】各種アンケート調査における公共交通に関する意見・要望など一覧

(1) 住民アンケート調査

①公共交通に関する意見・要望

住まい	公共交通に関する意見・要望
勝山地区	午後5時以降タクシーの営業やっていない。
勝山地区	いずれ鋸南病院以外の医療機関がなくなると思うので、その場合は電車以外で館山行きの公共交通が必要になると思います。車が運転できない人には電車しか交通手段がないのは辛いと思うため。
勝山地区	一般のタクシーを利用すると、病院を4件も通院しているため、年金が生活費とディサービスのために支払い不能となる。やはり、持病のある人は安い利用料が必要。
勝山地区	今現在町内を走っているバスを足が不自由な老人は、活用しにくい。一例は、ステップが高すぎる。座るイス、間が狭すぎる等。
勝山地区	今のところ利用していないのでわかりませんが、財政側、利用者側、どちらも負担の少ない事が良いと思います。
勝山地区	今まで日東交通のバスを利用させていただきましたが、私を含め3～4人なので、あんなに大きなのではなくもっと小回りの利くバスの大きさにしていただきたい！
勝山地区	運行回数が増えると良い。バス停が増えると良い。
勝山地区	運転をしない高齢者や幼児にとって公共交通機関は頼みの綱です。本数を多く、時間を多く、利用しやすくあって欲しい。交通弱者の大切な足を奪わないで欲しい。
勝山地区	遠方へ出かける際には、駐車場が確保されている富楽里から高速バスを利用することが多いです。公共交通を利用したくても、起点となる場所に駐車場がないのがネックになっています（有料でもいいので）。朝や帰りの通勤・通学の時間に循環バスがないのも、利用者が増えない一因になっているかも知れません。
勝山地区	基本的に自分のお金で行動するべきで、町に頼るのはちょっと…。甘え過ぎではないかと思う。
勝山地区	鋸南町民高齢化しているので実情に合った交通手段を取り入れるべき。
勝山地区	鋸南病院に行くと待ち時間が長いのでバスの時間が合わないのでもバスです。帰って来ます。
勝山地区	近所や周りに自動車がなくて困っている人の存在がどの程度あるのか不明で、手伝いたくても協力できない。これから人口も減り高齢化も進むため、近所の助け合いが必要不可欠だと思います。公共交通機関に頼るだけではなく、一般の町民にも協力できる体制にして欲しいです。
勝山地区	現在40代なのですぐに利用するわけではないが、今必要としている人や将来必要になる人の為にも、継続していく事は重要だと思う。
勝山地区	現在は運転していますが、近い将来は町の公共交通は是非必要になり利用したいです。
勝山地区	現在は交通手段があるので余り考えておりませんが、将来必要となるのではないかと思います。
勝山地区	現在は自家用車を利用していますが、将来的には公共交通を利用したいと考えています。個人的にはデマンド型交通を希望します。問27の⑥にある待合環境を整えても利用が増えなければ無駄になる上に、維持管理費が大変になると思う。
勝山地区	現在は鉄道を利用する事があるが、途中で乗り換える等非常に不便になった。せめて千葉駅までは乗り換えなしで行けるようお願いしたい。JRの方に町として要望する事は出来ないのでしょうか。
勝山地区	公共交通は社会インフラの一部なので、維持 or 向上をしていくべき。

住まい	公共交通に関する意見・要望
勝山地区	公共交通を促進しても利用する方々が年齢を重ねその場所に行けずパソコンだのスマートフォンなどと皆様は直ぐ言うけど現状全然町の人には通じていません。
勝山地区	交通会社（請負）との契約の見直し、又は廃止して自治体のみで行う。問 27 の 12. はすばらしいですね！
勝山地区	高齢者の割合が増えるのでご近所同士で使える交通手段を！
勝山地区	子供が少なくなっているのに大きなスクールバスは不要な気がする。その分、他の公共交通にまわせばいいのではと思う。
勝山地区	子供達のスクールバス幼、小、中も利用できる循環バス運行があると、財政を見直すことができるのでは…。
勝山地区	この先運転できなくなった時の事を考えるととても不安です。買い物に困ることは明らかなので、今からでもどうしたら良いか考えたいと思います。
勝山地区	これから色々決めていくと思いますが、町民に分かりやすく、経過を知らせて欲しい。
勝山地区	まかないきれない部分は、隣近所で声を掛け合う。
勝山地区	財源はともかく、デマンド交通は街で暮らすには必要です。年齢重ね車の運転ができなくなったらどうすれば良いのでしょうか？
勝山地区	自動車運転免許証の返納を考えています。日常生活用品の購入や通院のことを考えますと、公共交通機関の利用が視野に入ってきます。少しずつ公共交通機関を利用したいと思っています。
勝山地区	人件費をおさえるため、運営側はシステムを利用するのが当たり前になっている。利用側もこのシステムを使い予約や運行状況などを見るとなると、スマートフォンやＰＣの利用が当たり前に必要な。町内のご年配の方のスマートフォン等の利用率を上げる事は出来ないか？デバイスの利用率が上がれば、ご年配が手を伸ばせるサービスがたくさんある。（そもそも買物行かなくて良くなりますよね。）
勝山地区	人口減少で採算合わなく大変だと思いますが、路線バスの本数増えれば、利用したいと思います。
勝山地区	スクールバスの一般混乗化に向けて、いけると良いと思う。
勝山地区	町営循環バス、タクシー、無くては困ります。
勝山地区	町営循環バスは停留所が遠いのでなかなか利用する事はできません。今は自家用車があるので困りませんが将来的には不安です。細い道でも利用できるデマンド型交通が良いと思います。
勝山地区	町営循環バスよりも、タクシー利用チケットの発行等によるタクシーの拡大が効果的だと思います。
勝山地区	町外にはなりますが富楽里までバス等が行くようになればと思う事があります。高速バスに乗る際、自宅の駐車場より車を出し、２～３日空車状態となると防犯面が気になるからです。規制される方の利便性もよくなるのではと思います。
勝山地区	鉄道（ＪＲ内房線）「駅舎出入口」日差し、風雨を凌げる軒スペースに余裕がほしい。「駅舎ドア」開閉時、杖、荷物を持っていると体が不安定になり危険（高齢者、障害者）。感染予防も含めて、一工夫欲しい。「遅延アナウンス」風雨が強いとき、聞こえる音量で放送してほしい。「乗り継ぎアナウンス」下り電車、例；君津駅乗り継ぎ時、何番線というだけでなく、同じホームから発車なのか、否か、もアナウンスしてほしい。「車両」席数に余裕が無く、木更津駅、君津駅（下り）乗車で座れない事がある。座ることができて目の前に見えるのは人の姿。出掛ける楽しさも、田舎ののんびりさも感じられず、疲れが増す。観光で乗車した方は、車窓の景色も見ず、見えず、気の毒に思います。
勝山地区	電車が１時間１本で困る時があるので、間隔を短くして欲しい。

住まい	公共交通に関する意見・要望
勝山地区	問 27 の 12 のスクールバスの活用による人件費、車両費等の削減を行い、路線では、自由乗降を設け、増便すべし。又、運賃は、町民は無料とし町外からの利用者は、一律 300 円とする。
勝山地区	無いと困るので。いずれ利用するようになる。
勝山地区	無くなってしまうとさらに過疎化が進んでしまう。
勝山地区	バスを普段利用する事がないので、いざ利用を考えても、コースや時間がわからないので結局、利用せず終ると思う。常に町報など周知が必要かも。
勝山地区	バスを利用するようになったらいろいろな思いがたくさん出てくると思います。実感として具体的に分かりません。
勝山地区	まずは、町がどうしたいかが知りたい。負担が大きいのであれば、廃止もやむを得ないと思う。毎日空いている車を見ると、対策は必要でしょう。今は良いが、将来、何か対策しないと、陸の孤島になりかねない。対策が遅いのでは？
勝山地区	町にお金がないなら道の駅で観光税をとればいいと思う。
勝山地区	ムダを省き、必要な路線、形態に変更していく。2700万円出費だけで、収入はどのくらいか、など具体的に知りたかったです。
勝山地区	免許のない人や、高齢者が自由に利用できる公共交通があれば、負担が少なくなる（個人）のではないかと思う。
勝山地区	免許を持たない、持てない子供、老人、病人等への心づかい。
勝山地区	ライドシェアやカーボラのな何かを考えて欲しい。特に夜の交通もタクシー会社も考えて欲しい。町民に便利な方策を！
勝山地区	観光客の活用
勝山地区	現状に満足している。
勝山地区	公共バスがあれば買い物、病院など日常的に生活し易いと思います。
勝山地区	私達が免許返納する数十年後まで財源を残しておいてください。
勝山地区	商業施設や公共施設の密度、また地方である以上自家用車が必須なのは大半の方が織り込み済みで居住していると思われます。利用するのは主に高齢者になるとわれ、既に実施済でしたら申し訳ありませんが、高齢者へのタクシー料金の補助等やタクシー事業者の誘致といったことで代えることはできないのでしょうか。
勝山地区	交通も大事だとは思いますが、実際大事ですが、その前にやる必要があると感じます。
勝山地区	町内人口の減少に伴う、公共交通機関の効率良い運用
勝山地区	夜遅いとバスもタクシーもなく、街灯も少ないため、徒歩での帰宅はとても怖い。
保田地区	J R 特急を朝・夕の通勤時間帯に運行して欲しい。J R の 2 両編成は不便である為、高速バスの保田小バス停を早急に実現して欲しい。
保田地区	施設利用や乗り継ぎを考慮した運行スケジュールの見直し。私有車の乗合い制度について。
保田地区	①鉄道（J R 内房線）の運行サービスについて…勝山駅と同様階段のない保田駅構内のバリアフリー化。②高速バスの運行サービスについて…私個人としては、今現在も今後も頻繁に利用する事はないと思いますが、通勤や観光面などを考えると「道の駅保田小」経由の路線があると便利だと思います。③公共交通についてのアンケート記入ですが、ほとんど自家用車で何の問題もなく日々の生活が回っているので改めての記入となると分からない事が多く建設的な意見が伝えられず申し訳なく思います。車を持たない生活の方や高齢者…の方々には町営循環バスやデマンド型交通は有りがたいと思われますが時間に余裕があり健康でないとなかなか利用できない難しさもあるのでは…と思われます。
保田地区	60 歳代からの意見です。（鋸東方面に住んでいます）今後車の運転をしなくなった時のことが不安です。保田地区に住んでいると割と歩いて買い物ができますが、山の中に住んでいるとそこが心配です。このように公共の乗り物が運行されると安心できます。今の状況での維持お願いしたいと思います。

住まい	公共交通に関する意見・要望
保田地区	今は車を運転出来ているが、出来なくなった際には公共交通は必要になるかと思うので、もっと沢山の利用がされる様なアイデアがあると良いと思うが、難しい問題です。
保田地区	内房線保田駅をバリアフリーにしてください、に尽きます。
保田地区	遠方に住む身内が多く、帰省の際に高速バスを利用するので、道の駅保田小学校に停留所があると非常に便利になり大変ありがたいです。
保田地区	鋸南町にも高速バス環境を。
保田地区	経費を減らしていく必要はあると思う。
保田地区	現在は夫が電動車いす使用の為、町の福祉車両をお借りし病院、外出をしています。とっても助かり感謝の気持ちでいっぱいです。現時点では、利用したくても出来ません。私の地域（元名）では循環バスを見かけませんが、走っていますか？何回位？運転が出来なくなったら、お世話になりたいです。私も81歳の高齢者、パソコン、スマートフォン、電話等々、使えない方々が多いと思います。読みやすい大文字、分かりやすい文章、書面、保存用として配布を希望します。足が少し不自由になっても自分での買物、老化防止の為にも何かよい工夫を考えて下さることを願っています。
保田地区	現在は自家用車で移動しているが、将来どうなるか分からないので公共交通は、維持できるように、皆で考えるべきだと思う。
保田地区	現在は利用していませんが、先々利用していきたいと思っています。
保田地区	公共交通が不便であることは街の衰退になりませんか。ぜひ町民が気軽に外出し買物など楽しめるよう検討して下さい。
保田地区	高速バスが保田小学校から乗れるようにして欲しい。
保田地区	この調査への回答方法が各設問に対して2つまでとか3つまでになっているのか（理由を問う設問）。又、考え方では通常あり得る「どちらでもない」が選択肢としてないのは…。公共交通に関する意見ではないですが、今後の調査類には考えてほしい。
保田地区	これから先、年を重ねるごとに家族の送迎もままならなくなるので、すこやかにあるボランティアカーも利用したいと思っています。（病院の通院の時）
保田地区	これ程人の減少が続いているのだから、公共交通に力を入れるよりも、町民を集約（ある箇所に集中して居住させる）することを考えるべきだと思う。
保田地区	自家用車を自由に運転できない環境にある人も、なるべく生活の質を下げないで暮らせる仕組みづくりを考えてもらえるといいなと思います。
保田地区	住居が山の上にあり、自家用車以外は利用できない。免許返納後が心配になります。
保田地区	循環バスで子供が安心して遊びに行ける様になると良いと思う。子供同士、保田小などで遊びたくても送迎できない場合もある。バスの乗り方を教えてあげる。
保田地区	商業施設などとの連携との関連で※保田駅前、野菜など食品関連の直売所設営の検討を節にお願い致します。
保田地区	小中学生は無料。大人は半年パスポートなど乗り放題などにし、町営バスを身近にする。循環バスより、行きたい所へワンアクションで行ける仕組みの方が利用しやすい。
保田地区	全ての町民に平等にするという事には人口が多い地域の利便をより良くすることも含まれると思う。
保田地区	絶対に無くなったら困る方々も多数おられると思うので、何とか継続して頂きたいと思います。
保田地区	選挙の出口調査と同様に、町営循環バスをよく利用される方に運転手の方がアンケート調査されるのが、改善につながるのではないですか。又、運転手の方に聴かれては。

住まい	公共交通に関する意見・要望
保田地区	第一に町民の人口増を考える。私は東京からの移住者です。知人、親戚、家族は東京近郊に在住しており、定期的に保田～東京を行き来しています。道の駅「保田小」へ首都圏への高速バス乗り入れを強く希望します。鋸南町は、海、鋸山、等自然が豊かで景色もよく友人達へも移住を進めていますが、ネックは交通の便です。「フリリ」では車が無くては不便です。「保田小」なら JR 駅も近く、町営バスも有り移住者への不安も解消されます。また、千葉県で有名な亀田病院・クリニックへの公共バスの復活が叶えば、高齢の方々の心配も無くなります。高齢の人口増となりますが、プラス面が多いと考えます。利用環境（交通手段）が整えば若い人達の移住も増える事でしょう。これからも元気な鋸南町を応援しています。
保田地区	タクシーの様に電話して、すぐに目的地まで行かれる方が良い。運転手と小型の車を用意し、それに補助金を町から出す。
保田地区	頼める近所の方をお願いします。その時は利用者と町がお金を支払う様にする。
保田地区	地域活性の為、生活利用と観光活性の為、観光客利用者も対象にした両方が必要とする交通機関にして欲しい。鋸山にもアクセス、海水浴場（旅館ホテル、ばんや）へのアクセスをして認知を高めたらどうか。
保田地区	中央公民館前のバス停を中央公民館玄関前に移動して欲しい。雨風、暑さ寒さにさらされずに待つ事ができるため。
保田地区	町営循環バスと市営循環バスの乗り継ぎがしやすくなると、亀田病院や館山方面に行く手段になると思います。
保田地区	町営循環バスは絶対必要だ！！近い将来、町民が高齢になった時免許返納者がこまる。
保田地区	町営としては予算上廃止して、高齢者にチケットのようなものとか、タクシーを利用した時の負担金を町で用意したら年間 2,700 万かかりますか？（タクシー会社があるか？）
保田地区	町営循環バスの良さはありますが、利用できる人はルート周辺の人のみ。デマンド型交通も大きな車で小回りが利かない。使いたいと思わなかった。両方とも良い点はあるので、それを伸ばす方法を考えていかなくては行けない。そのすき間を埋める方法として民間のタクシー、公共の「タクシー」の充実が必要と考える。
保田地区	町営バスを利用しています。確かに乗る人が少数ですが、これは公共交通の役割です。タクシーの終業時間が早い…22 時位までは営業して欲しい。飲酒運転防止にもなるのでは？
保田地区	町外と連携して、館山とか鴨川へ行けるようにして欲しい。
保田地区	町外の観光利用者の促進もはかるべき。（収入増を図るため）鋸山大仏下駐車場にバス停の設置。保田駅等鋸南川への流入をはかる。（または、金谷側への路線も可能なら。たとえばロープウェイ駅まで）
保田地区	通勤・通学のラッシュタイムは電車の車両数を増やすべきかと思います。
保田地区	デマンド型交通、町民参加、運転手並びに自家用車（町民有料）で運用。運用区域内で提供。（佐久間、勝山、元名、各地域内の町民間で運用）
保田地区	デマンド型交通で自宅付近でなく、自宅まで送迎してくれるようになればもう少し利用される方が増えるのではないかと思います。山の上で坂道の多いところに住んでいる人なんかは、乗り降りする所まで行くのが大変だったりするので。
保田地区	デマンド型交通をもう少し柔軟に活用。活用できるようにするため、町民が休日かすき間時間に運転手として活躍できるようにする。（副業できるよう）2 種免許が必要になるなら、取得できるような補助を考える。利用したい時すぐ利用できる、マッチングアプリ的な（タクシー配車アプリ）開発。
保田地区	途中下車、乗車
保田地区	年齢から公共交通に関するより、今後介護の方に行く方が多いと思います。現在は家族の車で動いているのでほとんど使っていません。保田駅（鉄道）の階段を使わなくて済む方法を考えて下さい。

住まい	公共交通に関する意見・要望
保田地区	上りの終電時間を増やして欲しい。
保田地区	バス（高速バス）の乗り入れ場所が増えることで都心からのアクセスも良くなり通勤手段が増え若い世代の移住も増えるのではないのでしょうか。
保田地区	パソコン及びスマートフォンの利用が老人には不可決です。理解できる手段を取って欲しい。
保田地区	働いている世代で現実的ではありません。今後年齢を重ねていくので心配な面はありますが、今現在困っている人の声が重要ではないのでしょうか？その声を聞き調査した方が良いのではと思っています。参考にならずすみません。
保田地区	福祉タクシー等、現行で行っている地方や業者をリサーチして参考にして欲しい。
保田地区	保田小学校（道の駅）へのバスの乗り入れをお願いしたい。
保田地区	保田小からの高速バスの運行。
保田地区	保田小に高速バスのバス停が立派に完成しているのに未だ、高速バスの利用が出来ないのは、なぜか？許可が下りてからの工事着工と思っていましたが、完成した以上責任をもって早期の開通を強く希望します。
保田地区	町の公共交通はとても大切だと思います。私自身も体がだんだん動かなくなり、徒歩でどこまで行けるか、いつまで歩けるか不安です。ただ今のバスや鉄道は使いにくいです。
保田地区	免許証返納者になる 10 年後も、オンデマンド交通があれば利用します。
保田地区	保田小学校にバス（高速）を下ろすのではなく道路上にバス停止を作り周辺に駐車場を作った方が良いのでは？切符は、保田小で買う事が出来れば良いかと思います。
保田地区	若い家族の今後を考えると、自家用車以外の交通手段は必要です。利用者（町民）負担が増えても、いざという時に利用できる環境は、残してほしいと考えます。町民同士の助け合い（ウーバー形式）やオンデマンド型も有効だと思う。
保田地区	若い時は良いが、高齢化すれば考え方が変わらと思う。
保田地区	私、保田駅は時間が間に合っても階段で間に合わなくなるし、電車との高さがあり乗るのに何度か置いてきぼりされ次の電車を待ってと、帰りには電車からおりるのに何度かひっくり返りそうになり人に助けてもらいました。それ以来乗れません。
保田地区	維持費が大変だということはわかっておりますが、鋸南町は、今よりも便利な公共交通がなければ、自動車をもたない人は住めない町だと思います。自分も、生活が成り立たなければ、老後の転出も検討しています。人間ドックや、遠方への出張等で、公共交通を利用したいのですが、保田駅にも勝山駅にも駐車場はなく、利用できるのは自家用車か、高速バス（ふらりには駐車場があるので）の 2 択です。自家用車があっても不便を感じるため、自家用車がない高齢者や障害者の方にとっては大変な問題だと思います。このようなアンケートを取っていただき、有り難いです。利用できるサービスになるよう、お願い致します。
保田地区	観光客にも便利なルートも考えて欲しい。
保田地区	観光客の利用促進。東京湾フェリーの観光客が徒歩で移動しているのをよく見るが金谷と元名のトンネルが通れずまた内房線の運行本数も少なく保田方面へ来ないのではないのか。鉄道の運行が無い時間を埋める形で金谷から町内の観光地や宿泊施設等へ運行する。日本寺、東京フェリー、町内各宿泊施設、道の駅管理者と協議してみてもどうか。
保田地区	鋸南町ならではの公共交通を期待します。
保田地区	現在の利用状況がわからない。サービス内容を広く周知させなければいけないのでは。
保田地区	車を運転できる今、利用者目線で回答できなくてすみません。自由に移動できる車がない方や身体の不自由な方の生活を支える事を考えて欲しいと感じます。以前、飲酒をしてしまった後に独居の親から具合悪いと呼び出しがあったのですが、夜だとタクシーも無く大変に困りました。夜間のタクシーの運行を望みます。
保田地区	新しい時代に向けて PC やスマートフォンを利用した配車アプリの導入と Uber など個人参入を検討すべきだと思う。

住まい	公共交通に関する意見・要望
保田地区	町内活性化の一翼を担う公共交通になればよいと思います。現住町民の生活の豊かさに繋がり、観光客の移動の手段としての側面もあり（そのためには、駐車スペースの確保と車を降りてまで移動したい魅力のある街づくりが必要ですが）、守りの施策と同時に、攻めの施策を期待します。移動そのものが楽しいことにならないでしょうか。
保田地区	町内循環バスのバス停は停留所の目印が無い所も多く、時刻表は分かりづらく、利用者への寄り添いが希薄。観光客も利用できるよう、使う人の立場で環境作りをする必要がある。電車や高速バスと連携がとれる町営循環バスであれば、利用率も上がると思う。普段、自家用車中心で暮らしている人ではなく、公共交通を利用している人や学生たちが計画の中心となるべきだと思う。
保田地区	内房線の本数を増やして欲しい。
佐久間地区	町民は無料。遅い時間帯の運行など今と違った運行環境にしてどのくらい乗る人が増えるか知りたい。循環バスを辞めてタクシーのような目的地間を移動する手段に対して町民割引（半額とか）のような補助を出しては？
佐久間地区	100m歩くのがやっとなので、公共交通の利用が難しいです。元気で交通手段がない方には、とても大切だと思います。どんな人にどんなサービスをするのか。
佐久間地区	20年前に引っ越して来た移住者ですが、車に乗れなくなったら多分、子供達の所へ行くかどうか考えています。
佐久間地区	6月に鋸南町下佐久間に越して来ました。不便なのに驚いたけど、いい環境の場所だと思います。
佐久間地区	赤・青バスは故障が多く見られるので、もっと負担が少ないハイエースクラスにバスを変えたらどうですか？
佐久間地区	アナログ人間が多いことを忘れないで対処すべし。
佐久間地区	今は自動車運転で移動は困ってはいませんが、今後返納した場合、足がなく不安です。乗物に自由に乗り出かけられるのが、ボケない理由、若くいられるのでは。財政負担があるかも知れませんがよろしくお願いします。交通便により移住者も増えるのでは。
佐久間地区	運転免許返納や免許のない人がいつどこへでも行く事ができる地域社会でいてほしいです。特に、山間部の人達は、そう願っていると思う。
佐久間地区	オンデマンドが成功している町を参考に考えてほしい。
佐久間地区	介護タクシーのような、自宅から目的地を安く思った時間に移動できる手段を増やし、安価にしてほしい。バスは1人では乗れない（介助者）必要。
佐久間地区	車がないので、どうしても、バスは必要です。乗る人が少ないのは、分かっていますが、なんとか、なくならないようにお願いしたい。
佐久間地区	現在の運行だと場所によっては利用しづらいのでは。デマンド型は車種（大・小）を工夫。定期ルートでの運行もタクシー並みに小型化し、相乗りで便数を増やす方法は？
佐久間地区	現在は自分で車を運転出来ているが、この先10～15年後、免許返納してしまうと、とても不便なところに住んでいる。本当は今の年寄りがオンデマンドを利用し、私達がそうなった時にこのサービスがあったらとても助かると思う。
佐久間地区	現在は自分で自家用車を運転出来ていますが、病気をしたり、80歳を過ぎての行動が不安です。一人暮らし（子供は遠隔地居住）で生活していくのは町の公共交通が必要です。10年後存在していますように。
佐久間地区	小型バスの利用（定員11名程度）
佐久間地区	佐久間地区の住民は飲み会があっても行けない。せめて夜8時位までクシーが運行しているか、最近始まった登録した運転手による運行で対応してくれると良い。
佐久間地区	大変だと思いますが、なんとかガンバッテ下さい。
佐久間地区	タクシー会社と提携し、町営バスと同じ料金で使える様に町で補助と、町営バスの維持、管理費を当てる。

住まい	公共交通に関する意見・要望
佐久間地区	食べ物などは通販で何とかなるが病院（鴨川）への直通バスを希望します。千葉銀行の色々な手続きを役場の中の千葉銀でできるようにしてほしい。館山まで電車で行かなくてはいけなく、行って帰ってくるには半日以上かかるので。
佐久間地区	町営循環バスとデマンド型交通の良い所を取って、中型を２台で運行したら良いと思います。
佐久間地区	定時運行、定時ルートは無駄が多いと思うので、必要最低限で良いと思う。（通勤、通学時）公共交通の特別な利用者は、自家用車を利用できない高齢者等で、通院、買物が利用目的だと思う。地区ごとのサポート対応が重要だと思う。
佐久間地区	問 26 の（２）は、難しい問題です。バスの廃止は、望まないですが、高齢になった時が、不安です。保田、勝山に遠く、山の方に住んでいますので心配です。
佐久間地区	難題がたくさんありますが、より良い方法を考えていただけると幸いです。
佐久間地区	バスを見ても殆ど乗っている人はいないため赤字が改善することはないのではないか？キャラバンやハイエース程度の車両で良いと思うのでデマンド型に切り替えをして予約運行としてみるのはいかがでしょうか。
佐久間地区	返納しても生活できる様に、公共交通は減少又は廃止しないでほしい。切実な願いです。
佐久間地区	町の人数が減少していくなか、色々なものを維持していくのは大変だと思います。しかし、この町が好きで住み続けている人、新たに住み始める人も居ますので、皆が健康や食（買い出し）に不安なく暮らせるよう頑張っていたきたいです。町全体の問題でありますので、協力できることはしていきたいです。このたびはこのような機会を設けてくださり、ありがとうございました。
佐久間地区	街の方針として、打ち出して下さい。
佐久間地区	町役場に登録（暇な人達）してボランティアを集い、マイカーで連れて行ってあげる。
佐久間地区	無料でも良いので輸送人員を増やすべき。利用者の多い区間での増便。
佐久間地区	免許証返納者には、公共交通機関が必要だと思います。
佐久間地区	利用者数に応じた運行形態（小型バス、ワゴン、軽自動車）またタクシーなどを使った巡回サービスを行う事を提案します。
佐久間地区	循環バスは廃止してデマンド型のみにしてもいいのでは。スクールバスも生徒数のわりに大きく無駄だと思うので大きめの自動車にするなどして維持費削減を図るべき。
佐久間地区	町営循環バスの運転手さんの態度やマナーの改善を強く希望いたします。
佐久間地区	数問前に「公共交通サービスの縮小」を選択させていただいたのですが、財政負担を減らすという意味ではありません。現在、公共交通サービスを利用している方は無くなったら絶対に困る方ですのでそういう方向けに減った負担額から何かしらのサービスができればいいなと思いました（タクシー料金の割引等）。
佐久間地区	問 26 の（２）は恣意的だと思う。これ以外に選択できないのは困る。「公共交通の利用を促進するため」という問題設定は正しいのでしょうか？前提として公共交通の利用ニーズがあるにもかかわらず、利用されない理由があるような問いですが、そうでしょうか？声の大きい「困っている」の内実は、個人的な不満に過ぎなかったり、「行政が何とかしろ」という一方的な要求だったりすると思います。そもそもそれら全ての要望に答えることはできないわけですし、利用する側の意識も変えないと難しい問題だと思います。要するにお金をかけずに、町民にとって利用しやすい交通機関があればいいわけですが、そう簡単にはないでしょう。誰かが気の利いたサービスを思いつくわけでもないと思います。田舎の公共交通機関のあり方と都会のそれとは違うし、車を運転する高齢者の状況も異なると思います。町民が鋸南町でどんな生活をしていて、その生活スタイルに交通機関がどのように関わって住みやすい町にしていけるか？そのためには、どのような交通機関が考えられるのか？という視点や研究が必要だと思います。
無回答	無くては困る人もいます。

②町営循環バスの運行サービスをより良くするための意見・要望

住まい	町営循環バスの運行サービスをより良くするための意見・要望
勝山地区	道の駅富楽里まで行って欲しい。金谷まで行って欲しい。切に！
勝山地区	本数の増便。平日はワゴン車、祝祭日は従来のバス。
勝山地区	環境に優しい乗り物。バスを利用して歩きましょう運動不足の解消。町民のための道の駅保田小学校観光ができる。
勝山地区	5年ほど前に足をケガして通勤に利用していました。本数が少なく不便でした。（土）（日）も平日と同じに運行してほしいと思いました。
勝山地区	脚が悪くなってからは利用していません
勝山地区	アンケートの質問が、町営循環バスの運行サービスの課題解決に繋がるとは思えない質問が多い、南房総市循環バス、JR.との接続状況がわからないので、HP等で確認出来ると良い、HP等で確認出来るのであれば定期的に告知して欲しい。
勝山地区	今の運行時間帯の間に1本位運行して欲しい。買い物等行った時に帰りに乗るバスの本数がない。
勝山地区	今のバスを小さくして細い道、家の近くまできてくれる小型で良い。
勝山地区	今は自分で車の運転が出来るので乗らないから
勝山地区	今は利用しないのでよくわからない。
勝山地区	運行本数の増便が不可欠。
勝山地区	オンデマンドを再開していただきたい。
勝山地区	回数を多くして欲しい。
勝山地区	家族の車を使ってしまうのでわかりません。
勝山地区	体が不自由でバス停まで行けなく、待っている場所も立って待つ事ができない。
勝山地区	鋸南病院へ行くのに利用するが、帰りの時間帯のバスがないので（病院が混んでいると昼のバスに間に合わない）、駅まで歩けないので結局タクシーを利用する事になる。
勝山地区	現在あまり利用していないのでよくわかりません。
勝山地区	現在行きはバスを利用、帰りは時間が合わず徒歩で帰宅しています。現状バスの利用者も少ないですし、財政的にも難しいと思います。歩ける内は頑張ろうと思っています。
勝山地区	現時間では病院診療後1時間半～2時間待ちですので利用したくてもできない状態です。
勝山地区	高校生の通学に利用できる運行をお願いします。
勝山地区	自宅近くから乗車できない。
勝山地区	主人の通勤に送迎しているが、乗り継ぎ時間が電車で朝・夕合わないのが不便で、迎えに行けない時はタクシー利用になります。考えていただけたらうれしい。
勝山地区	主要道路（国道）以外での乗降が出来ると良い。
勝山地区	循環バスそのものが不要と考える。
勝山地区	循環バスの台数（時間）を多くして欲しい。
勝山地区	そもそも行きたい店が無いから乗る必要がない。
勝山地区	タクシーの利用料金の福祉対応
勝山地区	たとえば浜金谷駅、岩井駅へ停留所を作る。金谷（鋸山目的）の観光客が増加しているため、時期によっては金谷→佐久間ダム→鋸山→フェリー場など、観光ルートとして成立すれば、集客効果が向上するのでは？
勝山地区	たまに赤いバス青いバスを走っているのを見かけると、誰も乗っていないか1人、2人程度のお客さんしか乗っていない事が多い。利用者の数で必要性は決められないが、利用する人は本当に困って利用している人が多いのではないと思う。
勝山地区	町外ですが「道の駅富楽里」を通して欲しい。
勝山地区	町内で通院、就業、買い物、食事、ピクニック・ハイキング、入浴できる施設があるが、目的地に行くことができて帰ることができない。結果、利用することがない。残念です。
勝山地区	停留所まで歩けない（遠い）

住まい	町営循環バスの運行サービスをより良くするための意見・要望
勝山地区	電車の時間と合わせる。
勝山地区	年齢によって金額の補助（割引き券）とか、家族の為の割引。
勝山地区	乗りたい場所へ時間が合わないのでは？
勝山地区	バスが身近に感じられる様になると良い。
勝山地区	バス停に屋根付待合があると良い。雨の日など。
勝山地区	バスの運行本数が増えると、通院、買い物をしたい高齢者が助かると思います。
勝山地区	バス停や時刻が調べやすくして欲しい。子供達が気軽に利用できる環境にして欲しい。
勝山地区	バス停留所を増やし、町内のきめ細かい路線を運行すること
勝山地区	日に乗る人が少ないのに、なぜ今の車両バスなのかかわからない。もっと小さい車両（MAX 6人位）で良いのでないか。地方によっては小さい車両を使っている。（TV番組から）
勝山地区	病院診療後バス使用時間まで1時間半から2時間位待たないと利用できませんので不便に思っています。
勝山地区	病院に行く為バスに、終わっておどやで買い物、計1,000円だとお年寄りにはきついのではないかと感じる。運賃500円+500円
勝山地区	不便すぎて何とも言えません。1人暮らしの老人の事をもっともっと考えてあげて下さい。
勝山地区	本数少なく、利用機会が無い。
勝山地区	もう少し頻繁に循環してくれれば、運転免許証を早く返すことができる。
勝山地区	もっといろいろな所を回った方が良いと思います。実際家族（高齢者）もバス停遠くて使えない。どうせならちゃんと町内を回った方が良いのでは？使いづらいので、近所の人（独居老人）たちは買い物もなかなか行けないですよ。
勝山地区	利用客が少ないため、高齢者の人には回数券を配るなりした方がいと思う。車の維持費などが高いので。
勝山地区	利用したい時間に運行していない為、不便で町以外遠くてもよそへ買物に出かけてしまう。
勝山地区	利用したことがないので…。将来的に運行されなくなれば困るかもしれません。
勝山地区	利用した事がないのでわかりません。
勝山地区	利用しない為、良くも悪くもない
勝山地区	ルートや時刻表が不明。調べたこともなく意見も特にない。鴨川へ行く路線バスがなくなり不便だとは思う。
勝山地区	若者と関係人口を増やす。
勝山地区	頑張って続けて欲しい。
勝山地区	鋸南町役場バス停を、役場敷地内にしていただけると、ありがたいです。
勝山地区	行き先、時間を増やす。
勝山地区	高速バス乗り場までの運行及び他市町村が運行しているバスとの連携
勝山地区	時間帯バスの数が少ないと思います。
勝山地区	内容をよく知らないので、回答が難しい。
保田地区	「ふらり」まで運行されていると便利かと思います。
保田地区	車イスでも利用出来たら嬉しいです。元名の方は走っていますか？
保田地区	自宅からの乗降であること。行きと帰りの乗り継ぎが便利である。
保田地区	1時間に一本運行して欲しい。
保田地区	H Pのどこを見ればよいか判らないので、よりPRして欲しい
保田地区	J Rとの駅時間帯が違うこと、金谷駅までの運行が欲しい！！
保田地区	行き先に町外を追加して欲しい。「道の駅フラリ」「亀田クリニック」を追加
保田地区	運行情報をわかりやすくする。子供でも利用しやすいようにする。
保田地区	運行本数を増やしてもらいたい。
保田地区	運用費が少ない様小型の車
保田地区	お年寄りが買い物をしやすいように、スーパーの駐車場近くまで行って欲しい。

住まい	町営循環バスの運行サービスをより良くするための意見・要望
保田地区	買い物など荷物がある時、雨など歩行が大変な時、運行本数がもう少し多いとうれしい。
保田地区	観光客の利用も見込んだ運行ルートや本数も検討できないものか？
保田地区	観光客への利用を増やす方法を考えたら良いと思う。
保田地区	車いすが利用出来る様にして欲しい。
保田地区	現在は自動車で移動するので必要はないが、老人なので後何年かで乗れなくなるので、その場合バスの運行本数とバス停を増やしてもらいたい。
保田地区	高齢者（市県民税非課税者）には無料パス等の交付
保田地区	高齢になった際、役場・おどやへの買物に必要と思うので無くなると困る。経費を考える時、タクシーや乗り合いの補助でもいいかと思う。
保田地区	高齢の母がヤックス鋸南店を利用するのに買った荷物の量が多いと、消防署前まで行くのも大変だと言っていました。ヤックスの横で乗降できると暑い日でも店内でバスを待てると思います。
保田地区	時刻表の配布
保田地区	時刻や道順がよくわからない。
保田地区	自宅からバス停が遠いからです。
保田地区	主要施設等の利用を考えると往復で使いにくい。
保田地区	町営循環バスのサービス内容を知らないため、特に意見はありません。
保田地区	乗客が少ないから減らすのではなく、少ないから本数を増やして高齢者がいつでもバスに乗れるという逆の発想があってもいいのではないですか！
保田地区	乗車人数が少ないので、小型のバスでも良いのではないのでしょうか。今は誰も乗っておられず1人という時がある。気になる。
保田地区	人口の多い地域と利用頻度の高い地域の区間だけ本数を増加させる。例えば役場と駅の区間のみ増加させる。
保田地区	定期運行はコスト面から無理
保田地区	出来れば、遅い時間帯も利用できるといい。
保田地区	時々バスを見かけるが、余り利用されている方が少ないのでは。もっと小さな車でも良いのではと思う。
保田地区	バスがある事が知らなかった。
保田地区	バスがいろいろ変わるから怖い。
保田地区	バスが走る通りに面した居住地の人は良いが、バス停に遠い方のことを思うともっと小回りがきく乗り物を考えて行く必要があるのでは？と考えます。
保田地区	バス停で待っていたにもかかわらず、交通事情でバスが停まらなかったと聞いたことが有る。改善できないのか？
保田地区	バス停に関係なくどこでも乗り降り出来る。
保田地区	バスの小型化。運行本数の増
保田地区	バスのステップが高いので、もっと乗りやすくしないと高齢者は利用出来ないと思います。
保田地区	バスの乗り方がわからない。
保田地区	バスの利用者が少ないと思われるので、現状でも仕方ないと思われる。
保田地区	バリアフリー設計の安房勝山駅を基準に、上り下り、全ての電車との連携がとれる時刻での運行をしていただきたい。最低 一時間に1本は運行していただきたい。悪天候の日に、学生が無理して自転車に乗らずとも 電車通学(帰宅も)出来るようにしていただきたい。公共交通の計画を立てる人は、自分ごととして考えるために、ノーマイカー生活を実践して欲しい。
保田地区	バンタイプが良いので、フレキシビリティに使い良くして欲しい。
保田地区	保田駅でバスがなく、お年寄りを自分の車で乗せていったことがある。
保田地区	もう少し本数が多く

住まい	町営循環バスの運行サービスをより良くするための意見・要望
保田地区	要望ではなく、家族とバス乗車を考えています。バスの運行をいつまでも継続をしてもらい（永く）、自家用車ばかりでなく、利用が必要となる時がきます。
保田地区	予約制
保田地区	利用の増加対策の検討。ダイヤの増加
保田地区	路線図等の情報案内表のようなものが欲しい。
保田地区	安全に運行できるよう願っています。
保田地区	維持は難しいと思うが、運行して欲しい。
保田地区	維持管理が大変だと思うので、少子高齢化が進んでいることも考慮して、ゆくゆくはスクールバスを廃止して町営循環バスの運行に組み込んでいく事も必要かと。高齢者がメイン利用者となる為、子供達と触れ合うこととなり良い面もあるのでは無いかと。
保田地区	一度試しにりましたが道が悪いのか？酔ってしまって２度と乗りたくないと思いました。
保田地区	運行経路であれば、乗り降り自由にしてはどうか。昔のように、バス停以外の場所でも乗りたい時は手を挙げれば乗せてもらえるようにして欲しい。
保田地区	車いす利用者が佐久間ダムで乗り降りできるようにして欲しい。花見に行きたい。
保田地区	循環と言っても、一周しないので不便です。一周すれば、どちらのバスにも乗れる人がいると思います。乗りたい電車とのつなぎのバスがなく、家族が困っています。何とか車で送迎ができるうちはいいですが、それがかなわなくなったら本当に困ります。
保田地区	循環ルートを維持しながら分割して便数を増やしたら良いと思う。
保田地区	町営循環バスを利用するには１日の運行本数が少ないです。一本逃したら帰れないような運行本数なので利用するにも無理があります。１時間に一本ずつくらいあると子どもや自分も外出時に利用したいかなと思います。
保田地区	廃止してUber 解禁を請願した方がオンデマンドで良い。
保田地区	夜 遅い時間帯での運行が可能ならば、街の活性化にもなるのではないかと。同時に、早朝の時間帯での運行がないことによって、近隣の職場、学校へ通勤通学での利用ができない。駅周辺に駐車場、駐輪場もない。発想として、利用対象を現役世代ま拡大できないか。基本的に、高齢者の通院、買い物の「足」としての運営であるように思われる。思い切って運行を積極拡大する方向性もあるのではないだろうか。町内各施設の営業時間帯を延長することによって、朝から夜まで元気な安心の観光鋸南町。子育てわくわく鋸南町。民間事業所との協業が必須だが。公共交通機関の課題は、単一のニーズに囚われず、それ一点で考えるのではなく、俯瞰的な視点でどんな町にしたいのかの問題であるように思われる。積極的な費用対効果。
保田地区	路線図が見づらい 電車との乗り継ぎが全く良くない 町内の駅を降りた人がどこに行くことが多いのかを把握するべき
佐久間地区	（乗車した事のないのでわからないが）鴨川の亀田病院へ直通の便を出して欲しい。
佐久間地区	バス停が目立たないので、目印等工夫した方が利用・使用しやすくなると思う。町営循環バスの行き先や本数（時間帯）をもう少し色々なスーパーなどに記載して、誰もが利用しやすい環境作りが必要と思う。
佐久間地区	いつ見ても誰も乗っていない。もう少し小型の車にした方が経費はかからないと思う。
佐久間地区	現行の車両より一段小さいマイクロバスの方がコストは安いのではないのでしょうか。又、乗客が少なすぎるので…。
佐久間地区	現在のような大型バスではなく、デマンド型交通に使用された位の大きさのバスで運行すれば、小回りがきくし費用も減るのではないかと思います。
佐久間地区	現状の利用なし。高齢者本人のみでの利用が難しい
佐久間地区	高校生の通学や高齢者の通院等、必要とする便がほしい。館山市内へ通院していた頃は９時台のバスに乗り、眼科に１１時に着き診療をして船形の駅にお昼を食べ帰宅は午後３時になることがあり、一日かかってしまった。

住まい	町営循環バスの運行サービスをより良くするための意見・要望
佐久間地区	高速バス停にも運行してもらいたい。買い物、病院へ行きたいが、運行時間・本数がない。
佐久間地区	高齢化の時代、自動車を自ら運転できなくなった場合、買物や通院等の際、移動手段として循環バスを頼りにするかも。
佐久間地区	高齢者向けの年間パスポート、シニアカー置き場の設置、スクールバスとの統合
佐久間地区	小型化（軽自動車サイズまで）し本数を多少増やす。
佐久間地区	自宅近くまで運行してもらえたら
佐久間地区	自宅の近くまで運行してくれたらと思います。
佐久間地区	循環ルートから外れて不便。隅々までルートを作って欲しい！
佐久間地区	祖母の様子を見ていると不便だと感じる。それならと家族が送迎するが、都合のつく家族がいない独居の方は大変だろうと感じる。
佐久間地区	鉄道との連絡。バスを待っている時間の休む所イス等
佐久間地区	電車が来るまで駅にいてほしい。人が降りて来る時にはバスは出発している。
佐久間地区	電車から降りてくる人がいないか確認してから出発して欲しい。
佐久間地区	富楽里まで運行して欲しい。
佐久間地区	バス停に椅子があるといいです。
佐久間地区	バスでなく普通免許証で運転出来る小型車化。町で運営（経費削減）中古車購入運賃無料
佐久間地区	バスではなく“ちょいそこ”などを普段利用して、バスは水仙の時期の観光バスや、町の方の通学バス（駅まで）などルートを決めてもいいと思う。
佐久間地区	本数を増やす。
佐久間地区	利用者が少ないが、バスは必要だと思う。
佐久間地区	利用者さんがどのくらいか？バス運行が必要か？余り乗っている人を見た事がないので…。
佐久間地区	利用率を考えると、本数を増やすことは難しいと思います。ですが、車を運転できない高齢者の方で通院などするためには必要だと思います。オンデマンド交通が拡がれば、バスでは不可能な時間帯もカバーできるのでは。
佐久間地区	老人に親切にして欲しい。
佐久間地区	私は利用していませんが、利用している方から本数が少ないということを利用している人から聞きました。
佐久間地区	運行本数が少ないことのみが不便にしているわけではないと思う。1時間に1本でも、上手な使い方や用事の済ませ方、バスを待つ場所があるなど関係する環境を整えれば、必ずしも不便で使えないものにはならないと思う。特定の地域から特定の目的のためにどのように利用するのが良いかをアドバイスしたり、相談できるスタッフや窓口などがあると良いかも。一人ひとりの事情に合わせて待たずに使える公共交通機関を整備するのは経済合理性から言っても現実的ではないと思う。
佐久間地区	運転手さんのほとんどが安全運転をされていますが、時々マナーの悪い運転手さんをお見かけします。とても残念に思うときがあります。
佐久間地区	現時点では、利用しないと思います。
佐久間地区	循環型ではなく、デマンド方式への移行が良いと思う。現状では使いたくても使えない。土日にデマンド方式を使えるなら、使いたい場面は何度かあった。
佐久間地区	町外へアピールして観光客さんにもっと利用してもらおう。
佐久間地区	富楽里に行けないか？
佐久間地区	利用する人が少ないのでバスではなくハイエースなどの自動車です十分なのではと思います。
佐久間地区	路線図に20文字程度の短い文言で、施設案内や観光案内があってもおもしろそうだった。（真面目な感じよりもポップな方が今の時代には合っているかもしれません）町内や近隣の駅と道の駅に置かせてもらえれば、観光客の興味を引くことができるかも？路線図で大崩方面はもっと山の中の雰囲気があるとワクワク感が個人的に増します。

③デマンド型交通に対する意見・要望等

住まい	デマンド型交通に対する意見・要望等
勝山地区	乗降車時のステップが高かった。乗降場所、自由にして欲しい。家から駅へ夫婦で行くと、タクシーの方が安かった。3人以上だとタクシーの方が良かったのではないかな？
勝山地区	鋸南町の高齢化率が50%超えになることは確実な状況。自宅まで迎えに来る方式が必要。年金だけの収入に見合う料金体系に。高齢者の外出機会の減少予防。
勝山地区	運行の時間帯（早朝、夜）
勝山地区	運賃がどうなるのか心配です。
勝山地区	オンデマンドの意味が分からない。
勝山地区	亀田病院等遠方の病院へ出かける時、予約して運行して頂ける事が出来ればありがたいと思う。
勝山地区	車が大きすぎるのももっと小さいので良い。車に乗り込む際にステップが高すぎて乗るのに大変！
勝山地区	車を小さくして台数が増えたととても使いやすいと思いました。
勝山地区	交通手段のない方や歩行困難の方など、必要な方はいらっしゃると思います。
勝山地区	広報不足
勝山地区	高齢者が多くなればなるほど必要になる。
勝山地区	高齢者が外出・買物ができるといいと思います。
勝山地区	高齢者が自分で利用出来るシステムや形が理想。
勝山地区	高齢の母親が大変便利に活用していました。価格500円もありがたかった。高齢化に向けて、また住みやすい街づくりとして必要です。
勝山地区	今後、自分で予約のTELができるか？わからない。予定変更になった場合、キャンセルのTELが必要
勝山地区	今後必要になると思います。
勝山地区	システムの簡素化
勝山地区	事前の予約が必要で急を要する時に困ると思った。
勝山地区	乗降場所が家から遠い。
勝山地区	助かっていました。
勝山地区	ただ運賃をもう少し考えて安くする、又は他の交通利用が出来る事を色々考えて、お年寄りの負担を軽減して頂ければと思う。
勝山地区	使い慣れたら便利だと思う。
勝山地区	停留所の場所が認知されていないのではと思う。
勝山地区	デマンド型交通があった時はすごく便利でした。ぜひ再開していただきたいです。
勝山地区	デマンド型交通とはなんですか？
勝山地区	どこでも誰でも手を上げて乗れば良いと思う。バス止まれの旗が各家にあれば良い。
勝山地区	年寄りにはわかりづらいと思う。丁寧な説明が必要だと思う。簡単な方法で。
勝山地区	どのようなものか知らない
勝山地区	何人かでまとまって利用するのは良いと思う。
勝山地区	バス停まで出向かなくて良いので便利であると思う
勝山地区	不勉強でデマンド型交通わかりません
勝山地区	便利だと思います。携帯電話を持っていない高齢者や電話はあるが難聴の方は不便では？
勝山地区	本来の目的が達成すればいいのですが。
勝山地区	町のバス、10人位にしたらと思います。
勝山地区	もう少し回数があると良い。
勝山地区	もう少し気軽に使える様になれば

住まい	デマンド型交通に対する意見・要望等
勝山地区	目的地まで時間がかかりそうです。買い物に利用するには良いかもしれませんが、通院の場合、同乗者が煩わしい時があると思います。
勝山地区	もっと小型の車での運行で台数を増やせたら良いのではないかと思います。
勝山地区	もっと使いやすく、わかりやすく
勝山地区	要求があればすぐに、指定の場所から
勝山地区	予約が必要となると急な時は意味がない。循環バスではなくもう少し小さな車で回ってもいいのでは？
勝山地区	予約は時間がかかるので、例えば曜日でおどや行、病院行などと決め、公民館などを待ち合いにした時刻表を作るとか…
勝山地区	予約方法を簡単にする
勝山地区	予約を簡単に
勝山地区	料金が安い、急な用事の時は不便。
勝山地区	利用するのに予約するのが面倒。
勝山地区	老人でもわかるように、カンタンに説明して欲しい。
勝山地区	老人はデマンド型交通の意味は全然解っていません。
勝山地区	若い人にとってはスマホやネット等で簡単に出来るが、高齢者にとっては難題である。電話での予約も厳しい事もある。買い物ルートや病院ルートなど多少固定されたルートがあってもいいと思う。バスの台数が少ないと予約も取れず困る。
勝山地区	実証実験より小さい車両で、当日でも簡単に予約できるとよい。
勝山地区	身障者なので、車高の高い車は乗りづらい。
勝山地区	早い時期の再開を希望する。
勝山地区	当面は利用の機会はないが、あれば絶対便利と思う。
勝山地区	認知度高める。申込みやすくする。利用度を高めて維持しできるよう努力が必要だと思う。
勝山地区	予約制なのはいいが、高齢者には難しい。
勝山地区	利用のやり方を簡単にする。
保田地区	町民が利用しやすい環境作り。サービスの周知をもっとした方がよい。
保田地区	Uberなどの導入も視野に入れるべきだと思います。
保田地区	いいと思います。
保田地区	一番は手軽に利用できれば利用増となるでしょう。
保田地区	一部、町外（ふらり等）への移動。亀田病院等への乗り入れ便
保田地区	今は考えてない。
保田地区	今は自動車で行けるので返納した時には使いたいと思います。
保田地区	お年寄りが再開を楽しみにしています。是非、早急をお願いします。
保田地区	家族に乗せてもらうのだけど、もしもの時（留守の時、家族）あると、とても便利だと思う！
保田地区	亀田総合病院
保田地区	玄関口まで来られない事があるので利用できない。
保田地区	交通弱者の為に必要な
保田地区	高齢者にまずは徹底した周知を。お試イベントみたいなものを企画したら
保田地区	高齢になったら利用したい。
保田地区	子供も利用できると良いと思った。
保田地区	システム開発などに高額な費用をつぎ込んでも、実用に反映されたように思えない。ならば電話受付兼ドライバーを1～2名雇用した方が、人口（利用者数）に対して現実的な方法だと思う。ハードだけ大金をかけて運用ができていないというのは、行政サービスにありがちな失敗例だと思う。

住まい	デマンド型交通に対する意見・要望等
保田地区	自宅まで来てくれないと、あまり意味がないのでは？バス停や大通りまで出られない人は利用できない。
保田地区	住民にテスト形式で乗車してもらい、モニタリングをしたらいいと思います。
保田地区	是非、実現下さい。
保田地区	前回では元気で荷物を持つ事が出来る人のみだったと思いますが、それでは利用者が決まってしまう。身体が不自由でも付き添いがあればOKとか…。運転が出来なくなったら利用したいです。走る距離を増やして欲しい。
保田地区	町営循環バスで充分
保田地区	町外の人知らない人多数
保田地区	町外も行ければいいが
保田地区	町内だけでなく、せめて館山、鴨川位まで範囲を拡大して欲しい。
保田地区	道路から入れたら良いと思いますが、道の狭いことが無理かもしれません。
保田地区	年をとると車体の高い車に乗ることが難しいので、車種を考えた方が良いでしょう。
保田地区	早く実施して欲しい。
保田地区	勉強不足で申し訳ありませんが、オンデマンド実証運行の利用状態はいかかなものでありましたか？
保田地区	ボランティアでの運用は良くない。
保田地区	もっと詳しいものを知りたい。
保田地区	予約して乗降出来るからいいと思う。
保田地区	利便性を良くして欲しい。
保田地区	料金がもう少し安くして欲しい。
保田地区	料金体系を考えてもらいたい。
保田地区	利用してないので、わからない…
保田地区	利用が増えなければ経営も難しいのでは。利用する際、もっと簡単な方法があれば良いのだが。
保田地区	利用しやすい方法で、ぜひご検討下さい。人が町に出る事が多くなれば、町が活性化しませんか。
保田地区	利用者のニーズに合わせた移動が可能だから増やして欲しい。
保田地区	利用方法が高齢者にとって簡単であれば良い。
保田地区	私にはいまいまいわからない
保田地区	運行ダイヤや予約の柔軟性と利便性の向上は相反するが、運行費用が無駄にならないようにとにかく利用者を増やすことが重要だと思います。
保田地区	公費の無駄
保田地区	高齢になったら利用したい。
保田地区	事前予約制だけなのは急な利用には不便です。予約制と即時利用制の両方あればよいかと思いますが、目的地（駅）などに限っては利用可能時間が長く設けられていると良いと思います。
保田地区	定期的に使えるとしたら、値段を下げたい。
保田地区	分かりやすさと周知。
保田地区	利用者が少なかったはず。通勤通学にも使える定期便も並行するならよいかも知れない。不満だけを言い、いざ有っても使わない人たちの意見に流れないで欲しい。
保田地区	利用方法が良く解らない
保田地区	利用料金を町営循環バス並にして欲しい。
佐久間地区	1ヶ所ではなく2ヶ所位まで行って欲しい。
佐久間地区	家までの送迎
佐久間地区	運行地域を町外まで広げて欲しい。タクシーの運行時間よりも長く運行して欲しい。

住まい	デマンド型交通に対する意見・要望等
佐久間地区	運賃を安くして欲しい。
佐久間地区	運賃を安くして欲しい。
佐久間地区	急な用事で予約しなければならないのが…。
佐久間地区	高齢者の方に利用しやすいと思う。
佐久間地区	困っている人が利用しているなら税金を使っても運行継続を願っています。
佐久間地区	財政的に利用者を増やす必要があると思います。
佐久間地区	早急に実施して欲しい。他市まで（せめて安房管内）運行して欲しい。
佐久間地区	事前予約が必要との理由で高齢者にとっての良いサービスでありながら利用するハードルが高くなり、結果利用者が少なくなるのではないかと思います。予約方法を簡単に出来れば、とても良いサービスと思います。
佐久間地区	自宅に来てくれるなら、私のような高齢者もありがたい。しかし、町道、県道から入った道はガタガタで家まで来てもらうのも大変だと思う。
佐久間地区	自分の目的地で降りられない。
佐久間地区	使い方を町内、地区ごとにもっと説明、周知しないと利用の仕方がわからない人が多い。
佐久間地区	できるだけ家の近くまで入れるような小型の車が良い。
佐久間地区	手続きが簡単でない。利用規則が多過ぎる。
佐久間地区	デマンド型交通がそもそも何かわからない。
佐久間地区	デマンドの程度とコストをもう少し詳細に検討してバランスをとるべき。検討が大雑把な印象を受けます（あまり詳細は知りませんが）。
佐久間地区	特に（２）の電話で予約できる方針を打ち出して下さい。
佐久間地区	バスとの両立は難しいと思う。町外の人は利用しづらい。
佐久間地区	街場や通院のためには必要と思う。（遠方の方は特に）
佐久間地区	免許のない方、高齢者の方（とくに高齢の方）へのわかりやすい案内。また、サービスを周知してもらえるよう目につくところへの掲示、繰り返し町報や他の配布物でのアナウンスがあればと思います。あとは、役場等、ほか病院などでの積極的声かけで利用してもらえるよう案内するなど。利用者が増えれば本格的運行も可能だと思いますので、必要な人に伝わってくると良いと思います。スマホ予約だけでなく、TELでも予約できることを高齢者をもっと知ってくれていた方が利用者増えたのかな？と思います。アナログ管理は大変だと思いますが、年齢層を考えると必要と考えます。
佐久間地区	もっとわかりやすいネーミングにしないと年寄りにはわからないのでは？
佐久間地区	やがては免許がなくなれば必ず利用するので必要です。
佐久間地区	料金体系が解らない。乗車下車が自由に（場所）指定出来る。
佐久間地区	利用者全体が減少しているのであれば、必要に応じた形が効果大と思う。
佐久間地区	利用方法が不明
佐久間地区	今後は正式導入して欲しい。
佐久間地区	出来れば運行して欲しい。
佐久間地区	町内の方などはこのようなことをしている事を存じているのか？そもそも誰に利用してもらいたいのか。高齢の方たちにもしっかり情報が伝わっていて利用しているのかとても分かりにくい。
佐久間地区	土日でも実施してくれるなら使いたいと思う。
佐久間地区	利用料を循環バスと同じくらいにしたら利用しやすいと思う。

(2) 高校生アンケート調査

居住地	公共交通に関する意見・要望
勝山地区	安房勝山駅にいつなんどきでも Suica などをチャージ出来るようにして欲しい。安房勝山駅に自動販売機が欲しい。安房勝山駅のホームに雨の日でもホームで待てるように小屋などが欲しい。
勝山地区	車を運転できない人がどのように移動しているか、その人達の意見を聞いた方がいいと思います。
勝山地区	駅の近くの線路沿いが雨降るとぬかるから、コンクリートにして欲しい。
勝山地区	若い人が乗りにくい環境にある為そこの配慮が欲しい。
勝山地区	電車が少ない。
勝山地区	電車の車両数、本数を増やして欲しい。
保田地区	電車の本数が少ない。30 分に 1 本にしてほしい。
保田地区	とても便が悪く、子供たちや自家用車が無い人たちに優しくないのでは住みにくいと思う。
保田地区	通学定期代を支給して欲しい。
佐久間地区	休日の朝に館山行きの 6 時台があると便利。

(3) 小中学生保護者アンケート調査

小中学生	住まい	公共交通に関する意見・要望
小学生	勝山地区	子どもが習い事で BG を利用するので、BG にバス停があると利用できるかと思う。大福から BG のルートが子どもだけで行くには非常に危険。送迎できないことはないが、もし子どもが自分で行けたら助かる。往復 100 円くらいで時間か合えば利用させたい。または月定額パスポートが格安であれば。
小学生	勝山地区	勝山地区にもスクールバスの運行ができないなら、町バスが運行してくれたらありがたい。
小学生	勝山地区	<p>1. 運行システムの最適：利用目的に応じて運行形態を分け、効率性と利便性を高めます。通学時間：朝夕は定時運行の通学バスで子どもたちの安全な移動を確保します。それ以外の時間：買い物や通院には、予約制のデマンド交通を導入し、きめ細かなサービスを提供します。</p> <p>2. 新たな収益源と PR 活動：バスを単なる移動手段から、町の活性化に貢献するツールへと変えます。貨客混載：バスの空きスペースを利用して、地元の特産品を輸送。運行コストを補いながら、地域経済を活性化させます。PR ラッピング：車体に町の魅力や特産品を紹介する QR コードなどをラッピング。バスが「動く観光案内所」となり、町の魅力を広く発信します。</p> <p>3. 町民の生活を豊かにする特別便：暮らしの満足度を高め、町の魅力をさらに引き出します。遠方への運行：長期休暇中など、学生の利用が減る時期には、木更津や千葉といった主要駅へ特別便を運行し、町民の利便性を高めます。東京ディズニーリゾートへのバス：子育て世代や若者、高齢者も楽しめるよう、夏休み期間などに東京ディズニーリゾートへの特別便を運行します。乗り遅れが無いような対策を考慮する必要があります。ただ減便すれば経費削減になりますが長期的に見ていくと町の衰退を招きかねない。</p> <p>これらのアイデアが実現すれば、鋸南町の公共交通は、単なる移動手段を超えて、住民の生活を豊かにし、町の魅力を高め移住者やセカンドタウンやデュアルライフとしての選択肢に至る大きな力になるのではないかと考えます。</p>
小学生	保田地区	オンデマンド交通のシステム、よかったですと思います。小学校へ迎えに行ってもらって子どもだけで乗れるシステムがあったら直接習い事に行きやすいので利用したいと感じました。予約や支払いは保護者でよいと思います。

小中学生	住まい	公共交通に関する意見・要望
小学生	保田地区	バス停の時刻表は破れており、古くて字が見えないものが多い。
小学生	保田地区	子ども達が一人で安全に移動出来る環境を整えてもらえるとありがたいです。自立にも繋がり、習い事など選択肢も広がると思います。
小学生	保田地区	乗合の普通車（ハイエース）等にして車両維持価格を下げて、その分運行本数を増やす。
小学生	保田地区	正直、循環バスは一日数本ですし、利用しづらいと思う。ワゴン車の乗合タクシーの様な運行の方がいいのかとも考える。無駄に走行せず、必要な時に必要な距離だけ走行する事はできないだろうか。又、環境問題を考えた時、公共交通の利用者が増えればCO2削減にもつながるかと思う。
小学生	保田地区	朝の通学時間帯など利用する時間が多いと駅まで行くのに利用しようと思えるのかなと思います。子供が見て分かりやすい時刻表と路線図があると、送り迎えをしなくても自分達でお互いの家を行来して遊ぶ機会も増えるのではないかと思います。
小学生	佐久間地区	小学校前の通りに、ガードレールがない事について、不安です。小学校うらの通り、大きいドブがあり、すぐ取りはずせるグレーチングなどが整備される事。
小学生	佐久間地区	お店や施設等に行き来しやすいように、お店等の駐車場にもバス停を設置したらいいと思う。
小学生	佐久間地区	運転手さんがもう少し愛想良くしてもらえると子供たちも安心して利用できるかもしれない。高齢の方の運転手さんが多いと思うのですが、事故や対応、突然の病気など心配。
小学生	佐久間地区	利用者が少ないため仕方ないと思うが、運行本数も少なく、例えば目的地に行っても帰りのバスのタイミングを合わせる事ができず、なかなか利用が難しい。
中学生	勝山地区	もし習い事の行き帰りの利用を考えるのであれば、夕方の運行を少し増やしてもよいのでは。中学生は基本自転車で、日没後の暗い時間帯や、BGなどルートが安全でない場所に関しては、親が送迎している。子どものための格安回数券1回50円または無料チケットなどあれば利用するかもしれない。
中学生	勝山地区	一日数本でも赤バス、青バスを見かけると子供は喜んでいます。（私も）JR以外何もないのはとてもさみしいです。季節ごとに観光客の方で利用されている様子を見かけます。年配の方々で一定数必ず利用されている方のお話も聞きます。経営的に厳しいとは思いますが、ダイヤ・ルートなど上手く工夫しながら運行していただきたいです。
中学生	勝山地区	雨の日が悪天候時の通学時間と下校時間に利用できることが出来たらいいと思いますが、課題は多くあると思いました。このように良くなる方向への姿勢を見せてくださることに感謝いたします。
中学生	勝山地区	子供も大きくなり自転車で移動できるので、特に必要性を感じません。バスもたまにしか走ってないので、必要な時にタクシーの方が合理的だと思います。
中学生	勝山地区	時刻表などもっと周知してくれたら良いと思う。
中学生	勝山地区	走っているのはみたことあるが使ったことがありません。どの時間にどこを走っているのかもわかっていない状況です。また自転車の方が早いと子供は思っているようです。
中学生	勝山地区	特にバスに乗って行くような遊び場所がない。
中学生	勝山地区	本数を多く、車椅子や障がいのある方、お年寄りでも利用でき、高速バスとの連携も取れれば、利便性が向上すると思います

小中学生	住まい	公共交通に関する意見・要望
中学生	保田地区	高校生になったらバス利用を考えているので、通学時間に合うように電車との乗り継ぎが出来る時刻にして欲しい。
中学生	保田地区	電車⇔バスの乗り継ぎがスムーズになると便利。
中学生	保田地区	保田小からの高速バスに早く乗りたい。
中学生	保田地区	利用したい時に簡単に予約できるシステムがあるといいと思います。
中学生	佐久間地区	タクシーを保田、勝山駅共に上下線電車最終発着時刻まで運用して欲しい。
中学生	佐久間地区	バス停を道路上では無く、お店や施設の安全な場所に設置したら利用しやすくなると思う。

※道の駅保田小学校利用者アンケート調査では、公共交通に関する意見・要望はなし

鋸南町の公共交通を みんなでもっと便利に！

地域公共交通計画ワークショップ参加者募集



鋸南町では、これからの地域の移動手段をより良くするため、「地域公共交通計画」の策定を進めています。先日、町民の皆さまを対象にアンケート調査を実施し、たくさんの貴重なご意見をいただきました。

その結果をもとに、今度は直接お話を伺うワークショップを開催します！
「もっと使いやすい交通って？」「子どもや高齢者が安心して移動できるには？」あなたの声が、町の交通の未来をつくれます。

開催日 令和7年11月15日(土) 10:00～12:00

会場 鋸南町中央公民館 2階講座室

定員 30名程度
※勝山・保田・佐久間 各地区10名程度

参加条件 町内在住・在勤の方

申込期限 令和7年11月7日(金)17:00

参加費
無料



お申し込みはこちら

専門的な知識は必要ありませんので、どなたでもお気軽にご参加ください。
電話での申し込みも受付けておりますので、下記までご連絡願います。

問い合わせ

鋸南町地域公共交通活性化協議会事務局
(鋸南町総務企画課企画財政室)
TEL 0470-55-4801
E-mail kikakuzaisei@town.kyonan.chiba.jp

きんこくタクシー



【ご案内】

案
(R7.10.27 現在)
交通空白地有償運送事業

運行サービス内容

- 運行区域 富津市（金谷・湊地区周辺）・鋸南町（保田地区周辺）
対象者 会員登録をした金谷地区在住者及びその親族など
※ご自身での乗降及びシートベルト着用ができる方に限ります。
年会費 1世帯あたり1,000円
運行日 週2日（火曜日・金曜日）
※祝日、お盆（8/13～8/15）及び年末年始（12/29～1/3）は運休です。
運行時間帯 8：00～16：00（詳細は裏面をご覧ください。）
運行形態 希望時間に合わせて運行する「事前予約制デマンド型」
運賃(片道) 金谷地区内500円・湊地区まで1,200円・保田地区まで700円
【相乗り】 金谷地区内300円・湊地区まで1,000円・保田地区まで500円
※複数人が乗車した場合は、1人200円の割引が適用されます。

湊地区周辺

天羽行政センター・浅間山バスターミナル
原田内科小児科医院・天羽診療所・歯科
吉田屋・ヤックス・コメリ等

※竹岡地区へのご利用は
運行区域外のため乗降できません

金谷地区内

保田地区周辺

鋸南病院・鋸南やまだ内科
保田小学校
おどや鋸南店 等

申込先/予約電話



社会福祉法人金谷温清会

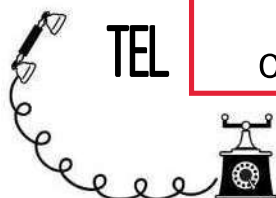
〒299-1861 千葉県富津市金谷1912番地2
TEL 0439-69-8400(代表)

きんこくタクシー予約受付電話

TEL

(番号決定し次第公表)

000-0000-0000



お掛け間違いの無いように
お願いいたします

きんこくタクシー乗車体験【無料】

- ・きんこくタクシーを安心してご利用いただくため、登録前に乗車体験を実施します。
- ・体験利用は事前予約の上、裏面に必要事項を記入し本チラシをご持参ください。
- ・乗車体験【無料】は1世帯1回限りです。
(付き添いは1人まで可)



この機会に
体験してみませんか？

乗車体験
【無料】

有効期限
令和8年3月31日

予約方法

【予約日時】

- ・月曜日・木曜日 8:00～12:00
- ・利用日の15日前から予約ができます。
- ・利用日前日の午前中までにお電話ください。
(当日の予約はできません。)
- ・1回のお電話につき、
最大4日分の予約が可能です。

① 電話予約



芝崎の〇〇です
〇月〇日に、原田内科
に行きたいです

お名前・希望日時・行き先・目的をお伝えください

② 運行計画作成



承知しました
前日に送迎時間
のご連絡をします



③ 事前連絡



〇〇さんのお宅に
〇時頃迎えに行きます
5分前に家の前でお待
ちください

運行日前日の午後2時頃
送迎時間の連絡をします

運行日・時間

【運行日】 火曜日・金曜日
(週2日)

【運行時間】 8:00～16:00

参考 (JR浜金谷駅時刻表)



上り	下り
8:27	8:19
9:19	9:10
10:11	10:11
11:09	11:09
12:13	12:11
13:13	13:11
14:13	14:11
15:08	15:06
16:01	16:25

① 迎え



運行時間の5分前に
自宅前でお待ちください



② 到着



③ 送り



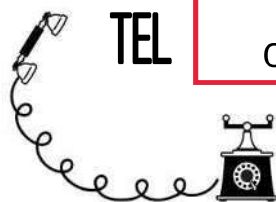
またのご利用を
お待ちしております

きんこくタクシー予約受付電話

TEL

(番号決定し次第公表)

〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇



お掛け間違いの無いように
お願いいたします



※キャンセルは他のお客様の迷惑となるため、必ず連絡をお願いします。

きんこくタクシー乗車体験【無料】

利用日：令和 年 月 日

氏 名： _____

【利用方法】

- ・利用前に必ず電話予約をお願いします。
- ・乗車時に「利用日・氏名」をご記入の上、
本チラシを運転士に見せてください。
- ・乗車体験【無料】は1世帯1回限りです。
- ・付き添いは1人までとします。

乗車体験
【無料】

有効期限

令和8年3月31日